Panasonic®

# 取扱説明書 詳細操作編

デジタルカメラ/レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディ

品番 DMC-GF6X/DMC-GF6W
DMC-GF6

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(取扱説明書 基本操作編)を必ずお読みください。**

**困ったときは?**

メッセージ表示:251 ページ
Q & A　故障かな?と思ったら:262 ページ

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

**http://panasonic.jp/support/dsc/**

VQT4Y81
F0413CT0

# 知りたいことの探し方

取扱説明書 詳細操作編では、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動するので、知りたいことを素早く探せます。

GF6




本書の詳しい読み方は、次ページへ

Wi-Fi・NFCについては、188 ページへ

# 本書の見方

使えるモード：P A S M C1 C2 SCN

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン　　　：使えるモード
- グレーのアイコン：使えないモード

C1、C2は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

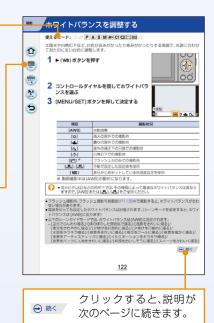
クリックすると「知りたいことの探し方」のページに移動します。

クリックすると「目次」のページに移動します。

クリックすると「メニュー一覧」のページに移動します。

クリックすると「さくいん」のページに移動します。

クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

続く　クリックすると、説明が次のページに続きます。

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

## ■ 本文中の記号について

MENU：　[MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi：　[Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

：　カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。

：　上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

：　特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(P∗∗)：参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
**MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[ ]**

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

## はじめに



## 準備

## 基本



## 撮影

## 動画



## 再生・編集

## Wi-Fi・NFC

## 他の機器との接続



## その他・Q&A



「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

## かんたんに撮りたい

## タッチで撮りたい



## 友達と一緒に写る



## パノラマ写真を撮る

## コマ撮りアニメをつくる！



## Wi-Fi 機能 /NFC 機能を使いたい

MENU メニュー一覧

さくいん

## ■ 撮影について

## ■ 撮影について(続き)

| 表現 絞り値とシャッタースピードを自分で決めたい | 表現 画像効果 クリエイティブコントロール | 表現 画質を変える |
|---|---|---|
| Mマニュアル露出 P80 | クリエイティブコントロール P95 | フォトスタイル P144 |
| | | 表現 3D写真 |
| | | 3D交換レンズ（別売：H-FT012） P228 |

| 快適操作 メニューをすぐに呼び出したい | クイックメニュー（Q.MENU） | P42 |
|---|---|---|
| 快適操作 機能をボタンに割り当てたい | ファンクションボタン | P44 |

## ■ 動画撮影について

| | | |
|---|---|---|
| AV機器で見る動画を撮りたい | AVCHD動画 | P162 |
| パソコン / スマートフォンで見る動画を撮りたい | MP4動画 | P162 |
| 絞り値とシャッタースピードを決めて動画を撮りたい | Mクリエイティブ動画 | P167 |
| 動画撮影中に写真を記録したい | 同時記録 | P166 |

## ■ 設定について

| | | |
|---|---|---|
| 買ったときの設定に戻したい | 設定リセット | P52 |
| 時計を合わせたい | 時計設定 | P37 |
| 音が鳴らないようにしたい | 電子音 | P47 |
| バッテリーを長持ちさせたい | エコモード | P49 |

## ■ 再生について

| | | |
|---|---|---|
| スライドショーで楽しみたい | スライドショー | P171 |
| テレビで見たい | HDMI接続、AV接続 | P231 |
| 付属のソフトウェアを使いたい | PHOTOfunSTUDIO | P236 |
| 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずに画像をパソコンに取り込みたい | USB 接続 | P238 |

**レンズ交換で表現の幅を広げる** → 交換レンズについて詳しくは、カタログ / ホームページなどをご覧ください

# はじめに

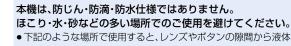
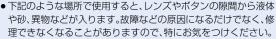
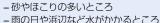
## ご使用の前に

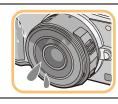
### ■ 本機の取り扱いについて…

**本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。**

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  – 本機を落とす、またはぶつける
  – レンズ部やモニターを強く押さえつける

**本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。**
**ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。**

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  – 砂やほこりの多いところ
  – 雨の日や浜辺など水がかかるところ

**デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。**

### ■ 露付きについて(レンズ、モニターが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

### ■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

### ■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

### ■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

### ■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P275)

# 同梱品

**デジタルカメラボディ**
（本文中では**本体**と表記します）

記載の品番は2013年3月現在のものです。変更されることがあります。

## DMC-GF6X（レンズキット商品）に同梱

**交換レンズ**（H-PS14042）
LUMIX G X VARIO PZ 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します／お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

**レンズキャップ**※
VYF3443

## DMC-GF6W（ダブルズームレンズキット商品）に同梱

**交換レンズ**（H-FS1442A）
LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 Ⅱ ASPH./MEGA O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します／
お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

**レンズフード**
VYC1113

**レンズキャップ**※
VYF3510

**交換レンズ**（H-FS45150）
LUMIX G VARIO 45–150 mm/F4.0–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します）

**レンズフード**
VYC1090

**レンズキャップ**※
VYF3201

**レンズリアキャップ**※
VFC4605

※お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

続く

**DMC-GF6（ボディ商品）に同梱**

**ボディキャップ**
VKF4971
（お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

**バッテリーパック**
DMW-BLG10
（本文中では**バッテリー**と表記します）
●充電してからお使いください。

**バッテリーチャージャー**※
DE-A99A
（本文中では**チャージャー**と表記します）

**USB 接続ケーブル**
K1HY08YY0034

**CD-ROM**
●ソフトウェア
●取扱説明書 詳細操作編（本書）
（パソコンにインストールしてお使いください）

**ショルダーストラップ**
VFC4765

**※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC9）をお買い求めください。**

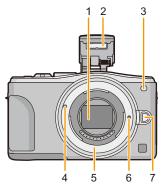
- **カードは別売です。**
- 別売品については244ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ（H-PS14042）を用いて説明をしています。

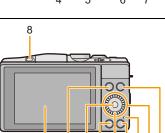
CLUB Panasonic

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

# 各部の名前と働き

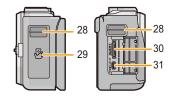
## ■ デジタルカメラボディ

1　センサー
2　フラッシュ発光部(P113)
3　セルフタイマーランプ(P142)/
　　AF補助光ランプ(P132)
4　レンズ取り付けマーク(P25)
5　マウント
6　レンズロックピン
7　レンズ取り外しボタン(P26)

8　フラッシュOPEN(オープン)ボタン(P113)
　● フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。
9　タッチパネル/モニター(P21)
10　[▶](再生)ボタン(P59)
11　[MENU/SET(メニュー セット)]ボタン(P22、38)
12　[Q.MENU(クイックメニュー)]ボタン(P42)/ [Fn1(ファンクション)]ボタン(P44)/
　　[🗑/↩](消去/戻る)ボタン(P65)
13　コントロールダイヤル(P22)
14　[Wi-Fi(ワイファイ)]ボタン(P189)/ [Fn2(ファンクション)]ボタン(P44)
15　Wi-Fi®接続ランプ(P189)
16　カーソルボタン(P22)
　　▲(上)/ 露出補正ボタン(P74、78、79、80、119)
　　▶(右)/ WB(ホワイトバランス)ボタン(P122)
　　◀(左)/ オートフォーカスモードボタン(P126)
　　▼(下)/ ドライブモードボタン
　　　　**以下の設定をすることができます。**
　　　　**単写(P55)/ 連写(P138)/ オートブラケット(P140)/ セルフタイマー(P142)**
17　[DISP.(ディスプレイ)]ボタン(P58、64)
　● 押すごとにモニターの表示を切り換えます。

続く

18　ステレオマイク(P170)
- ●マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。

19　シャッターボタン(P55)
20　ファンクションレバー(P23、109、119)
21　動画ボタン(P164)
22　スピーカー(P48)
- ●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

23　撮影距離基準マーク(P135)
24　モードダイヤル(P66)
25　電源スイッチ(P37)
26　電源表示ランプ(P37)
27　[iA](インテリジェントオート)ボタン(P70)

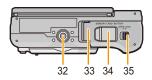
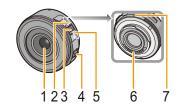
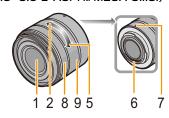
28　ショルダーストラップ取り付け部(P28)
29　NFCアンテナ部[ ](P194)
30　[HDMI]端子(P231)
31　[AV OUT/DIGITAL(アウト/デジタル)]端子(P231、237、239、240)

32　三脚取り付け部(P280)
- ●ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

33　カード/バッテリー扉(P33)
34　DCカプラー扉(P246)
- ●ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC11)を使用してください。

35　開閉レバー(P33)

続く

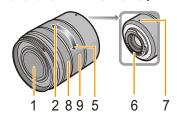
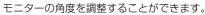
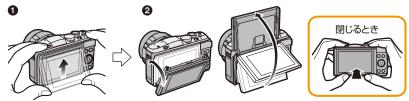
## ■ 同梱レンズ

H-PS14042
(LUMIX G X VARIO PZ 14–42 mm/
F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.)

1 レンズ面
2 T 側（望遠）
3 ズームレバー(P109)
4 フォーカスレバー(P133)
5 W側（広角）
6 接点
7 レンズ取り付けマーク(P25)
8 フォーカスリング(P133)
9 ズームリング(P109)

H-FS1442A
(LUMIX G VARIO 14–42 mm/
F3.5–5.6 Ⅱ ASPH./MEGA O.I.S.)

H-FS45150
(LUMIX G VARIO 45–150 mm/
F4.0–5.6ASPH./MEGA O.I.S.)

## モニター

モニターの角度を調整することができます。

❶ モニター下部を軽く押し上げて開く
❷ モニターの角度を調整する

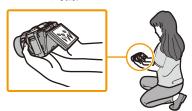
- **モニターに指などを挟まないようにお気をつけください。**
- **モニターを回転させるときは、無理な力を加えないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。**
- 本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。

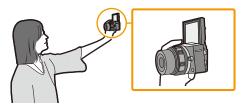
### ■ いろいろなアングルで撮る

モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

- AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

**ハイアングル撮影**

**ローアングル撮影**

**自分撮り**

- モニターを図のように回転させると自分撮りモードになります。(P68)

## タッチパネル

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

### ■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。
項目やアイコンを選択するときなどに使います。
- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。

### ■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。
AFエリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。
再生時は画像を送ることなどもできます。

### ■ ピンチする（広げる・縮める）

タッチパネルを 2 本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。
再生画像やAFエリアを拡大/縮小するときなどに使います。

- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、248 ページの「モニターの表示」をお読みください。

**こんなときは使えません**
- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  – 手袋を着用している
  – ぬれている手や、ハンドクリームを塗った直後の手
  – タッチパネルがぬれている
  – 市販のモニター保護シートを使用している
  – タッチパネルを複数の手や指で同時にタッチしている

続く

タッチ操作の有効/無効を設定する

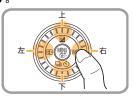
MENU ボタン→[カスタム]→[タッチ設定]

● [OFF]に設定時は画面に該当のタッチタブやタッチアイコンは表示されません。

| 項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| [タッチパネル] | すべてのタッチ操作。[OFF]に設定すると、ボタンやダイヤルでの操作のみになります。<br>[ON]、[OFF] |
| [タッチタブ] | 画面右に表示される[ ]などのタブをタッチして、タッチアイコンを表示するための操作。<br>[ON]、[OFF] |
| [タッチ AF] | タッチした被写体にピント、またはピントと明るさを合わせる操作。<br>[AF](P130)、[AF+AE](P120)、[OFF] |

## カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

**カーソルボタンを押す：　　　　項目の選択や、数値の設定などを行います。**
**[MENU/SET] ボタンを押す：設定内容の決定などを行います。**

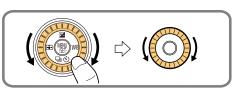
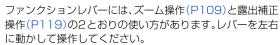
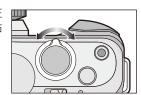
● 本書ではカーソルボタンの上下左右を▲/▼/◀/▶で説明しています。

タッチパネル操作中でも、右図のようなガイドが画面に表示されているときは、カーソルボタンと[MENU/SET]ボタンでも操作することができます。
ガイドが表示されないメニュー画面などでもボタン操作で設定や決定をすることができます。

## コントロールダイヤル

**コントロールダイヤルを回す：項目の選択や、数値の設定などを行います。**

本書ではコントロールダイヤルを回す操作を右図のように説明しています。

## ファンクションレバー

ファンクションレバーには、ズーム操作(P109)と露出補正操作(P119)の2とおりの使い方があります。レバーを左右に動かして操作してください。

### ファンクションレバーに割り当てる機能を設定する

**MENU ボタン→[カスタム]→[ファンクションレバー]**

ファンクションレバーに割り当てる機能を設定できます。お買い上げ時は[AUTO]に設定されています。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| AUTO | レンズ交換時に、お使いのレンズに適した設定を自動で割り当てます。<br>●パワーズーム(電動ズーム)に対応した交換レンズ(H-PS14042)をお使いの場合は [ZOOM]の操作になります。<br>●パワーズームに対応していない交換レンズ(H-FS1442A、H-FS45150)をお使いの場合は[EXP.]の操作になります。 |
| ZOOM | ズーム操作を行います。 |
| EXP. | 露出補正操作を行います。(マニュアル露出モード時は絞り設定操作になります) |

### ダイヤル操作ガイドを表示する/表示しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[ダイヤル操作ガイド]→[ON]/[OFF]**

● [ON]に設定すると、撮影画面にダイヤル、ボタン、レバーなどの操作ガイドが表示されます。

# 本機に使用可能なレンズ

### ■ マイクロフォーサーズ TM マウント規格レンズ

マイクロフォーサーズシステムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ（マイクロフォーサーズマウント）を使うことができます。

### ■ フォーサーズ TM マウント規格レンズ

マウントアダプター（別売：DMW-MA1）を使用することで、フォーサーズマウント規格のレンズを使用することができます。

### ■ ライカマウント規格レンズ

Mマウントアダプター、Rマウントアダプター（別売：DMW-MA2M、DMW-MA3R）を使用することで、ライカMマウント、ライカRマウントの交換レンズを使用することができます。

- お使いのレンズによっては、実際にピントの合う距離とレンズの距離表示が多少ずれる場合があります。
- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、［レンズ無しレリーズ］(P26)を［ON］に設定してください。

## レンズと機能について

お使いのレンズによっては使用できない、または動作が異なる機能があります。

オートフォーカス※ / 自動絞り動作※ / ボケ味コントロール(P73)/ 手ブレ補正(P107)/ タッチズーム(P112)/ シェーディング補正(P156)/ クイック AF(P131)/ パワーズームレンズ(P111)など

※ 交換レンズ（H-PS14042、H-FS1442A、H-FS45150）は、動画撮影中のオートフォーカスと自動絞り動作に対応しています。また、交換レンズ（H-PS14042）では、パワーズーム（電動式ズーム）を使用しながら、高いAF追従性能と静音設計により、さらにスムーズで静かに動画を撮影することができます。

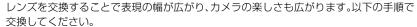
お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

> 対応レンズの最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
> **http://panasonic.jp/support/dsc/**

- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。（50 mmレンズを使用した場合は、100 mmレンズ相当になります）3D交換レンズについては、ホームページでご確認ください。

# 準備

## レンズを交換する

レンズを交換することで表現の幅が広がり、カメラの楽しさも広がります。以下の手順で交換してください。

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は、276ページをお読みください。

### レンズの取り付け方

準備：レンズのレンズリアキャップを外してください。

- 本機にボディキャップが付いているときは外してください。

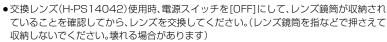
**レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す**

- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとすると、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。

- 本体からレンズやボディキャップを外したとき、マウント内に指を入れないでください。
- 本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、本体のマウントにはボディキャップまたはレンズを付けてください。
- 接点を傷つけないように、取り外したレンズにレンズリアキャップを付ける、または取り外したレンズを本体に付けてください。
- 持ち運びするときなどはレンズ面の保護のため、レンズキャップを付けるか、MCプロテクター（別売）の装着をお勧めします。(P244)

## レンズの取り外し方

準備：レンズキャップを取り付けてください。

- 交換レンズ（H-PS14042）使用時、電源スイッチを[OFF]にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認してから、レンズを交換してください。（レンズ鏡筒を指などで押さえて収納しないでください。壊れる場合があります）

レンズ鏡筒収納時

### レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

 **レンズがなくてもシャッターが切れるようにする/しない**

**MENU ボタン→[カスタム]→[レンズ無しレリーズ]**

[ON]：レンズの装着にかかわらず、シャッターが切れます。
[OFF]：本体にレンズを取り付けていないときやレンズが正しく取り付けられていないときには、シャッターが切れません。

- ライカレンズ用マウントアダプター（別売：DMW-MA2M、DMW-MA3R）使用時は[ON]に設定してください。

## レンズフードの取り付け方

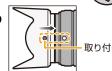
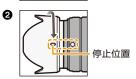
日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

- 交換レンズ（H-PS14042）には、レンズフードは付属していません。

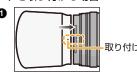
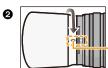
**交換レンズ（H-FS1442A）に付属しているレンズフード（花型）を取り付ける場合**

**レンズフードを図のように指を添えて持ってください**

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

**1 レンズフードの短いほうの取り付け位置とレンズ先端の指標を合わせる**

❶
**2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの長いほうの停止位置とレンズ先端の指標を合わせる**

❷
**交換レンズ（H-FS45150）に付属しているレンズフードを取り付ける場合**

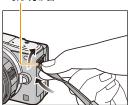
**1 レンズフードの取り付け位置とレンズ先端の指標を合わせる**

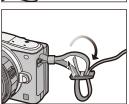
❶
**2 レンズフードを矢印の方向に止まるまで回し、レンズフードの停止位置とレンズ先端の指標を合わせる**

❷
- 持ち運ぶ際は、一時的にレンズフードの向きを逆にして取り付けることができます。

# ショルダーストラップを付ける

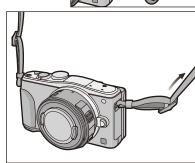
●落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

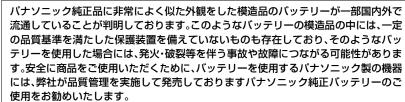
**1** ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

●ショルダーストラップ取り付け部に通りにくいときは、ショルダーストラップの先端にある固い部分を軽く曲げてから通すと、取り付けやすくなります。

**2** 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

**3** ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す

**4** ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

●手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

# バッテリーを充電する

## ■ 本機で使えるバッテリー(2013年3月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BLG10です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

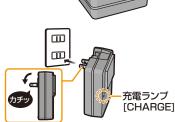
## 充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

**1** バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

**2** 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

続く

## ■ 充電ランプの表示について

点灯： 充電中
消灯： 充電完了（充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）

- **点滅するときは**
  - バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをお勧めします。
  - チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

## ■ 充電時間について

| 充電時間 | 約190分 |
|---|---|

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

## ■ バッテリー残量表示について

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（電源表示ランプも点滅します）
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- チャージャーは海外でも使うことができます。(P247)

## 使用時間と撮影枚数の目安

**写真記録**（条件はCIPA規格でプログラムAEモード時）

| | 交換レンズ (H-PS14042)装着時 | 交換レンズ (H-FS1442A)装着時 | 交換レンズ (H-FS45150)装着時 |
|---|---|---|---|
| 記録可能枚数 | 約330枚 | 約340枚 | 約340枚 |
| 撮影使用時間 | 約165分 | 約170分 | 約170分 |

**CIPA規格による撮影条件**

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、モニターを点灯
- 当社製のSDHCメモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始
  （手ブレ補正機能に対応した交換レンズ装着時は手ブレ補正を［((✋))］に設定）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- パワーズーム（電動式ズーム）に対応した交換レンズ装着時は、撮影ごとにT端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

**記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。**
**［例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります］**

続く

### 動画撮影

→AVCHD（画質設定を[FHD/60i]で撮影）

| | 交換レンズ（H-PS14042）装着時 | 交換レンズ（H-FS1442A）装着時 | 交換レンズ（H-FS45150）装着時 |
|---|---|---|---|
| 撮影可能時間 | 約130分 | 約140分 | 約140分 |
| 実撮影可能時間 | 約65分 | 約70分 | 約70分 |

→MP4（画質設定を[FHD/30p]で撮影）

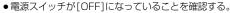
| | 交換レンズ（H-PS14042）装着時 | 交換レンズ（H-FS1442A）装着時 | 交換レンズ（H-FS45150）装着時 |
|---|---|---|---|
| 撮影可能時間 | 約130分 | 約140分 | 約140分 |
| 実撮影可能時間 | 約65分 | 約70分 | 約70分 |

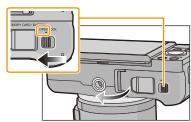
● 温度23 ℃/湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
● 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。
● [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。（[MP4]の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります）

### 再生

| | 交換レンズ（H-PS14042）装着時 | 交換レンズ（H-FS1442A）装着時 | 交換レンズ（H-FS45150）装着時 |
|---|---|---|---|
| 再生使用時間 | 約190分 | 約200分 | 約200分 |

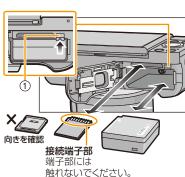
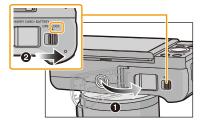
● **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は減少します。
– スキー場などの低温下
– [モニター輝度]の[AUTO]または[MODE1]使用時
– [ライブビューモード]の[通常]使用時
– フラッシュ発光を繰り返したとき
● 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

# バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

**1** **開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く**

**2** **バッテリー:**
**向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する**
**取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す**

**カード:**
**向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる**
**取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く**

**3** **❶ カード/バッテリー扉を閉じる**

**❷ 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる**

- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- **使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。**
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

## 本機で使用できるカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

| | 特長 |
|---|---|
| SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード※/microSDカード※ | ●SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。<br>●SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。<br>http://panasonic.jp/support/sd_w/<br>●本機はUHS-I規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。<br>●左記の容量以外のカードは使えません。 |
| SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※ | |
| SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB) | |

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

### ■ 動画撮影と SD スピードクラスについて

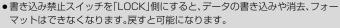
動画撮影の際は、カードのラベル面などで SD スピードクラス(連続的な書き込みに関する速度規格)をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上のカードを使用してください。

(例)

●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dsc/

**カードアクセス中は・・・**
カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。

●**アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC8)を取り外さないでください。**
**また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。**
**カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。**

続く

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P52)

## カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマット(P52)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**

**セットアップメニューから［フォーマット］を選ぶ**(P38)
- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。

## 記録可能枚数・時間の目安

### ■ 記録可能枚数（写真：枚）

- 残り枚数が 10000 枚以上の場合は、[9999＋] と表示されます。
- **画像横縦比 [4:3]、クオリティ[▲] の場合**

| 記録画素数 | 2 GB | 8 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| L(16M) | 220 | 900 | 3640 | 7260 |
| M(8M) | 410 | 1650 | 6690 | 13000 |
| S(4M) | 690 | 2800 | 11360 | 21480 |

- **画像横縦比 [4:3]、クオリティ[RAW▲] の場合**

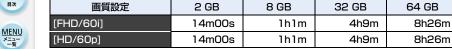
| 記録画素数 | 2 GB | 8 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| L(16M) | 68 | 270 | 1110 | 2230 |
| M(8M) | 79 | 320 | 1300 | 2580 |
| S(4M) | 86 | 340 | 1410 | 2800 |

続く

## ■ 記録可能時間（動画撮影時）（h: 時間、m: 分、s: 秒）

● 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

**● 記録方式 [AVCHD] の場合**

| 画質設定 | 2 GB | 8 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| [FHD/60i] | 14m00s | 1h1m | 4h9m | 8h26m |
| [HD/60p] | 14m00s | 1h1m | 4h9m | 8h26m |

**● 記録方式 [MP4] の場合**

| 画質設定 | 2 GB | 8 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| [FHD/30p] | 11m00s | 49m00s | 3h22m | 6h50m |
| [HD/30p] | 22m00s | 1h34m | 6h27m | 13h4m |
| [VGA/30p] | 49m00s | 3h28m | 14h12m | 28h45m |

● 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
● 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。
● [MP4]で 1 つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。（[MP4]の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります）
● **画面には、連続して記録できる時間が表示されます。**

**記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換える**

MENU ボタン→[カスタム]→[残枚数/残時間切換]
[写真:(残枚数)]：写真の記録可能枚数を表示します。
[動画:(残時間)]：動画の記録可能時間を表示します。

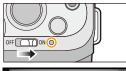
記録可能枚数　記録可能時間

# 時計を設定する

●お買い上げ時は、時計設定されていません。

## 1 電源スイッチを[ON]にする

●電源が入ると電源表示ランプが点灯します。

## 2 [時計設定]をタッチする

## 3 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[⋀]/[⋁]で設定する

● [⋀]/[⋁]をタッチしたままにすると、連続して設定内容を切り換えることができます。

● [ ⮌ ]をタッチすると、時計を設定せずに中止することができます。

### 表示順・時刻表示形式を設定する場合

●[表示形式]をタッチすると、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

## 4 [決定]をタッチして決定する

## 5 確認画面で[決定]をタッチする

●時計設定を終了すると、ファンクションレバー設定の確認画面が表示されます。[変更]または[終了] を選んでください。([今後、この画面を表示しない]をタッチするごとに、チェックボックスにチェックを入れる/外すことができます)[ファンクションレバー]については、23ページをお読みください。

## 時計設定を変更する

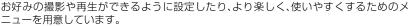
**セットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P38)**

●上記の手順**3**、**4**の操作で変更できます。

●**バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)**

●時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。

●時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

# メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

## メニューの設定方法

画面をタッチするタッチ操作と、カーソルボタンを押したりコントロールダイヤルを回したりするボタン操作の2とおりの操作でメニューを設定できます。

- セットアップメニューの[メニュー位置メモリー](P51)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択した状態の画面になります。お買い上げ時は[ON]に設定されています。
- セットアップメニューの[メニューインフォメーション](P51)を[ON]に設定していると、メニュー項目/設定内容の説明文がメニュー画面に表示されます。

例)撮影メニューで、[クオリティ]を[ ]から[ ]に設定する

**1** **[MENU/SET]ボタンを押す**

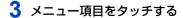
- トップメニュー画面が表示されます。

**2** **メニューアイコンをタッチする**

| メニュー | 内容 |
|---|---|
| [ ] 撮影(P144～) | 横縦比、画素数などをお好みで設定できます。 |
| [ ] 動画(P169～) | 記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。 |
| [ ] カスタム(P258～) | 画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。 |
| [ ] セットアップ(P46～) | 時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。 |
| [ ] 再生(P171～) | 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。 |

**ボタン操作では**

**カーソルボタンの▲/▼/◀/▶を押す、またはコントロールダイヤルを回してメニューを選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

続く

## 3 メニュー項目をタッチする

●[Ⓐ]/[Ⓥ]をタッチすると、ページを切り換えられます。

ボタン操作では

**カーソルボタンの▲/▼を押す、またはコントロールダイヤルを回してメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

●いちばん下まで移動すると、次のページに切り換わります。
●ファンクションレバーを動かしてもページを切り換えられます。
●[DISP.]ボタンを押すことでも、ページを切り換えられます。

## 4 設定内容をタッチして決定する

●メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

ボタン操作では

**カーソルボタンの▲/▼を押す、またはコントロールダイヤルを回して設定内容を選び、[MENU/SET] を押して決定する**

手順**3**、**4**で、メニュー項目/設定内容をタッチすると、説明文が表示されます。
●そのまま指を離すと、決定されます。
●タッチしたまま表示のない場所に指を動かしてから離すと、決定されません。

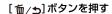
●本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
**MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[ ]**

続く

■ メニューを終了する

[ ]をタッチする、
またはシャッターボタンを半押しする

[ / ]ボタンを押す

■ 他のメニューに切り換えるには

例）撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

[ ]などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

●続けてメニュー項目を選んで設定してください。

ボタン操作では

1 カーソルボタンの◀を押す
2 カーソルボタンの▼を押す、またはコントロールダイヤルを回してセットアップメニューアイコン[ ]を選ぶ
3 カーソルボタンの▶を押す

## メニュー画面の背景を設定する

お好みに合わせてメニュー画面の背景を設定できます。トップメニュー画面では、撮影した画像を背景に設定することもできます。

### トップメニュー画面の背景を設定する

**1** [MENU/SET]ボタンを押して、トップメニューを表示する

**2** [背景選択]をタッチする

**3** 設定項目をタッチする

| | |
|---|---|
| [SDカードから] | 撮影された画像から背景を選びます。選んだ画像は本機に登録されます。（登録できる画像は１枚のみです。すでに登録している場合は、上書きされます） |
| [内蔵メモリから] | あらかじめ本機に入っている画像（１枚）を背景に設定します。 |
| [登録した画像] | 最後にSDカードから選んだ画像を背景に設定します。 |
| [画像なし] | 画像なしの背景に設定します。 |

●[内蔵メモリから]、[登録した画像]または[画像なし]をタッチすると、選んだ背景に切り換わります。

**4** （[SDカードから]選択時）画面を水平にドラッグして画像を選ぶ

**5** （[SD カードから] 選択時）[決定]をタッチする

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

**こんなときは使えません**

●他機で撮影された画像は背景に登録できない場合があります。

### メニュー画面の背景を設定する

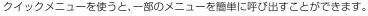
**1** セットアップメニューから[メニュー背景色]を選ぶ(P38)

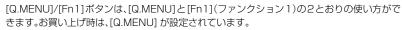
**2** 背景の色を選びタッチする

●背景の色を４色から選ぶことができます。

●設定後はメニューを終了してください。

# よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

● モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

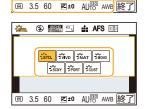
[Q.MENU]/[Fn1]ボタンは、[Q.MENU]と[Fn1](ファンクション1)の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU] が設定されています。

● ファンクションボタンについて詳しくは 44 ページをお読みください。

**1** **[Q.MENU]ボタンを押して、クイックメニューを表示する**

**2** **メニュー項目をタッチする**

**3** **設定内容をタッチする**

**4** **設定が終了したら[終了]をタッチしてメニューを終了する**

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

● カーソルボタンの ▲/▼/◀/▶ でも設定できます。

● ファンクションレバーを動かしても設定内容を選べます。

**クイックメニューの設定方法を切り換える**

**MENU ボタン→[カスタム]→[Q.MENU]**

**[プリセット]**: あらかじめ決められた項目を設定できます。

**[カスタム]**: 項目をお好みで変更し、設定できます。(P43)

## クイックメニューをお好みの項目に変更する

カスタムメニューの[Q.MENU](P42)を[カスタム]に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは 10 項目まで設定しておくことができます。

**1　[Q]をタッチする**

クイックメニューとして設定できる項目

クイックメニュー画面に表示できる項目

**2　上段からメニューを選び、下段へドラッグする**

- ドラッグした場所に空きがない場合、入れ替えるメニュー項目へドラッグしてください。入れ替えて設定することができます。
- 下段から上段にドラッグすると設定が解除され、空き項目になります。
- [<]/[>]をタッチすると、メニュー項目や設定内容を切り換えることができます。
- 設定できる項目は、以下のとおりです。

| 撮影メニュー | |
|---|---|
| – フォトスタイル(P144) | – 超解像(P149) |
| – 画像横縦比(P146)/記録画素数(P146) | – HDR(P150) |
| – クオリティ(P147) | – フラッシュモード(P115) |
| – 測光モード(P148) | – フラッシュ光量調整(P117) |
| – ISO感度(P121) | – EX テレコン(写真･動画)(P109) |
| – フォーカスモード(P127) | – デジタルズーム(P111) |
| – iD レンジコントロール(P149) | – 手ブレ補正(P107) |

| 動画撮影メニュー |
|---|
| – 動画記録方式/画質設定(P162) |

| カスタムメニュー |
|---|
| – ヒストグラム表示(P58) |
| – ガイドライン表示(P58) |
| – 記録枠表示(P164) |
| – ステップズーム(P111) |
| – ズーム速度(P111) |

**3　[終了]をタッチする**

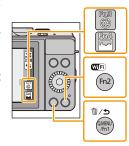
- 上記手順 **1** の画面に戻ります。撮影画面にするには [終了] をタッチしてください。

# よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てることができます。
[Fn1]、[Fn2]はボタンを押すことで、[Fn3]、[Fn4]はアイコンをタッチすることで、割り当てた機能を使うことができます。

## 1 カスタムメニューの[Fnボタン設定]で、機能を割り当てたいファンクションボタンを選ぶ(P38)

## 2 割り当てる機能をタッチする

● それぞれのファンクションボタンにお好みの機能を割り当ててください。

| 撮影メニュー/撮影機能 | |
|---|---|
| – Wi-Fi(P189):[Fn2]※ | – フォーカスモード(P127) |
| – Q.MENU(P42):[Fn1]※ | – iDレンジコントロール(P149) |
| – AF/AE LOCK(P136) | – 超解像(P149) |
| – ワンプッシュAE(P83) | – HDR(P150) |
| – プレビュー(P82):[Fn3]※ | – フラッシュモード(P115) |
| – フォトスタイル(P144) | – フラッシュ光量調整(P117) |
| – 画像横縦比(P146) | – EX テレコン(写真·動画)(P109) |
| – 記録画素数(P146) | – デジタルズーム(P111) |
| – クオリティ(P147) | – 手ブレ補正(P107) |
| – 測光モード(P148) | – デフォルトに戻す(P44) |
| – ISO感度(P121) | |

| 動画撮影メニュー | |
|---|---|
| – 動画記録方式/画質設定(P162) | – 写真撮影(P166) |

| カスタムメニュー | |
|---|---|
| – ヒストグラム表示(P58):[Fn4]※ | – ステップズーム(P111) |
| – ガイドライン表示(P58) | – ズーム速度(P111) |
| – 記録枠表示(P164) | |

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

● ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
● 設定後はメニューを終了してください。

● モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
● [デフォルトに戻す]設定時は、ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

### こんなときは使えません

● クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]、[ワンポイントカラー]、[サンシャイン]では[Fn1]は使えません。

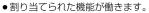
続く

## ■ タッチ操作でファンクションボタンを使う

[Fn3]、[Fn4] はタッチ操作でファンクションボタンを使うことができます。

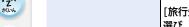
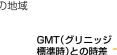
❶ [<]をタッチする

❷ [Fn3]または[Fn4]をタッチする

● 割り当てられた機能が働きます。

# 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー)

セットアップメニューの設定方法は P38

[時計設定]、[エコモード]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| **時計設定** | ●詳しくは、37ページをお読みください。 |
| **ワールドタイム**<br>お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。<br>旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。 | ●お買い上げ時はまず [ ホーム ] を設定してください。<br>[ 旅行先 ] の設定は、[ホーム]設定後に行えます。<br>**[旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後は、[]/[ ]でエリアを選び、[決定]をタッチしてください。**<br>**[旅行先]**:<br>旅行先の地域<br><br><br><br><br><br>**[ホーム]**:<br>お住まいの地域<br>●サマータイム(夏時間)を採用している場合は、[ ]をタッチしてください。(時計が 1 時間進みます)もう一度タッチすると元に戻ります。<br>●画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。 |

セットアップメニューの設定方法は P38

| 項目 | 設定･お知らせ |
|---|---|
| **トラベル日付**<br>旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。<br>記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P177)で撮影画像に焼き込むことができます。 | **[トラベル日付設定]**:<br>**[設定]**: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。<br>**[OFF]**<br>●現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。<br>**[旅行先]**:<br>**[設定]**: 撮影時に旅行先が記録されます。<br>**[OFF]**<br>●文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>●CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。<br>●トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。<br>●設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。<br>●[AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。<br>●動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。 |
| **Wi-Fi** | **[Wi-Fi 機能 ]、[Wi-Fi 設定 ]**<br>●詳しくは、191、226ページをお読みください。 |
| **電子音**<br>電子音や電子シャッター音の音量を設定します。 | **[電子音音量]**:<br>[ ]: 大<br>[ ]: 小<br>[ ]: OFF<br>**[電子シャッター音音量]**:<br>[ ]: 大<br>[ ]: 小<br>[ ]: OFF<br>●[電子シャッター音音量]は、連写の[SH]設定時にのみ働きます。 |

セットアップメニューの設定方法は P38

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **スピーカー音量**<br>スピーカーの音量を7段階に調整します。 | ●テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。また、このとき本機のスピーカーからは音声は出ません。 |
| **モニター調整**<br>モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。 | [ ]（明るさ）：明るさを調整します。<br>[ ]（コントラスト・彩度）：明暗差や色の鮮やかさを調整します。<br>[ ]（赤み）：赤みを調整します。<br>[ ]（青み）：青みを調整します。<br>**1 設定項目をタッチする**<br>**2 スライドバーをドラッグして調整する**<br>●コントロールダイヤルを回しても、調整できます。<br>**3 ［決定］をタッチする**<br>●被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 |
| **モニター輝度**<br>周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。 | [ (AUTO)]：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。<br>[ (MODE1)]：モニターを明るくします。<br>[ (MODE2)]：モニターを標準的な明るさにします。<br>[ (MODE3)]：モニターを暗くします。<br>●モニターに表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。<br>●[MODE1]のモニターは、撮影時30秒間何も操作しないと、自動的に標準的な明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。<br>●[AUTO]または[MODE1]設定時は、使用時間が減少します。<br>●再生時は、[AUTO]は選択できません。<br>●ACアダプター（別売：DMW-AC8）使用時の初期設定は[MODE2]になります。 |

セットアップメニューの設定方法は P38

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **エコモード**<br>バッテリーの消耗を防ぐための設定ができます。自動的に電源を切ったり、自動的にモニターを消灯したり、電力消費を抑えたモニターの表示方法にしたりできます。 | **[スリープモード]**：<br>**[10分]、[5分]、[2分]、[1分]、[OFF]**<br>設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。<br>**[モニター自動OFF]**：<br>**[5分]、[2分]、[1分]**<br>設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニターを消灯します。<br>**[ライブビューモード]**：<br>**[通常]、[ECO]**<br>モニターの表示方法を電力消費を抑えた方法にします。<br>●[スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。<br>●モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチしてください。<br>●[ライブビューモード]を[ECO]に設定すると、[通常]設定時より撮影画面の画質が劣る場合がありますが、記録される画像に影響はありません。<br>●[ライブビューモード]の[通常]設定時は、使用時間が減少します。<br>●以下の場合、[エコモード]は働きません。<br>–パソコンまたはプリンター接続時　–動画撮影／動画再生時<br>–スライドショー時<br>●ACアダプター（別売：DMW-AC8）使用時は、[スリープモード]は働きません。 |
| **USBモード**<br>USB接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。 | **[接続時に選択]**：<br>パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge（PTP）]のいずれかを選択します。<br>**[PictBridge（PTP）]**：<br>PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。<br>**[PC]**：<br>パソコンに接続する場合に設定します。 |

セットアップメニューの設定方法は
P38

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **映像出力**<br>テレビなどとの接続のしかたを設定します。 | **[TV 画面タイプ]**:<br>テレビの種類に合わせて設定します。<br>[16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時<br>[4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時<br>● AVケーブル(別売)接続時に働きます。<br><br>**[HDMI 出力解像度]**:<br>HDMI ミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI 出力の映像方式を設定します。<br>[AUTO]: 接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。<br>[1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。<br>[720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。<br>[480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。<br>● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。<br>● [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080i]、[720p]または[480p]に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください) |
| **ビエラリンク**<br>本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。 | [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません)<br>本機のボタンでの操作は制限されます。<br>[OFF]: 本機のボタンでの操作になります。<br>● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。<br>● 詳しくは、232ページをお読みください。 |

セットアップメニューの設定方法は P38

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **3D テレビ出力**<br>3D画像の出力方法を設定します。 | [3D]: 3D対応テレビに接続する場合に設定します。<br>[2D]: 3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。<br>● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。<br>● 3D画像を3Dで再生する方法については、229ページをお読みください。 |
| **メニュー位置メモリー**<br>最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。 | [ON]、[OFF] |
| **メニュー背景色**<br>メニュー画面の背景色を設定します。 | ● 詳しくは、41ページをお読みください。 |
| **メニューインフォメーション**<br>メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。 | [ON]、[OFF] |
| **バージョン表示** | ● 本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。<br>● レンズを取り付けていないときは、レンズファームウェアは[–.–]と表示されます。<br>● バージョン表示画面で [ ソフト情報 ] をタッチすると、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。 |
| **番号リセット**<br>次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。 | ● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。<br>● フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999 になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P52)することをお勧めします。<br>● フォルダー番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。 |

セットアップメニューの設定方法は P38

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| **設定リセット**<br>設定をお買い上げ時の状態に戻します。 | **撮影設定、セットアップ/カスタム設定**<br>● 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。<br>– [個人認証] の設定内容<br>● セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。<br>– [ワールドタイム] の設定内容<br>– [トラベル日付] の設定内容(出発日、帰着日、旅行先)<br>– [プロフィール設定] の設定内容<br>– トップメニュー画面の背景に設定した[登録した画像](P41)<br>● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。 |
| **Wi-Fi 設定リセット**<br>Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。※ | ● カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。<br>● 修理を依頼する場合も、個人情報の控えをとったあと、必ずリセットしてください。<br>※ ([PicMate 設定]は除く)(P216) |
| **ピクセルリフレッシュ**<br>撮像素子と画像処理の最適化を行います。 | ● 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体にない明るい点が記録され、気になるときは、本機能をお使いください。<br>● 終了後は、電源を入れ直してください。 |
| **センサークリーニング**<br>撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。 | ● ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になるときは、本機能をお使いください。(P276) |
| **フォーマット**<br>カードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。** | ● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)(P246)を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。<br>● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。<br>● フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しいただいてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

# 文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。

右記のような画面が表示されると、文字を入力できます。
(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

## 1 文字を入力する

- [切換]をタッチすると、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換えることができます。
- [◀]/[▶]をタッチすると入力位置のカーソルを左右に移動できます。コントロールダイヤルを回すことでも、左右に移動できます。
- 空白を入力したいときは[␣]、入力した文字を消去したいときは[消去]をタッチしてください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - かな/カナ:最大15文字([個人認証]の名前は最大6文字)
  - A/a/1/&※:最大30文字([個人認証]の名前は最大9文字)

  ※[＼]、[[]、[]]、[・]、[—]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)です。

## 2 [決定]をタッチする

| 文字入力例 |
| --- |
| 「パリ」と入力する場合:<br>❶ カナに切り換わるまで[切換]をタッチする<br>❷「ハ」をタッチする<br>❸「゛ ゜」を2回タッチし、「パ」にする<br>❹「ラ」を2回タッチする<br>❺ [決定]をタッチする |

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

# 本機の構え方について

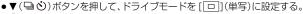
**両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える**

- **フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイクを指などで塞がないでください。**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。

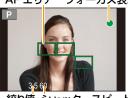
## 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出できる機能です。
再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転] (P182)を [ON] に設定している場合のみ)

- 縦位置検出機能に対応していないレンズを使用した場合でも、本機で撮影すると縦位置検出を行うことができます。
- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。
- 3D写真の縦撮影には対応していません。

●▼（⧉ ⏲）ボタンを押して、ドライブモードを［□］（単写）に設定する。

## 1 撮影モードを選ぶ(P66)

## 2 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

●絞り値とシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します）
●**お買い上げ時は、［フォーカス/レリーズ優先］(P132)が［フォーカス］に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。**

| フォーカスモード | AFS | | AFF、AFC | |
|---|---|---|---|---|
| ピント | 合っている | 合っていない | 合っている | 合っていない |
| フォーカス表示 | 点灯 | 点滅 | 点灯 | 点滅または消灯 |
| AFエリア | 緑 | ― | 緑※1 | ― |
| 電子音 | ピピッ | ― | ピピッ※2 | ― |

※1 オートフォーカスモードを［▦］に設定している場合は、半押し中にピントが合った1回目のみ AFエリアが一瞬表示されます。
※2 半押し中にピントが合った 1 回目のみ電子音が鳴ります。
●［AFF］や［AFC］で明るさが足りないときは［AFS］と同じ動作をします。このとき画面の 表示が黄色の［AFS］に変わります。
●暗い環境ではフォーカス表示が［● LOW］と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

## 3 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

●ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。

●ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。
– 交換レンズ（H-PS14042）装着時：0.2 m（W 端時〜焦点距離20 mm）〜∞、
0.3 m（焦点距離21 mm〜T 端時）〜∞
– 交換レンズ（H-FS1442A）装着時：0.2 m（W 端時〜焦点距離20 mm）〜∞、
0.3 m（焦点距離21 mm〜T 端時）〜∞
– 交換レンズ（H-FS45150）装着時：0.9 m〜∞

**ピントが合いにくい被写体や撮影環境**
●動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
●ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
●暗いときや手ブレしているとき
●被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

続く

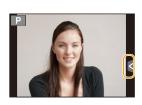
**写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定する**

MENUボタン→[カスタム]→[オートレビュー]→[ホールド]/[5秒]/[4秒]/[3秒]/[2秒]/[1秒]/[OFF]

**[ホールド]設定時**：シャッターボタン半押しまで表示

- オートレビュー中に再生画面の表示切り換えや消去などができます。
- 動画撮影では働きません。

## タッチシャッター機能を使って撮る

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

### 1 [<]をタッチする

### 2 [ ]をタッチする

- アイコンが[ ]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

### 3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。
- タッチしたい被写体の上にヒストグラムが表示されている場合は、ヒストグラムをドラッグ(P21)して移動させてからタッチしてください。

### ■ タッチシャッター機能を解除するには

[ ]をタッチする

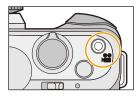
- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。もう一度やり直してください。
- [測光モード](P148)が[ ]のときは、タッチした場所で測光を行います。画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

# 動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

## 1 動画ボタンを押して撮影を開始する

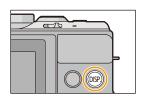
- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

## 2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

# 撮影画面の表示情報を切り換える

## [DISP.] ボタンを押して切り換える

- 画面は以下のように切り換わります。

情報あり※

情報なし

※ カスタムメニューの[ヒストグラム]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。また、カスタムメニューの[露出メーター]を[ON]に設定すると、露出メーターを表示させることができます。(P76)

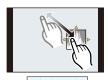
- 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

---

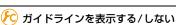
### ヒストグラムを表示する / しない

**MENU ボタン → [カスタム] → [ヒストグラム表示] → [ON] / [OFF]**

ヒストグラムをドラッグして、位置を設定することができます。

暗い ← → 明るい

- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。
- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  – 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが "0" 以外のとき
  – フラッシュが発光するとき
  – フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

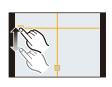
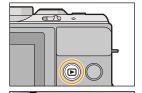
---

### ガイドラインを表示する / しない

**MENU ボタン → [カスタム] → [ガイドライン表示] → [⊞] / [⊠] / [⊟] / [OFF]**

- パノラマモード時、ガイドラインは表示されません。

[⊟] にすると、ガイドライン上の [■] をドラッグして、位置を設定することができます。

- 画面の端など、タッチ操作でガイドラインを移動しにくいときは、カーソルボタンを使って位置を設定してください。

## 写真を見る

**1** [▶] ボタンを押す

**2** 画面を水平にドラッグして画像を送る

**次の画像へ送る：右から左にドラッグ**
**前の画像に戻す：左から右にドラッグ**

- カーソルボタンの◀/▶を押しても画像を送ることができます。
- コントロールダイヤルを回しても画像を送ることができます。
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）

**画像を連続して送るときの速さを切り換える**
MENU ボタン→［カスタム］→［タッチ再生送り速度］→［H］（高速）/［L］（低速）

### ■ 再生を終了するには

再度 [▶] ボタンを押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

**こんなときは使えません**

- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。

## 再生画面を拡大する（再生ズーム）

### 画面をピンチアウト（またはピンチイン）(P21)して、画像を拡大（または縮小）する

ズーム位置表示

- ファンクションレバーを動かしても画像を拡大/縮小することができます。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 画面をドラッグ(P21)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大（2倍）することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。
- 再生ズーム中にコントロールダイヤルを回すと、再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

## 複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

### [ ] をタッチする

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - ･[ ]：1 画面　･[ ]：12 画面
  - ･[ ]：30 画面　･[CAL]：カレンダー再生
- ファンクションレバーを動かしても再生画面を切り換えることができます。
- コントロールダイヤルを回すと画像の選択カーソルが移動します。
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

### ■ 1 画面表示に戻すには

**画像をタッチしてください。**

## 画像を撮影日ごとに表示する（カレンダー再生）

**1** **マルチ再生画面で、[CAL]をタッチする**

**2** **[⌃]/[⌄]をタッチして再生したい月を選ぶ**
- 撮影した画像が 1 枚もない月は表示されません。
- [ ]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。

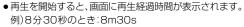
**3** **再生したい日付を選び、[決定]をタッチする**

**4** **再生したい画像をタッチする**
- カレンダー画面表示に戻すには以下の操作を行ってください。
  – [CAL]をタッチする
  – ファンクションレバーを左側に動かす

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年 1 月から2099年 12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2013年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

## 動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD、MP4 または QuickTime Motion JPEG です。

### 再生状態で動画アイコン（[🎥]）が付いた画像を選び、画面中央の[ ▶ ]をタッチして再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
  例）8分30秒のとき：8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報（撮影情報など）が表示されません。
- カーソルボタンの▲を押しても、動画を再生することができます。

動画記録時間

### ■ 動画再生中の操作

| ▶/❚❚ | ▲ | 再生／一時停止 | ■ | ▼ | 停止 |
|---|---|---|---|---|---|
| ◀◀ | ◀ | 早戻し再生※ | ▶▶ | ▶ | 早送り再生※ |
| ◀❚❚ | | コマ戻し（一時停止中） | ❚❚▶ | | コマ送り（一時停止中） |
| − | コントロールダイヤル（左回し） | 音量下げる | ＋ | コントロールダイヤル（右回し） | 音量上げる |

- 約2秒間何も操作しないとコントロールパネルの表示が消えます。画面をタッチしてコントロールパネルを表示させてください。

※ もう一度 [▶▶]/[◀◀] をタッチすると、早送り／早戻し速度が速くなります。

- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約10倍の速度で再生されます。

**こんなときは使えません**

- 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。

## 動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

**1** 動画再生中に [▶/II] をタッチする

**2** [ ] をタッチする

●確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

●[記録画素数] は [S] (2 M)、[画像横縦比] は [16:9]、[クオリティ] は [ ] で保存されます。
●動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
●動画から作成された写真には、再生時に [ ] が表示されます。

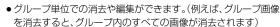
**こんなときは使えません**

●[MP4] の [VGA/30p] で撮影された動画からは、写真を作成できません。
●他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。

## グループ画像を見る

複数枚の画像を 1 つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1 枚ずつ再生します。

[▲]：連写速度を[SH]に設定して連続撮影したグループ画像(P138)
[▲]：コマ撮り撮影したグループ画像(P151)

● グループ単位での消去や編集ができます。（例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）

● 他機で撮影した画像は、グループ画像として認識されない場合があります。
● 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

### グループ画像を連続再生する

**グループ画像アイコン（[▲]、[▲]）をタッチする**
● カーソルボタンの▲ を押すことでも同じ操作ができます。
● グループ画像を 1 枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[最初の画像から見る]：グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る]：　再生中の画像から連続再生されます。

#### ■ グループ画像再生中の操作

| ▶/❚❚ | ▲ | 連続再生／一時停止 | ■ | ▼ | 停止 |
|---|---|---|---|---|---|
| ◀◀ | ◀ | 早戻し再生 | ▶▶ | ▶ | 早送り再生 |
| ❚◀◀ | | 前の画像に戻す（一時停止中） | ▶▶❚ | | 次の画像へ送る（一時停止中） |

### グループ画像を 1 枚ずつ再生する

**1　グループ表示アイコン（[ ]、[ ]）をタッチする**
● カーソルボタンの▼ を押すことでも同じ操作ができます。

**2　水平にドラッグして画像を送る**

● [ ]をタッチする、または、もう一度▼ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。
● グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。（マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など）

## 再生画面の表示情報を切り換える

### [DISP.] ボタンを押して切り換える

● 画面は以下のように切り換わります。

※1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
※2 再生ズーム時、動画再生中、連続再生中、パノラマ再生中、スライドショー中は表示されません。
※3 カスタムメニューの [ハイライト表示] (P64) を [ON] にしているときのみ表示されます。
※4 何も操作しないと、数秒後に[ ] などのタッチアイコンは表示されなくなります。

● 再生時はヒストグラムをR（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）、Y（輝度）に分けて表示します。

**白飛びしている個所を表示する / しない**

**MENU ボタン→ [カスタム] → [ハイライト表示] → [ON] / [OFF]**

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。撮影画像には影響されません。

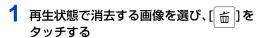
● 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム (P58) を参考に、露出をマイナス方向に補正して (P119) 再度撮影することをお勧めします。
● マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は働きません。

# 画像を消去する

**画像は一度消去すると元に戻すことができません。**

● DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

## 1枚消去

**1** **再生状態で消去する画像を選び、[🗑]をタッチする**

● [🗑/↩]ボタンを押すことでも同じ操作ができます。

**2** **[1枚消去]をタッチする**

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

再生メニューの[消去確認画面]で、消去確認画面で[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます。お買い上げ時は[いいえ]が選ばれるように設定されています。(P187)

## 複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

**1** **再生状態で[🗑]をタッチする**

**2** **[複数消去]または[全画像消去]をタッチする**

● [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

● [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

**3** **([複数消去]選択時)消去したい画像をタッチする**(繰り返す)

● 設定した画像に[🗑]が表示されます。
もう一度タッチすると設定が解除されます。

**4** **([複数消去]選択時)[実行]をタッチする**

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

● 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)(P246)を使用してください。

● 消去枚数により、時間がかかることがあります。

# 撮影

## 撮影モードを選ぶ

### ■ モードダイヤルで撮影モードを選ぶには

#### モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

### ■ インテリジェントオートモードを選ぶには

#### [iA] ボタンを押す

- インテリジェントオートモードに切り換わると、[iA]ボタンが点灯します。
- [iA]ボタンが点灯中は、モードダイヤルで選ばれている撮影モードは無効になります。

| | |
|---|---|
| iA | **インテリジェントオートモード**(P70) |
| | カメラにおまかせで撮影します。 |
| iA+ | **インテリジェントオートプラスモード**(P74) |
| | インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。 |
| P | **プログラム AE モード**(P76) |
| | カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。 |
| A | **絞り優先 AE モード**(P78) |
| | 絞り値を決めて撮影します。 |
| S | **シャッター優先AEモード**(P79) |
| | シャッタースピードを決めて撮影します。 |
| M | **マニュアル露出モード**(P80) |
| | 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。 |
| 🎥M | **クリエイティブ動画モード**(P167) |
| | 絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。<br>※写真撮影はできません。 |

## C1 C2 カスタムモード(P105)

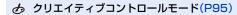
あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

## パノラマモード(P84)

パノラマの写真を撮影します。

## SCN シーンガイドモード(P87)

撮影シーンに合わせて撮影します。

## クリエイティブコントロールモード(P95)

画像効果を確認しながら撮影します。

**モードダイヤルを SCN / に切り換えたときに選択画面を表示する／しない**

**MENU ボタン→[カスタム]→[メニューガイド]**

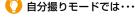
[ON]：シーンガイド、クリエイティブコントロールモードの選択画面を表示

[OFF]：現在選択されているシーンガイド、クリエイティブコントロールモードの撮影画面を表示

# 自分も一緒に写る(自分撮りモード)

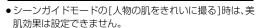
使えるモード: 

自分も一緒に写りたいときは、モニターを回転させると自分撮りモードに自動で切り換わります。

**自分撮りモードでは・・・**

- 画面を見ながら撮影するので構図が決めやすくなります。
- 撮影枚数を増やして、ポーズや表情を変えた写真を一度に撮影できます。
- 美肌効果をかけて、人物の顔を明るく、肌色を滑らかにできます。
- 自動的にタッチ操作が可能な状態になります。
- その他の設定は各撮影モードの設定に従います。

## 1 モニターを図のように回転させる

## 2 撮影枚数と美肌効果をタッチする

| | |
|---|---|
|  | 撮影枚数 |
|  | 美肌効果<br>[OFF](オフ)、[L](弱)、[H](強) |

- シーンガイドモードの[人物の肌をきれいに撮る]時は、美肌効果は設定できません。
- [ ]をタッチすると、タッチシャッター機能(P56)を使って撮影することもできます。

## 3 モニターを見ながらポーズを決める

- 顔認識機能により、顔に合わせて AF エリアが表示されます。

## 4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- カウントダウンが開始され、カウントが終わると撮影されます。撮影枚数を複数枚にしたときは、設定した枚数まで撮影が続きます。
- 撮影時はレンズを見てください。

続く

### 自分撮りモードにする/しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[自分撮り]→[ON]/[OFF]**

● [OFF]に設定すると、モニターを回転させても自分撮りモードになりません。

● フラッシュや AF補助光の光を直接見ないようお気をつけください。
● モニターを回転させると、モニターに映る画像の左右が反転します。
● 美肌効果を設定時は
– 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります
– 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります

### こんなときは使えません

● 以下の場合、自分撮りモードは使えません。
– 動画撮影時
– [コマ撮りアニメ]時
● 望遠レンズなど、お使いのレンズによっては被写体との距離が近すぎるとピントが合わないことがあります。

# カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

**撮影モード：[iA] [iA+]**

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

## 1 [iA] ボタンを押す

- インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートモードが設定されています。
- インテリジェントオートモードに切り換わると、[iA] ボタンが点灯します。(撮影中は消灯します)
- もう一度押すと [iA] ボタンが消灯し、モードダイヤルで選ばれている撮影モードになります。
- モードダイヤルを[M]に合わせているときは、動画ボタンまたはシャッターボタンを押して動画撮影を開始/終了できます。(写真は撮れません)

## 2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
  判別されたシーンによっては、[ ] が表示され、カメラがおすすめする画像効果を選ぶことができます。
  詳しくは、72 ページの「カメラがおすすめする画像効果で撮る」をお読みください。
- 被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。カーソルボタンの ◀ を押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。詳しくは 128ページをお読みください。

**[iA] ボタンの操作方法を切り換える**

**MENU ボタン→[カスタム]→[iA ボタン切換]**

| | |
|---|---|
| [押して切換]: | [iA]ボタンを押すとインテリジェントオート( iA または iA+ )モードに切り換わります。 |
| [押し続けて切換]: | [iA]ボタンをしばらく押したままにするとインテリジェントオート( iA または iA+ )モードに切り換わります。 |

## ■ 自動シーン判別について

**写真撮影時**

iA →

| | | | |
|---|---|---|---|
| i 人物 | i 風景 | i マクロ | i夜景&人物※1 |
| i 夜景 | i 料理 | i赤ちゃん※2 | i 夕焼け |

※1 [ A](オート)選択時のみ
※2 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録(P159)の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

**動画撮影時**

iA →

| | | | |
|---|---|---|---|
| i 人物 | i 風景 | i ローライト | i マクロ |

続く

- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]、[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 追尾AF時は、指定した被写体に最適なシーンを判別します。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。

> - 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
>   – 被写体条件
>     顔の明暗/被写体の大きさ・色・形状/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いているとき
>   – 撮影条件
>     夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率
> - 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをお勧めします。

## ■ フラッシュ

フラッシュを閉じているときは[ ]に、開いているときは[ A]（オート）に設定されます。
フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[ A]、[ ]（赤目軽減オート）、[ ]、または[ S]に設定します。

- **フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。**(P113)
- [ ]、[ ]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [ ]、[ S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

## ■ 自動で働く機能と設定できないメニューについて

カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

– 自動シーン判別/逆光補正/顔認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/iDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/クイックAF/AF補助光

カメラが自動で最適な設定を行うため、以下のメニューは設定できません。

– 撮影メニューについては144 ページの「撮影メニューを使う」、動画撮影メニューについては169 ページの「動画撮影メニューを使う」をお読みください。
– カスタムメニューの [カスタムセット登録]/[露出メーター]/[AF/AE ロック切換]/[クイック AF]/[AF 補助光]/[AF+MF]

> **逆光補正について**
> - カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

## カメラがおすすめする画像効果で撮る

自動シーン判別で判別されたシーンによっては、カメラが自動でおすすめする数種類の画像効果(フィルター)を、作例写真を見ながら選ぶことができます。(撮影メニューの[おすすめフィルター]を[ON]に設定している場合のみ。お買い上げ時は[ON]に設定されています)

### 1 自動シーン判別後に表示される[ ]をタッチする

● カメラがおすすめする画像効果の選択画面が表示されます。

### 2 作例写真をタッチして画像効果(フィルター)を選ぶ

● 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。

プレビュー表示

### 3 [決定]をタッチする

● 選んだ画像効果のクリエイティブコントロールモードになります。

● 撮影画面には[ ]が表示されます。タッチするとインテリジェントオート( または )モードに戻ります。
[ ]ボタンを押すことでも同じ操作ができます。
● おすすめフィルター使用時は、クリエイティブコントロールモードで設定できない機能も設定できなくなります。
● 画像効果の調整のしかたや、その他のお知らせは95 ページの「画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)」をお読みください。

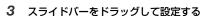
## 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

**1** [ ]をタッチする

**2** [ ]をタッチして、設定画面を表示する

● 撮影画面で▲ボタンを押すことでも設定画面を表示できます。

**3** スライドバーをドラッグして設定する

● コントロールダイヤルを回しても設定できます。

ボケ具合が大きい　ボケ具合が小さい

**4** 写真または動画を撮影する

● [ ]をタッチすると、ボケ味コントロール操作を終了します。
● ▲ボタンを押してもボケ味コントロール操作を終了できます。
● [ ]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

● インテリジェントオート( または )モードのボケ味コントロール設定画面では、オートフォーカスモードが[ ]になります。画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。(大きさは変更できません)
● 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがありますが、このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
● 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

### こんなときは使えません

● 使用するレンズによっては動作しない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。
● クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、ボケ味コントロール機能を使えません。

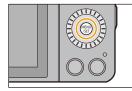
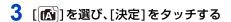
## 明るさや色合いを変えて撮る(インテリジェントオートプラスモード)

撮影モード：

インテリジェントオートモードでカメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できるモードです。

**1** インテリジェントオートモード時に[MENU/SET]ボタンを押す

**2** [iA モード]をタッチする

**3** [ ]を選び、[決定]をタッチする

撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

### 明るさを設定する

*1* [ ]をタッチする

*2* [ ]をタッチして、設定画面を表示する

- 撮影画面で▲ボタンを押すことでも設定画面を表示できます。▲ボタンを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作(P73)、操作の終了に切り換わります。

*3* スライドバーをドラッグして設定する

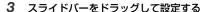
- 画像の明るさを調整します。
- コントロールダイヤルを回しても設定できます。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。また、▲ボタンを押すことでも撮影画面に戻れます。

## 色合いを設定する

**1** []をタッチする

**2** [ ]をタッチして、設定画面を表示する

- 撮影画面で ▶ボタンを押すことでも設定画面を表示できます。

**3** スライドバーをドラッグして設定する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- コントロールダイヤルを回しても設定できます。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。
また、▶ボタンを押すことでも撮影画面に戻ることができます。

- 調整中に[ ]をタッチして[ ]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。
- 設定した明るさと色合いは、電源スイッチを[OFF]にする、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

# お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

撮影モード：[P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

## 1 モードダイヤルを[P]に合わせる

## 2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

露出メーター

- シャッタースピードは、[ISO160]、開放絞り値F3.5[交換レンズ(H-PS14042、H-FS1442A)装着時]またはF4.0[交換レンズ(H-FS45150)装着時]の場合、約20秒～1/4000秒の間で自動的に設定されます。

## 3 数値が表示されている間に(約10秒間)、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、カーソルボタンの▲を押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P119)が切り換わります。
- コントロールダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。(P76)
- 画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、コントロールダイヤルを回してください。
  カスタムメニューの[Fnボタン設定]を[ワンプッシュAE]に設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P83)

### 露出メーターを表示する/しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[露出メーター]→[ON]/[OFF]**

- [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に[露出メーター]が表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- [露出メーター]が表示されないときは、[DISP.]ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。(P58)
- 約4秒間何も操作しないと[露出メーター]が消灯します。

## プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

<プログラムシフトの例>
交換レンズ(H-PS14042)装着時

❶ プログラムシフト量
❷ プログラム線図
❸ プログラムシフト限界

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。
- プログラムシフトが有効になってから10秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され、通常のプログラムAEに戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。

### こんなときは使えません

- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- [ISO感度]を[iISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

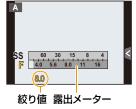
# 絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：A S M

## A： 絞り優先AE モード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

**1** モードダイヤルを［A］に合わせる

**2** コントロールダイヤルを回して絞り値を設定する

**絞り値：小さくなる**
背景をぼかしやすくなります。

**絞り値：大きくなる**
背景までピントが合った状態にしやすくなります。

- カーソルボタンの▲を押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。
- 設定した絞り値の効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、［プレビューモード］をお使いください。(P82)

- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- コントロールダイヤルを回すと、［露出メーター］が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を［A］にするとコントロールダイヤルの設定が有効になり、［A］以外では絞りリングの設定が優先されます。

## S： シャッター優先AE モード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

**1** モードダイヤルを[ S ]に合わせる

**2** コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

**シャッタースピード：遅くなる**
動きを表現しやすくなります。

**シャッタースピード：速くなる**
動きを止めやすくなります。

- カーソルボタンの▲を押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。
- 設定したシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード] をお使いください。(P82)

- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- コントロールダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- [ISO感度]が[iISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、[ISO感度]は[AUTO] になります。

**こんなときは使えません**
- フラッシュ発光時は、1/160 秒より速いシャッタースピードには設定できません。(P115)

## M： マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

**1** モードダイヤルを［M］に合わせる

**2** コントロールダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

露出メーター
絞り値
マニュアル露出アシスト
シャッタースピード

| | （左回し） | （右回し） |
|---|---|---|
| 絞り値 | **小さくなる**<br>背景をぼかしやすくなります。 | **大きくなる**<br>背景までピントが合った状態にしやすくなります。 |
| シャッタースピード | **遅くなる**<br>動きを表現しやすくなります。 | **速くなる**<br>動きを止めやすくなります。 |

- カーソルボタンの▲を押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。
- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、［プレビューモード］をお使いください。(P82)

続く

### マニュアル露出アシストについて

| メーター | 説明 |
|---|---|
| −3 0 +3 | 適正露出になります。 |
|  | シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。 |
|  | シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。 |

● マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

● 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
● コントロールダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
● シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
● シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
● [ISO感度]が[AUTO]または[iISO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、[ISO感度]は [ISO160]になります。
● 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの設定が優先されます。

### こんなときは使えません

● フラッシュ発光時は、1/160 秒より速いシャッタースピードには設定できません。(P115)

## 絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード）

**使えるモード：** iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- **絞り効果の確認**：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**：実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

**1** **カスタムメニューの [Fn ボタン設定 ] を [ プレビュー ] に設定する**（P44）

- 次の手順は、[Fn3] に [ プレビュー ] を設定した場合の例です。

**2** **[ < ] をタッチする**

**3** **[Fn3] をタッチして確認画面を切り換える**

- [Fn3] をタッチするごとに画面が切り換わります。

**通常撮影画面**

**絞り効果**

**シャッタースピード効果**

### 被写界深度の性質

| | | | |
|---|---|---|---|
| 撮影条件 | **絞り値** | **小さい** | **大きい** |
| | **レンズの焦点距離** | **望遠** | **広角** |
| | **被写体までの距離** | **近い** | **遠い** |
| **被写界深度（ピントの合っている範囲）** | | **浅い（狭い）**<br>例：背景をぼかして撮りたいときなど | **深い（広い）**<br>例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど |

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認のできる範囲は、8秒～1/1000秒です。

## 絞り／シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる(ワンプッシュAE)

使えるモード： P A S M C1 C2

露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたとき、ワンプッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

### 適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが -3 0 +3 以外で表示されたとき。マニュアル露出アシストについて詳しくは 81 ページをお読みください。

**1** **カスタムメニューの[Fnボタン設定]を[ワンプッシュAE]に設定する****(P44)**
- 次の手順は、[Fn1]ボタンに[ワンプッシュAE]を設定した場合の例です。

**2** **(適正露出でないときに)[Fn1]ボタンを押す**

- 露出メーターが表示され、絞り値やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。設定が変わる項目は、撮影モードによって異なります。

| 撮影モード | 設定が変わる項目 |
|---|---|
| A | 絞り値 |
| S | シャッタースピード |
| M | 絞り値／シャッタースピード |

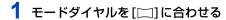
- 以下の場合では、適正露出に合わせることができません。(露出メーターは表示されます)
  – 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
  – フラッシュ撮影時
  – プレビューモード時(P82)
  – 絞りリングのあるレンズを使用時

- プログラムAEモード時では、ファンクションボタンを押すとプログラムシフトを解除することができます。

# パノラマ写真を撮る(パノラマモード)

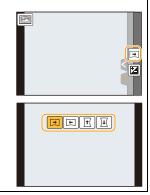
**撮影モード：**

カメラを水平または垂直に動かしている間に連続撮影をして、1枚のパノラマ写真に合成します。

## 1 モードダイヤルを[ ]に合わせる

## 2 撮影方向を確認し、[開始]をタッチする

- 水平/垂直ガイドが表示されます。

### 撮影方向を変更するには

❶ [ ]をタッチする
❷ [ ]をタッチする
❸ 撮影方向をタッチする

### 画像効果を加えるには

❶ 撮影モードアイコンをタッチする
❷ 作例写真をタッチして画像効果(フィルター)を選ぶ
- クリエイティブコントロールモードと同じ操作で、同じ画像効果を加えることができます。(P95)([トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]、[サンシャイン]を除く)
- パノラマ写真の撮影中、以下のクリエイティブコントロールモードの画像効果は画面に反映されません。[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]
- 画像効果を加えない場合は[OFF]を選択してください。

❸ [決定]をタッチする

- 撮影方向と画像効果は、撮影メニューの[パノラマ設定]でも設定できます。

続く

**3** シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

**4** シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合

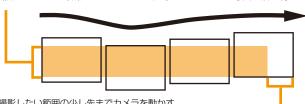
撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

**5** もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

### ■ 撮影のテクニック

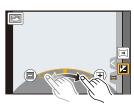
- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。
  (揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)

- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
  (最後の 1 コマは端まで記録されません)

## 明るさを設定する

*1* [ ]をタッチする

*2* [ ]をタッチして、設定画面を表示する

*3* スライドバーをドラッグして設定する

続く

- カメラを動かす最適な速さは、使用するレンズによって異なります。
- 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きいときはカメラをゆっくり動かしてください。
- [手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。
- ピント・ホワイトバランス・露出は、1コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
- 画像効果を加えた場合、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
- 複数の写真から1枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、撮影方向や合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

| 撮影方向 | 横 | 縦 |
|---|---|---|
| 水平方向 | 8176 画素 | 1920 画素 |
| 垂直方向 | 2560 画素 | 8176 画素 |

### こんなときは使えません

- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
  – 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
  – 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
  – 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
  – 暗い場所
  – 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

## ■ 再生について

パノラマ写真の[▲🖼]をタッチすると、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

- コントロールパネルをタッチすると、以下の操作が行えます。

| ▶/❚❚ | ▲ | パノラマ再生開始 / 一時停止※ |
|---|---|---|
| ■ | ▼ | 停止 |

※ 一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置がジャンプします。

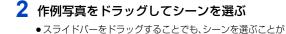
# 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

**撮影モード：SCN**

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

## 1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

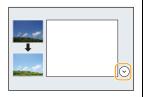
## 2 作例写真をドラッグしてシーンを選ぶ

● スライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

● 撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

## 3 [決定]をタッチする

### もっと表現を楽しむために

シーンを選ぶ画面で[DISP.]をタッチすると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。もっと写真表現を楽しみたい方には、説明を読んで撮影してみることをお勧めします。

● [∧]/[∨]をタッチすると、ページを切り換えられます。

● シーンガイドモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
– [フォトスタイル]の画質調整以外の項目/[ISO感度]/[測光モード]/[HDR]/[デジタルズーム]

● シーンによってはホワイトバランスは[AWB]に固定されますが、撮影画面でカーソルボタンの▶を押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスブラケットが使えます。
詳しくは、124、125 ページをお読みください。

シーンガイドモードの設定方法は P87

## 1: 人物をきれいに撮る

顔の明るさを適正にして、背景をぼかすことで、人物をきれいに撮影できます。

ヒント

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

## 2: 人物の肌をきれいに撮る

顔を少し明るめにして、肌色を滑らかにすることで、人物の肌をきれいに撮影できます。

ヒント

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

## 3: 逆光でふんわり撮る

逆光のときに、画面全体を明るめにすることで、光があふれて、ふんわりとした雰囲気で人物を撮影できます。

## 4: 逆光でしっかり撮る

昼間の屋外で、フラッシュを使うことで、しっかりと人物の顔を撮影できます。

ヒント

- **フラッシュを開いてください。([⚡]に設定できます)**
- 被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。

シーンガイドモードの設定方法は  P87

## 5: ほのぼのした雰囲気で撮る

暖色の色調にすることで、ほのぼのとした雰囲気で人物を撮影できます。

## 6: 子どもをかわいく撮る

顔にピントを合わせて背景をぼかすことで、子どもの表情を引き立てて、かわいく撮影できます。

**顔をタッチする**

- タッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。

 **ヒント**

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

## 7: 風景をきれいに撮る

青空や緑を鮮やかにすることで、風景をきれいに撮影できます。

## 8: 青空をさわやかに撮る

晴れた日に、画面全体を明るめにすることで、さわやかに青空を撮影できます。

シーンガイドモードの設定方法は P87

## 9: 夕焼けを幻想的に撮る

日没直後に、紫がかった色調にすることで、幻想的な空を撮影できます。

## 10: 夕焼けを印象的に撮る

赤色を強調することで、印象的な夕焼けを撮影できます。

## 11: 水面をキラキラ撮る

水面に映る光を、明るく青く、キラキラと強調させて撮影できます。

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

目次
MENU メニュー一覧
さくいん
シーンガイドモードの設定方法は P87

## 12: 夜景をきれいに撮る

光の色を鮮やかにすることで、夜景をきれいに撮影できます。

**ヒント**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 13: 夜空をクールに撮る

日没後に、青みがかった色調にすることで、都会的でクールに夜空を撮影できます。

**ヒント**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

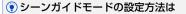
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 14: 夜景を暖かく撮る

暖色の色調にすることで、暖かみのある夜景を撮影できます。

**ヒント**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

シーンガイドモードの設定方法は P87

## 15: 夜景をアーティスティックに撮る

シャッタースピードを遅くすることで、光の軌跡が美しい、アーティスティックな夜景を撮影できます。

ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 16: イルミネーションをキラキラ撮る

クロスフィルターを使うことで、光の輝きがキラキラと強調されたイルミネーションやライトアップを撮影できます。

ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 17: 夜景をバックに人物をきれいに撮る

フラッシュを発光し、長秒撮影することで、夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。

ヒント

- **フラッシュを開いてください。([ ⚡S◎ ]に設定できます)**
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。

- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

シーンガイドモードの設定方法は P87

## 18: 花をふんわり撮る

ソフトフォーカスを使うことで、ふんわりとやわらかな雰囲気で花を撮影できます。

**ヒント**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。
 135 ページの「撮影距離基準について」をお読みください。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 撮影時は近距離側を優先するため、遠くの被写体を撮影する場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合がありますのでお気をつけください。

## 19: 料理をおいしそうに撮る

画面全体を明るくすることで、おいしそうに料理を撮影できます。

**ヒント**

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

シーンガイドモードの設定方法は P87

## 20: スイーツをかわいく撮る

画面全体を明るくすることで、かわいくスイーツを撮影できます。

ヒント

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

## 21: 動くペットをきちんと撮る

シャッタースピードを速くすることで、ブレずに動きの速いペットを撮影できます。

## 22: スポーツをきれいに撮る

シャッタースピードを速くすることで、スポーツシーンなど、動きの速い場面をブレずに撮影できます。

## 23: モノクロで撮る

モノクロで撮影することで、いつもと違った雰囲気で撮影できます。

# 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード：

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

**1** モードダイヤルを [ ] に合わせる

**2** 作例写真をタッチして画像効果(フィルター)を選ぶ

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- [Ⓐ]/[Ⓥ]をタッチすると、画像効果を切り換えることができます。
- [DISP.]ボタンを押す、または[DISP.]をタッチすると、選択されている画像効果の説明が表示されます。

撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

**3** [決定]をタッチする

- クリエイティブコントロールの設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- ホワイトバランスは[AWB]に、[ISO感度]は[AUTO]に固定されます。

## 画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

***1*** [ ]をタッチする

***2*** [ ]をタッチして、設定画面を表示する

- 撮影画面で ▶ を押すことでも設定画面を表示できます。

***3*** スライドバーをドラッグして設定する

- コントロールダイヤルを回しても設定できます。
- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。それぞれの画像効果の「調整できる項目」をお読みください。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。また、▶ を押すことでも撮影画面に戻れます。
- 画像効果の設定を行うと、画面に[ ]が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心(標準)を選んでください。

## 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

**1** [ ]をタッチする

**2** [ ]をタッチして、設定画面を表示する

**3** スライドバーをドラッグして設定する

- [ ]をタッチすると、ボケ味コントロール操作を終了します。

## 明るさを設定する

**1** [ ]をタッチする

**2** [ ]をタッチして、設定画面を表示する

**3** スライドバーをドラッグして設定する

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P95

## ポップ

色を強調したポップアート風の画像効果です。

**調整できる項目**

| 鮮やかさ | 落ち着いた色合い ⇔ 派手な色合い |
|---|---|

## レトロ

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。

**調整できる項目**

| 色合い | 黄色っぽい色 ⇔ 赤っぽい色 |
|---|---|

## オールドデイズ

光に包まれた柔らかく懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。

**調整できる項目**

| コントラスト | 明暗差が小さい ⇔ 明暗差が大きい |
|---|---|

## ハイキー

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

| 色合い | ピンクっぽい色 ⇔ 水色っぽい色 |
|---|---|

- パノラマモードでこの画像効果を選択した場合、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P95

## ローキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気で、明るい部分を引き立てる画像効果です。

**調整できる項目**

| 色合い | 赤っぽい色 ⇔ 青っぽい色 |
|---|---|

## セピア

セピア色の画像効果です。

**調整できる項目**

| コントラスト | 明暗差が小さい ⇔ 明暗差が大きい |
|---|---|

## ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

| コントラスト | 明暗差が小さい ⇔ 明暗差が大きい |
|---|---|

## インプレッシブアート

強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

| 鮮やかさ | 白黒 ⇔ 派手な色合い |
|---|---|

- パノラマモードでこの画像効果を選択した場合、写真のつなぎ目が目立つことがあります。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は  P95

## ハイダイナミック

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

| 鮮やかさ | 白黒 ⇔ 派手な色合い |
|---|---|

## クロスプロセス

意外な発色で、独特の雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

| 色合い | 緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 |
|---|---|

- 発色させる色合いを選び、タッチして調整してください。

## トイフォト

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。

**調整できる項目**

| 色合い | オレンジっぽい色 ⇔ 青っぽい色 |
|---|---|

クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞P95

## トイポップ

明るく鮮やかにトイカメラで撮影したような画像効果です。

**調整できる項目**

| 周辺光量が落ちる範囲 | 小さい ⇔ 大きい |
|---|---|

## ブリーチバイパス

高コントラストで彩度を低くした、映画で使われるような渋い雰囲気の画像効果です。

**調整できる項目**

| コントラスト | 明暗差が小さい ⇔ 明暗差が大きい |
|---|---|

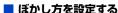
クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞ P95

## ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

| 鮮やかさ | 落ち着いた色合い ⟷ 派手な色合い |
|---|---|

### ■ ぼかし方を設定する

[ジオラマ]では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き（ぼかす向き）やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

**1** **[ ]をタッチする**

**2** **[ ]をタッチして、設定画面を表示する**

- 撮影画面で画面をタッチすることでも、設定画面を表示できます。
- [Fn1]ボタンを押すことでも設定画面を表示できます。

**3** **[ ]をタッチして撮影する向き（ぼかす向き）を設定する**

**4** **ぼかさない部分をタッチする**

- カーソルボタンでぼかさない部分を移動することもできます。

**5** **ピンチアウト/ピンチイン(P21)してぼかさない部分の大きさを変更する**

- 3 種類の大きさに変更できます。
- コントロールダイヤルを回しても拡大/縮小できます。
- [リセット]をタッチすると、ぼかさない部分の設定は、初期設定に戻ります。

**6** **[決定]をタッチする**

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約1/10の時間で記録されます。（10分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります）表示される記録可能時間は約10倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- フォーカスモードが[MF]の場合、ピントを合わせた場所にぼかさない部分を移動させてください。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞ P95

## ソフトフォーカス

全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

| ボケ具合 | ボケ具合が小さい ⇔ ボケ具合が大きい |
|---|---|

● 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

## ファンタジー

淡い色調で空想の世界のような雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

| 鮮やかさ | 落ち着いた色合い ⇔ 派手な色合い |
|---|---|

## クロスフィルター

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

| 光の輝きの長さ | 輝きが短い ⇔ 輝きが長い |
|---|---|

● 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は P95

## ワンポイントカラー

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

**調整できる項目**

| 残す色の量 | 少し色を残す ⇔ 多く色を残す |
|---|---|

### ■ 残したい色を設定する

画面の位置を選ぶことで、残したい色を選ぶことができます。

**1** [ ]をタッチする

**2** [ ]をタッチして、設定画面を表示する

- [Fn1]ボタンを押すことでも設定画面を表示できます。

**3** 残したい色の部分をタッチする

- [リセット]をタッチすると、残したい色の設定は中央に戻ります。

**4** [決定]をタッチする

- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は

## サンシャイン

光が差し込むような雰囲気を作る画像効果です。

**調整できる項目**

| 色合い | 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 標準 |
|---|---|

- 色合いを選び、タッチして調整してください。

### ■ 光源を設定する

光源の位置と大きさを設定できます。

**1** [ ] をタッチする

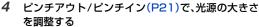
**2** [ ] をタッチして、設定画面を表示する

- [Fn1]ボタンを押すことでも設定画面を表示できます。

**3** 光源の中心を置きたい位置をタッチする

- カーソルボタンで光源の位置を移動することもできます。
- 光源の中心は画面の端まで移動できます。

> **光源の中心を置くときのポイント**
> 画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。

**4** ピンチアウト/ピンチイン(P21)で、光源の大きさを調整する

- 4種類の大きさに変更できます。
- コントロールダイヤルを回しても拡大/縮小できます。
- [リセット]をタッチすると、光源の設定は初期設定に戻ります。

**5** [決定]をタッチする

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

# お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

**撮影モード：C1 C2**

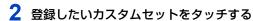
現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。
- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

## お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。

準備：あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

**1 カスタムメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ**(P38)

**2 登録したいカスタムセットをタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

| カスタムセット | 内容 |
|---|---|
| C1 | モードダイヤルのC1に登録されます。<br>● モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。 |
| C2-1 | モードダイヤルのC2に登録されます。<br>● 3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせて使い分けいただけます。 |
| C2-2 | |
| C2-3 | |

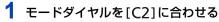
## 登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

### モードダイヤルを[C1]に合わせる

- [C1]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。

---

**1** モードダイヤルを[C2]に合わせる

- [C2-1]、[C2-2] または [C2-3] に登録されたカスタムセットが呼び出されます。
  最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。
- カスタムセットを変更するときは、
  →手順 2、3 へ

**2** [MENU/SET]ボタンを押し、[カスタムモード]をタッチする

**3** カスタムセットをタッチする

- 撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。

### ■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1またはC2に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されず、他の撮影モードに反映されます。

| 撮影メニュー | セットアップメニュー | カスタムメニュー |
|---|---|---|
| –[個人認証]で登録されたデータ<br>–[プロフィール設定]の設定内容 | –すべてのメニュー | –[iA ボタン切換]<br>–[タッチ再生送り速度]<br>–[メニューガイド] |

# 手ブレを補正する

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 SCN

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

**手ブレ補正機能に対応したレンズが必要です。**
– 交換レンズ(H-PS14042、H-FS1442A、H-FS45150)には、手ブレ補正機能があります。

## ■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

**1 撮影メニューから[手ブレ補正]を選ぶ**(P38)

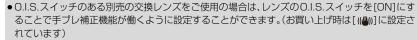
**2 設定項目をタッチする**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| (通常) | 上下左右の動きに対する手ブレを補正します。 |
| (流し撮り) | 上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。 |
| OFF | 手ブレ補正は働きません。(O.I.S.スイッチのないレンズをご使用の場合のみ選択できます) |

- 手ブレ補正機能のないレンズを使用した場合、[手ブレ補正]は選択できません。
- 設定後はメニューを終了してください。

**手ブレを防ぐために**

手ブレ警告表示[ ]が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー(P142)などをお使いください。

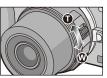
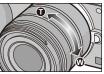
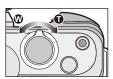
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  – スローシンクロ
  – 赤目軽減スローシンクロ
  – シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
  – シャッタースピードを遅くしたとき

- O.I.S.スイッチのある別売の交換レンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。（お買い上げ時は[ ]に設定されています）
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正を[OFF]にすることをお勧めします。[OFF]に設定すると、画面に[ ]が表示されます。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  – 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  – デジタルズーム使用時
  – 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  – 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[ ]での流し撮りの効果が出にくくなります。
  – 夏の日中など、明るいところ
  – シャッタースピードが1/100より速い場合
  – 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  – 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

# ズームを使って撮る

使えるモード：

風景などを広く（広角：W 側）撮ったり人や物を大きく（望遠：T 側）撮ることができます。

| | 交換レンズの<br>ズームレバー※1 | 本機の<br>ファンクションレバー※1、2 |
|---|---|---|
| **パワーズーム（電動式ズーム）に対応した交換レンズ（H-PS14042）をお使いの場合** |  |  |
| | 交換レンズの<br>ズームリング | 本機の<br>ファンクションレバー※1、2、3 |
| **パワーズームに対応していない交換レンズ（H-FS1442A、H-FS45150）をお使いの場合** |  |  |
| | **T 側**：望遠、大きく撮る<br>**W 側**：広角、広く撮る | |

※1 動かす幅によって、ズームスピードが変わります。
※2 ファンクションレバーでズーム操作する場合は、カスタムメニューの［ファンクションレバー］(P23)を［ZOOM］に設定してください。
※3 ファンクションレバーで操作できるのは、撮影メニューの［EXテレコン（写真）］を［ZOOM］に設定時のみです。

## 望遠効果を上げる

### EX テレコン（写真）/EX テレコン（動画）

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

| **写真撮影時** | ［EX テレコン（写真）］ | 最大 2倍※ |
|---|---|---|

※ 記録画素数［S］（4 M）、画像横縦比［4:3］選択時。記録画素数や画像横縦比により変わります。
- **記録画素数を［M］または［S］（EX付きの記録画素数）に、クオリティを［ ］または［ ］に設定してください。**

| **動画撮影時** | ［EX テレコン（動画）］ | 3.6 倍（［HD/60p］、［HD/30p］）<br>4.8倍（［VGA/30p］） |
|---|---|---|

- 画質設定を［FHD/60i］、［FHD/30p］に設定時は使えません。

続く

### EXテレコンを段階的に拡大する

MENU ボタン→[撮影]→[EX テレコン(写真)]→[ZOOM]

**ズームレバーやファンクションレバーを使って操作ができます。**

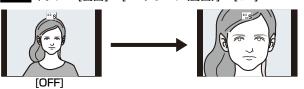
- 写真撮影時のみ使えます。
- ファンクションレバーでズーム操作する場合は、カスタムメニューの[ファンクションレバー](P23)を[ZOOM]に設定してください。
- パワーズームに対応した交換レンズ(H-PS14042)をお使いの場合は、光学ズーム領域のT端までズーム後に、EXテレコン領域に入ります。

**光学ズーム領域(焦点距離)**※　**写真時のEXテレコン領域(ズーム倍率)**

※パワーズームに対応した交換レンズ(H-PS14042)をお使いの場合のみ表示されます。

- ズーム倍率は目安です。

### EXテレコンを単純に拡大する

MENU ボタン→[撮影]→[EX テレコン(写真)]→[TELE CONV.]
MENU ボタン→[動画]→[EX テレコン(動画)]→[ON]

- EXテレコン使用時は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面の画角が変わります。[記録枠表示](P164)の設定を撮影したいモードに合わせておくと、あらかじめ撮影時の画角を確認できます。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、EXテレコンは使えません。
  – パノラマモード
  – クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[トイポップ]
  – [クオリティ]を[RAW▪▪▪]、[RAW▪▪]、[RAW]に設定時
  – [連写速度]を[SH]に設定時
  – [HDR]を[ON]に設定時

続く

##  パワーズームレンズの設定を変更する

**MENU ボタン→[カスタム]→[パワーズームレンズ]**

パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズをお使いの場合のみ選択できます。
– 交換レンズ（H-PS14042）はパワーズームに対応しています。
– 交換レンズ（H-FS1442A、H-FS45150）はパワーズームに対応していません。
（対応レンズについては、ホームページをご覧ください）

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [焦点距離表示] | ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム位置を確認することができます。<br>**[ON]、[OFF]**<br>焦点距離表示<br>現在の焦点距離 |
| [ステップズーム] | [ON]に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。<br>● 動画撮影時は働きません。<br>**[ON]、[OFF]**<br>ステップズーム表示 |
| [ズーム位置メモリー] | 電源スイッチを[ON]にすると、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。<br>**[ON]、[OFF]** |
| [ズーム速度] | ズーム操作時のズームスピードを設定することができます。<br>● [ステップズーム]を[ON]に設定すると、ズームスピードは変わりません。<br>**[写真]：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）**<br>**[動画]：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）** |
| [ズームリング操作] | ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときのみ選択できます。[OFF]に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングでの操作を無効にできます。<br>**[ON]、[OFF]** |

## デジタルズーム

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大 4 倍まで拡大できます。

**MENU ボタン→[撮影]→[ デジタルズーム ]→[4×]/[2×]**
**MENU ボタン→[動画]→[ デジタルズーム ]→[4×]/[2×]**

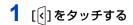
● デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P142)を使って撮影することをお勧めします。

### こんなときは使えません

● 以下の場合、デジタルズームは使えません。
– インテリジェントオート（iA または iA+）モード
– パノラマモード
– シーンガイドモード
– クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]

## タッチ操作でズームを使う

タッチ操作でズーム操作を行うことができます。（タッチズーム）
**（光学ズーム、写真時のEXテレコンのみ操作できます）**

- パワーズームに対応していない交換レンズ（H-FS1442A、H-FS45150）をお使いの場合は、以下の設定にすると写真時のEXテレコンのみ操作できます。
  – カスタムメニューの[ファンクションレバー]を[ZOOM]に設定する
  – 撮影メニューの[EXテレコン（写真）]を[ZOOM]に設定する

### 1 [<]をタッチする

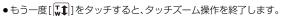
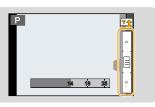
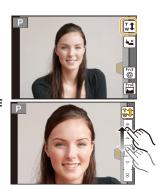
### 2 [T/W]をタッチする

- スライドバーが表示されます。

### 3 スライドバーをドラッグして、ズーム操作を行う

- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

| | |
|---|---|
| [▲]/[▼] | ゆっくりズームする |
| [⏫]/[⏬] | 速くズームする |

- もう一度[T/W]をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。

- [ステップズーム](P111)を[ON]に設定時は、ステップズーム用のスライドバーが表示されます。

# フラッシュを使って撮る

使えるモード：

## ■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

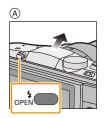
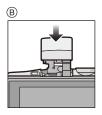
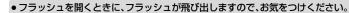
内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

Ⓐ 開くとき

**フラッシュオープンボタンを押す**

Ⓑ 閉じるとき

**フラッシュをカチッと音がするまで押す**

- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、[ ]に固定されます。

Ⓐ
Ⓑ
- **フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。**
- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**

## ■ フラッシュ撮影可能範囲

フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光の照明範囲外となるため、撮影画像の一部が暗くなります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。
フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。

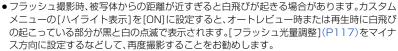
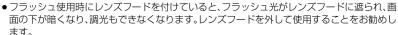
| | 交換レンズ (H-PS14042)装着時 | | 交換レンズ (H-FS1442A)装着時 | | 交換レンズ (H-FS45150)装着時 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | フラッシュ撮影可能範囲 | | フラッシュ撮影可能範囲 | | フラッシュ撮影可能範囲 | |
| | W端時 | T端時 | W端時 | T端時 | W端時 | T端時 |
| ISO感度 [AUTO]設定時 | 約 40 cm～ 約 5.7 m | 約 30 cm～ 約3.5 m | 約 1.0 m～ 約 5.7 m | 約 30 cm～ 約3.5 m | 約 90 cm～ 約5.0 m | 約 90 cm～ 約 3.5 m |

- [ISO感度上限設定](P155)を[OFF]に設定時の範囲です。

続く

### フラッシュを上手に使うには

- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整](P117)をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。

- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。

### こんなときは使えません

- 被写体に近すぎたりフラッシュ光が十分に届かない被写体を撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体を撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- **使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。**
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

## フラッシュモードを切り換える

**使えるモード：** iA iA+ P A S M ■M C1 C2 ▭ SCN ◎

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。
● フラッシュを開いてください。

**1 撮影メニューから［フラッシュ設定］を選ぶ****(P38)**
**2 ［フラッシュモード］をタッチする**
**3 設定項目をタッチする**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| ⚡：強制発光<br>⚡◎：赤目軽減強制発光※1 | フラッシュを強制的に発光させます。<br>● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** |
| ⚡S：スローシンクロ<br>⚡S◎：赤目軽減スローシンクロ※1 | フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。<br>● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**<br>● **シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。** |
| ⊛：発光禁止 | どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。<br>● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**<br>● **内蔵フラッシュ使用時に発光禁止にするには、フラッシュを閉じてください。** |

※1 ［フラッシュ設定］の［ワイヤレスモード］を［OFF］に設定時のみ設定できます。

**フラッシュは2回発光します。特に［⚡◎］、［⚡S◎］に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。**

### ■ フラッシュモード別のシャッタースピード

| フラッシュモード | シャッタースピード |
|---|---|
| ⚡ | 1/60※2～1/160秒 |
| ⚡◎ | 1/60※2～1/160秒 |

| フラッシュモード | シャッタースピード |
|---|---|
| ⚡S | 1～1/4000秒 |
| ⚡S◎ | 1～1/4000秒 |
| ⊛ | 60～1/4000秒 |

※2 シャッター優先AEモード、マニュアル露出モード時は60秒となります。
● フラッシュ発光時は、シャッタースピードが1/160秒より速い設定には設定できません。
● インテリジェントオート（iA または iA+）モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

## ■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンガイドモード初期設定）

| 撮影モード | | ‡ | ‡◎ | ‡S | ‡S◎ | Ⓢ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| iA インテリジェントオートモード | | ×※ | ×※ | ×※ | ×※ | ○ |
| iA+ インテリジェントオートプラスモード | | ×※ | ×※ | ×※ | ×※ | ○ |
| P プログラム AE モード | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A 絞り優先 AE モード | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| S シャッター優先 AE モード | | ○ | ○ | × | × | ○ |
| M マニュアル露出モード | | ○ | ○ | × | × | ○ |
| M クリエイティブ動画モード | | × | × | × | × | ○ |
| パノラマモード | | × | × | × | × | ○ |
| クリエイティブコントロールモード | | × | × | × | × | ○ |
| SCN シーンガイドモード | 人物をきれいに撮る | ○ | ◎ | × | × | ○ |
| | 人物の肌をきれいに撮る | ○ | ◎ | × | × | ○ |
| | 逆光でふんわり撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 逆光でしっかり撮る | ◎ | × | × | × | ○ |
| | ほのぼのした雰囲気で撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 子どもをかわいく撮る | ○ | ◎ | × | × | ○ |
| | 風景をきれいに撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 青空をさわやかに撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夕焼けを幻想的に撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夕焼けを印象的に撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 水面をキラキラ撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夜景をきれいに撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夜空をクールに撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夜景を暖かく撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夜景をアーティスティックに撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | イルミネーションをキラキラ撮る | × | × | × | × | ◎ |
| | 夜景をバックに人物をきれいに撮る | × | × | × | ◎ | ○ |
| | 花をふんわり撮る | ◎ | × | × | × | ○ |
| | 料理をおいしそうに撮る | ◎ | × | × | × | ○ |
| | スイーツをかわいく撮る | ◎ | × | × | × | ○ |
| | 動くペットをきちんと撮る | ◎ | × | × | × | ○ |
| | スポーツをきれいに撮る | ◎ | × | × | × | ○ |
| | モノクロで撮る | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 撮影メニューによる設定はできません。フラッシュを開くと［i‡A］が設定されます。(P71)

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶しています。シーンガイドモードでシーンを変更すると、シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

## フラッシュの発光量を調整する

**使えるモード：** P A S M C1 C2 SCN

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

**1 撮影メニューから［フラッシュ設定］を選ぶ**(P38)
**2 ［フラッシュ光量調整］をタッチする**
**3 スライドバーをドラッグしてフラッシュの発光量を設定し、［決定］をタッチする**
- –2 EV から+2 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0”を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに[+]または[−]が表示されます。
- [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定時のみ設定できます。(P117)

## ワイヤレスフラッシュの設定をする

**使えるモード：** P A S M C1 C2

ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト（別売：DMW-FL360L）を使うと、3 つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュを別々に発光制御できます。

準備：本機のフラッシュOPEN ボタンを押して、フラッシュを開いてください。

**1 外部フラッシュの設定を RC モードにして、配置する**
- 外部フラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

**2 撮影メニューから［フラッシュ設定］を選ぶ**(P38)
**3 ［ワイヤレスモード］を選び、［ON］をタッチする**
- [ワイヤレスモード]を[ON]に設定すると、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュの詳細な設定を行う場合は、[フラッシュ設定]から以下の設定を行ってください。

**［ワイヤレスチャンネル］**
コントロールする外部フラッシュと同じチャンネルに合わせてください。
**設定：［1CH］、［2CH］、［3CH］、［4CH］**

**［ワイヤレス FP］**
ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光（フラッシュが高速で発光を繰り返すこと）します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。
**設定：［ON］、［OFF］**

**［ワイヤレス通信光量］**
ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定します。
**設定：［強］、［中］、［弱］**

続く

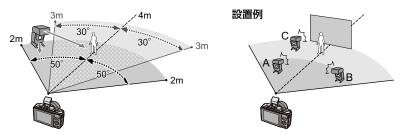
**[ワイヤレス設定]**

● [DISP.] ボタンを押すと、テスト発光を行います。

| 項目 | | 設定内容 |
|---|---|---|
| 内蔵フラッシュ※ | 発光モード | TTL:　カメラが自動的に内蔵フラッシュの発光量を設定します。<br>OFF:　内蔵フラッシュは通信発光のみ行います。 |
| | フラッシュ光量調整 | 内蔵フラッシュの発光量を手動で調整します。 |
| Aグループ/Bグループ/Cグループ | 発光モード | TTL:　カメラが自動的に外部フラッシュの発光量を設定します。<br>AUTO※:　外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。<br>マニュアル:　外部フラッシュの光量比を手動で設定します。<br>OFF:　設定したグループの外部フラッシュは発光しません。 |
| | フラッシュ光量調整 | [発光モード]を[TTL]に設定時の外部フラッシュの発光量を手動で調整します。 |
| | マニュアル発光量設定 | [発光モード]を[マニュアル]に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。<br>●[1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。 |

※ [ワイヤレスFP]を[ON]に設定時は設定できません。

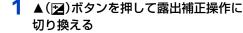
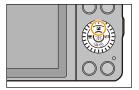
## ■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

● ワイヤレスフラッシュの設置数は 1 グループ最大 3 台をお勧めします。
● 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(ディヒューザーなどで減光すると症状が緩和されます)

# 露出を補正して撮る

使えるモード：

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

## 1 ▲(露出補正)ボタンを押して露出補正操作に切り換える

## 2 コントロールダイヤルを回して、露出を補正する

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

- 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。
- コントロールダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。(P76)

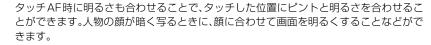
- ファンクションレバーで露出補正をする場合は、カスタムメニューの[ファンクションレバー](P23)を[EXP.]に設定してください。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- プログラムAEモードでは、絞り値とシャッタースピードの数値が画面に表示中はカーソルボタンの▲を押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作が切り換わります。
- 絞り優先AEモードではカーソルボタンの▲を押すごとに、絞り設定操作(P78)と露出補正操作が切り換わります。
- シャッター優先AEモードではカーソルボタンの▲を押すごとに、シャッタースピード設定操作(P79)と露出補正操作が切り換わります。

### こんなときは使えません

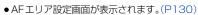
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。

# 狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE)

使えるモード：

タッチAF時に明るさも合わせることで、タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

## 1 カスタムメニューから[タッチ設定]を選ぶ(P38)

## 2 [タッチAF]を選び、[AF+AE]をタッチする

## 3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- AFエリア設定画面が表示されます。(P130)
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[]に変わります。
- [リセット]をタッチすると、明るさを合わせる位置とAFエリアは中央に戻ります。

## 4 [決定]をタッチする

- タッチした場所に[■]と同じ働きのAFエリアが表示されます。
- [AF AE OFF]をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。AFエリアの設定も解除されます。
- [AE OFF]をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

背景が明るくなりすぎたりした場合は、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。

- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、タッチ AE 機能は働きません。
  – マニュアルフォーカス時
  – デジタルズーム使用時
  – カーソルボタンを使って AF エリアを設定したとき

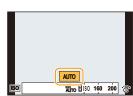
# ISO感度を設定する

使えるモード：iA iA+ P A S M ⦁M C1 C2 ▭ SCN ♂

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

**1** 撮影メニューから［ISO 感度］を選ぶ(P38)

**2** コントロールダイヤルを回してISO感度を選ぶ

**3** ［MENU/SET］ボタンを押して決定する
- 設定後はメニューを終了してください。

| ISO感度 | 設定内容 |
|---|---|
| AUTO | 明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。<br>● 最大［ISO3200］（フラッシュ使用時［ISO1600］）※1 |
| ISO（インテリジェント） | 被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。<br>● 最大［ISO3200］（フラッシュ使用時［ISO1600］）※1<br>● シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。 |
| 160/200/400/800/1600/3200/6400/12800/H.25600※2 | それぞれのISO感度に固定します。<br>● 撮影メニューの［ISO感度ステップ］(P155)を［1/3 EV］に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します。 |

※1 撮影メニューの［ISO感度上限設定］(P155)を［OFF］以外に設定しているときは、［ISO感度上限設定］の設定値までの範囲で自動的に設定します。
※2 ［拡張ISO感度］を設定時のみ

## ISO感度の性質

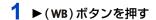
| | 160 ⟷ | 12800 |
|---|---|---|
| 撮影場所（お勧め） | 明るいとき（屋外） | 暗いとき |
| シャッタースピード | 遅くなる | 速くなる |
| ノイズ | 少ない | 多い |
| 被写体ブレ | 多い | 少ない |

- ［AUTO］設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、113ページをお読みください。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
  ［AUTO］、［160］～［3200］

# ホワイトバランスを調整する

使えるモード：

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

**1** ▶（WB）ボタンを押す

**2** コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

**3** [MENU/SET] ボタンを押して決定する

| 項目 | 撮影状況 |
|---|---|
| [AWB] | 自動調整 |
| [☼] | 晴天の屋外での撮影時 |
| [☁] | 曇りの屋外での撮影時 |
| [⌂] | 屋外の晴天下の日陰での撮影時 |
| [白熱灯] | 白熱灯下での撮影時 |
| [⚡WB] ※ | フラッシュ光のみでの撮影時 |
| [1]、[2] | 手動で設定した設定値を使用 |
| [K] | あらかじめセットしている色温度設定を使用 |

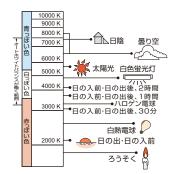
※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。

●蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または[1]、[2]をご使用ください。

●フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P113)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
●電源を切っても設定したホワイトバランスは記憶されます。(シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは [AWB] に戻ります)
●以下のシーンガイドモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
– [逆光でふんわり撮る]/[ほのぼのした雰囲気で撮る]/[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]

続く

### ■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB] 以外に設定して調整してください。

## 手動でホワイトバランスを設定する

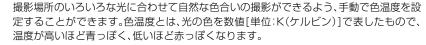
ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

**1** **[ ]または[ ]を選び、[ホワイトセット変更]をタッチする**

**2** **白い紙など白いものだけを枠内に映し、[決定]をタッチする**

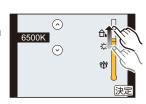
● 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。

## 色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

**1　[ K ]を選び、[色温度設定]をタッチする**

**2　色温度設定バーをドラッグする**

- [⋀]/[⋁]をタッチまたはカーソルボタンの▲/▼を押しても数値を設定することができます。
- [2500K]～[10000K]まで設定できます。

**3　[決定]をタッチする**

## ホワイトバランス微調整

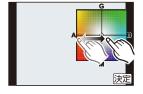
ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

**1　ホワイトバランスを選び、[調整]をタッチする**

**2　ホワイトバランス微調整枠内をドラッグして、微調整する**

- カーソルボタンの▲/▼/◀/▶を押しても微調整することができます。

◀:A(アンバー:オレンジ系)　▲:G(グリーン:緑系)
▶:B(ブルー:青系)　▼:M(マゼンタ:赤系)

- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。

**3　[決定]をタッチする**

- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG(グリーン)またはM(マゼンタ)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+](グリーン)または[−](マゼンタ)が表示されます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [1]、[2]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[ K ]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準(中心点)に戻ります。

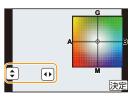
## ホワイトバランスブラケット

１回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に３枚撮影します。

**1 「ホワイトバランス微調整」の手順2でホワイトバランスを微調整し、[◆]/[◀▶]をタッチしてブラケット設定を行う**

[◀▶]：横方向（A～B）

[◆]：縦方向（G～M）

● コントロールダイヤルを回してもブラケット設定することができます。

**2 [決定]をタッチする**

● ホワイトバランスブラケットを設定すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[BKT]が表示されます。
● 電源スイッチを[OFF]（スリープモードを含む）にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
● シャッター音は１回しか鳴りません。

**こんなときは使えません**

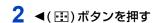
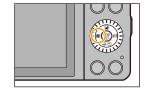
● 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
– パノラマモード
– 動画撮影時
– [クオリティ]を[RAW▲▲▲]、[RAW▲]、[RAW]に設定時
– [HDR]を[ON]に設定時

# 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

使えるモード：

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

## 1 [フォーカスモード]を[AFS]、[AFF]または[AFC]に設定する(P127)

## 2 ◄( ) ボタンを押す

## 3 オートフォーカスモードをタッチする

- [ ]、[ ]、[ ]、[ ] を選択時に▼ボタンを押すと、AFエリア設定画面が表示されます。AFエリア設定画面での操作については、130ページをお読みください。

## 4 [決定]をタッチする

- 以下の場合、オートフォーカスモードは[ ]に固定されます。
  – デジタルズーム使用時
  – クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]

### こんなときは使えません

- 以下の場合、[ ] に設定できません。
  – シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
- [フォーカスモード]の[AFF]、[AFC]では[ ]に設定できません。
- 自分撮りモード時は、オートフォーカスモードの設定はできません。

## フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード: iA iA+ P A S M ■M C1 C2 ▭ SCN ✎

**1** 撮影メニューから[フォーカスモード]を選ぶ(P38)

**2** 設定したい項目をタッチする

● 被写体の動き、撮影シーンに合わせて、フォーカスモードを選んでください。

| 項目 | 被写体の動き、撮影シーン(お勧め) | 内容 |
|---|---|---|
| AFS | 静止している<br>(風景、記念撮影など) | AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。<br>半押ししている間、ピントは固定されます。 |
| AFF | 動きが予測できない<br>(子ども、ペットなど) | AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。<br>半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。 |
| AFC | 動いている<br>(スポーツ、鉄道など) | AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測) |
| MF | 手動でピントを合わせます。(P133) | |

### [AFF]、[AFC]で撮影する場合は

● W端からT端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
● 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
● シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

● [AFF]、[AFC]は使用するレンズによって、動作しない場合があります。詳しくは、24ページのホームページをご覧ください。
● 設定後はメニューを終了してください。

### こんなときは使えません

● パノラマモードでは、[AFF]、[AFC]に設定できません。

## オートフォーカスモードの種類

### (顔認識)について

人の顔を自動的(最大15個)に検知します。認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。

カメラが顔を認識するとAFエリアが表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- **AFエリアの位置と大きさを変えることができます。**(P130)
- [ ]選択時、[測光モード]を[ ]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。(P148)

**こんなときは使えません**

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[ ]に切り換わります。
  – 顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
  – 顔の陰影が少ない　– 動きが速い　– 被写体が人物以外である　– 手ブレしている

### (追尾AF)について

指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)

#### ■ タッチパネル操作時

被写体をタッチしてロックできます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- ロック中は AFエリアが黄色になります。
- [ ]をタッチすると、ロックは解除されます。

#### ■ ボタン操作時

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しするとロックできます。

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- インテリジェントオート( または )モードでは、カーソルボタンの◀を押すごとに追尾AFと顔認識が切り換わります。

追尾AFエリア

続く

- [測光モード]を[(◎)]に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。(P148)
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、追尾AFは働きません。その際、オートフォーカスモードは[■]の動作になります。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、[追尾]は[■]の動作になります。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[モノクロで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[ダイナミックモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - [フォトスタイル]の[モノクローム]
- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  - 被写体が小さすぎる
  - 被写体の動きが速い
  - 手ブレしている
  - 撮影場所が明るすぎる / 暗すぎる
  - 被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
  - ズーム操作時

## (23点)について

AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。(AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります)

- **23個のAFエリアを9つのエリアに分け、ピントを合わせる位置を選択できます。**(P130)

## [■](1点)について

中央のAFエリア内にピントを合わせます。

- **AFエリアの位置と大きさを変えることができます。**(P130)
- [■]で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。([フォーカスモード]を[AFS]に設定したときのみ)

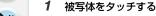
## [+](ピンポイント)について

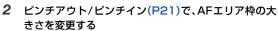
[■] より小さな点で繊細なピント合わせができます。

- **拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。**(P131)
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が約5倍で拡大表示されます。
- 被写体によって、ピントが合ったときに表示されるAFエリアの大きさが変わることがあります。
- 動画撮影中、[+]に設定している場合は、[■]に切り換わります。

## AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する

タッチパネルを使って指定した被写体にピントを合わせることができます。(カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[AF]に設定してください)
- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

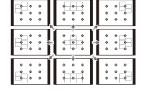
**[顔認識]、[■]選択時**
AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

**1 被写体をタッチする**
- AFエリア設定画面が表示されます。
- ◀ボタンを押して ▼ボタンを押すことでも AF エリア設定画面を表示できます。
- AFエリア設定画面では、カーソルボタンでAFエリアを移動することもできます。
- [リセット]をタッチするとAFエリアは中央に戻ります。

**2 ピンチアウト/ピンチイン(P21)で、AFエリア枠の大きさを変更する**
- 4種類の大きさに変更できます。
- コントロールダイヤルを回しても拡大/縮小できます。

**3 [決定]をタッチする**
- [MENU/SET]ボタンを押して決定することもできます。
- [顔認識]選択時は、タッチした場所に[■]と同じ働きのAFエリアが表示されます。[AF OFF]をタッチすると AF エリアの設定を解除できます。

**[▦] 選択時**
23個のAFエリアを9つのエリアに分け、ピントを合わせる位置を選択できます。

**画面をタッチしてAFエリア設定画面を表示させ、右図のように AFエリア枠を選択してください。**

- タッチパネルから指を離してしばらくするとAFエリア枠が消え、[+]表示(選択したAFエリア枠の中心点)のみが画面に残ります。
- [AF OFF]をタッチするとAFエリア枠の設定が解除されます。
- ◀ボタンを押して ▼ボタンを押すことで AF エリア設定画面を表示させた場合、カーソルボタンでAFエリア枠が選択できます。[MENU/SET]ボタンを押すとAFエリア枠が決定されます。

続く

**[⊞] 選択時**

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。
- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

**1 被写体をタッチする**

- ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が約5倍で拡大表示されます。
- ◀ボタンを押し、▼ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて[MENU/SET]ボタンを押してもアシスト画面が表示できます。

**2 画面をドラッグして中央の十字の交点に被写体を合わせる**

- カーソルボタンでピントを合わせる位置を移動することもできます。
- [リセット]をタッチすると、ピントを合わせる位置は中央に戻ります。
- アシスト画面では、[]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

**画面が拡大表示される時間を設定する**

**MENU ボタン→[カスタム]→[ピンポイントAF時間]→**
**[LONG]**(約1.5秒)/**[MID]**(約1.0秒)/**[SHORT]**(約0.5秒)

- [測光モード](P148)が[⊡]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。画面の端では、AFエリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。
- [タッチAF]を[AF+AE]に設定時は、明るさを合わせる位置もAFエリアに合わせて移動します。(AFエリアは[▣]になります)(P120)

**こんなときは使えません**
- デジタルズーム使用時は、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

## ピントの合わせ方をお好みに設定する

カスタムメニューを使うことで、ピントの合わせ方を詳細に設定できます。

**事前にピントを合わせる/合わせない**

**MENU ボタン→[カスタム]→[クイックAF]→[ON]/[OFF]**

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

- バッテリーの消耗が早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- プレビューモード時は、[クイックAF]は働きません。
- 低照度時は、[クイックAF]は働きません。
- [クイックAF]は、オートフォーカスのできないレンズおよびコントラストAF非対応フォーサーズマウント規格レンズでは働きません。

続く

### AF補助光ランプを光らせる/光らせない

**MENU ボタン→[カスタム]→[AF補助光]→[ON]/[OFF]**

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAF エリアが表示されます)

- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
  – 交換レンズ(H-PS14042、H-FS1442A、H-FS45150)装着、W端時:約1.0 m～約3.0 m
- AF補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。
- レンズフードは外してください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 交換レンズ(H-PS14042、H-FS1442A、H-FS45150)装着時、AF補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくくなる場合があります。
- 以下の場合では、[OFF]に固定されます。
  – シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]

### ピントが合わなくても撮影する/しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[フォーカス/レリーズ優先]**

**[フォーカス]**: ピントが合うまで撮影できません。
**[レリーズ]**: シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると撮影されます。

- [レリーズ]に設定すると、[フォーカスモード]を[AFS]、[AFF]または[AFC]に設定していても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影時は働きません。

### AF後に手動でピントを調整する/しない

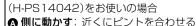
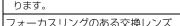
**MENU ボタン→[カスタム]→[AF+MF]→[ON]/[OFF]**

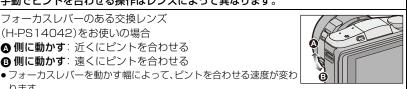
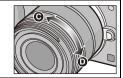
AFロックしている間(フォーカスモードが[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AE LOCK]でのAFロック)に手動でピントを微調整することができます。

# 手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

使えるモード：iA iA+ P A S M 動画M C1 C2 パノラマ SCN クリエイティブ

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

**手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。**

フォーカスレバーのある交換レンズ
(H-PS14042)をお使いの場合
**Ⓐ 側に動かす**：近くにピントを合わせる
**Ⓑ 側に動かす**：遠くにピントを合わせる
● フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。

フォーカスリングのある交換レンズ
(H-FS1442A、H-FS45150)をお使いの場合
**Ⓒ 側に回す**：近くにピントを合わせる
**Ⓓ 側に回す**：遠くにピントを合わせる

## 1 撮影メニューの[フォーカスモード]を[MF]に設定する(P127)

## 2 レンズのフォーカスレバーやフォーカスリングを操作して、ピントを合わせる

- 手動でピント合わせをするとアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。
- カスタムメニューの[MFガイド]を[ON]に設定時は、手動でピントを合わせると画面にMFガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。

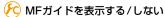
MF アシスト(拡大画面)

∞(無限)を示す目安　MF ガイド

### MFアシストの表示方法を設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[MFアシスト]

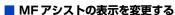
| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [フォーカスリング/拡大] | レンズのフォーカスリングを回すかフォーカスレバーを動かす、または◀(拡大)ボタンを押して拡大。 |
| [フォーカスリング FOCUS] | レンズのフォーカスリングを回すかフォーカスレバーを動かして拡大。 |
| [拡大] | ◀(拡大)ボタンを押して拡大。 |
| [OFF] | MF アシストを表示しません。 |

### MFガイドを表示する/しない

MENU ボタン→[カスタム]→[MFガイド]→[ON]/[OFF]

## MFアシストについて

### ■ MF アシストを表示する

- フォーカスレバーを動かす、フォーカスリングを回す、または画面をタッチすると表示されます。（クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、画面のタッチによる表示ができません）
- カーソルボタンの◀を押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて [MENU/SET]ボタンを押しても表示できます。

### ■ MF アシストの表示を変更する

拡大倍率を約4倍/5倍/10倍に変更できます。4倍の場合は画面中央に、5倍/10倍の場合は画面全体に拡大表示されます。

- [ ]/[ ]をタッチする、またはコントロールダイヤルを回すと倍率を変更できます。

### ■ 拡大位置を移動する

- 画面をドラッグ(P21)する、またはカーソルボタンを押すと移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
  – フォーカスモードを[MF]以外に設定したとき
  – [画像横縦比]、[記録画素数]を変更したとき
  – 電源スイッチを[OFF]にしたとき
  – 拡大位置の設定画面で[リセット]をタッチしたとき

### ■ MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- 画面の[終了]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押しても終了します。
- フォーカスレバーを動かして、またはフォーカスリングを回して表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

- 使用するレンズによりMFアシストまたはMFガイドは表示されない場合がありますが、MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。

**こんなときは使えません**

- デジタルズーム使用時または動画撮影中はMFアシストは表示されません。

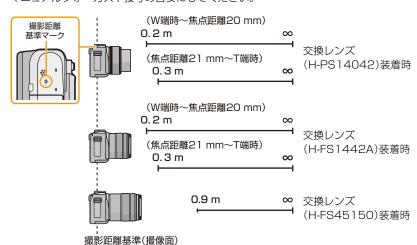
続く

**マニュアルフォーカスのテクニック**

❶ フォーカスレバーを動かして、またはフォーカスリングを回して、ピントを合わせる
❷ さらに同じ方向に少し動かす、または回す
❸ フォーカスレバーを反対方向に少し動かしながら、またはフォーカスリングを反対方向に少し回しながら微調整する

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- 近距離を撮影する場合は…
  – 三脚を使用し、セルフタイマー(P142)を使って撮影することをお勧めします。
  – ピントの合っている範囲(被写界深度)が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
  – 画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。

## 撮影距離基準について

撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。
マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。

# 露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード：iA iA+ P A S M ■M C1 C2 ▭ SCN

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

**1** **カスタムメニューの[Fnボタン設定]を[AF/AE LOCK]に設定する**(P44)

- [AF/AE LOCK]は[Fn3]、[Fn4]に割り当てることはできません。
- 次の手順は、[Fn1]ボタンに[AF/AE LOCK]を設定した場合の例です。

**2** **被写体に画面を合わせる**

**3** **[Fn1]ボタンを押し、ピントや露出を固定する**

- もう一度[Fn1]ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

**4** **撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする**

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

## [AF/AE LOCK]の機能を設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[AF/AEロック切換]

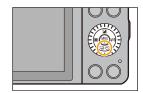
| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [AE LOCK] | 露出だけを固定します。<br>● 露出が合うと、[AEL]および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。 |
| [AF LOCK] | ピントだけを固定します。<br>● ピントが合うと、[AFL]およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。 |
| [AF/AE LOCK] | ピントと露出を固定します。<br>● ピントと露出が合うと、[AFL]と[AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。 |
| [AF-ON] | オートフォーカスが作動します。 |

- AEロックを行うと、画面に映る撮影画面の明るさも固定されます。
- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- 動画撮影中はAFロックのみ有効です。撮影中にAFロックを解除すると、新たにロック操作はできません。
- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

# ドライブモードを選ぶ

使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

ドライブモードを選ぶことで、連写やセルフタイマーなど、シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

## 1 ▼( )ボタンを押す

## 2 ドライブモードを選ぶ

| ドライブモード | 内容 |
|---|---|
| ❶ 単写(P55) | シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。 |
| ❷ 連写(P138) | シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。 |
| ❸ オートブラケット(P140) | シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。 |
| ❹ セルフタイマー(P142) | シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。 |

●[詳細設定]をタッチすると、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。

## 3 [決定]をタッチする

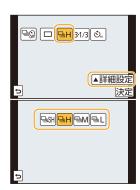
# 連写する

使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループ(P63)として記録されます。

## 1 ▼( ) ボタンを押す

## 2 連写アイコン([ H] など)を選び、[詳細設定]をタッチする

## 3 連写速度をタッチする

| | | [SH](超高速) | [H](高速) | [M](中速) | [L](低速) |
|---|---|---|---|---|---|
| 連写速度 | | 20 コマ/秒 | 4.2 コマ/秒 | 3 コマ/秒 | 2 コマ/秒 |
| 連写中のライブビュー | | なし | なし | あり | あり |
| 連写コマ数 | RAWファイルあり | ― | 7コマ※1、2 | | |
| | RAW ファイルなし | 最大39コマ | カードの空き容量に依存※2 | | |

※1 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)
※2 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
  – [記録画素数](P146)/[クオリティ](P147)/[ISO感度](P121)/[フォーカスモード](P127)/[フォーカス/レリーズ優先](P132)
- 連写速度は、撮影メニューの [連写速度]でも設定できます。
- RAWファイルについては、147ページをお読みください。

## 4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

続く

## ■ 連写を解除するには

**ドライブモードから［□］（単写）、または［ ］を選ぶ**(P137)

### 連写とピントについて

ピント合わせは、撮影メニューの［フォーカスモード］(P127)とカスタムメニューの［フォーカス/レリーズ優先］(P132)の設定によって異なります。

| フォーカスモード | フォーカス/レリーズ優先 | ピント合わせ |
|---|---|---|
| AFS | フォーカス | 1コマ目 |
| | レリーズ | |
| AFF/AFC※1 | フォーカス | 常時ピント※2 |
| | レリーズ | 予測ピント※3 |
| MF | — | マニュアルで設定したフォーカス |

※1　被写体が暗い場合や連写速度を［SH］に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。
※2　常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。
※3　連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

- ［SH］または［H］（［フォーカスモード］が［AFS］または［MF］の場合）設定時、1コマ目の露出、ホワイトバランスに固定されます。被写体の明るさの変化によっては、2コマ目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
  ［H］（［フォーカスモード］が［AFF］または［AFC］の場合）、［M］または［L］設定時、1コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度（コマ/秒）が遅くなることがあります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**

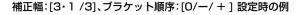
### こんなときは使えません

- 以下の場合、連写は無効になります。
  – シーンガイドモードの［水面をキラキラ撮る］/［イルミネーションをキラキラ撮る］/［花をふんわり撮る］
  – クリエイティブコントロールモードの［ジオラマ］/［ソフトフォーカス］/［クロスフィルター］/［サンシャイン］
  – 自分撮りモード
  – ホワイトバランスブラケット設定時
  – 動画撮影時
  – フラッシュ撮影時
  – ［HDR］を［ON］に設定時
  – ［コマ撮りアニメ］時（［自動撮影］設定時のみ）
- 以下の場合、連写の［SH］は使えません。
  – ［クオリティ］を［RAW ］、［RAW ］または［RAW］に設定時
  – ［コマ撮りアニメ］時

# 露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード：

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で5枚まで撮影します。

補正幅：[3･1 /3]、ブラケット順序：[0/−/＋] 設定時の例

| 1枚目 | 2枚目 | 3枚目 |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
| ±0 EV | − 1/3 EV | ＋ 1/3 EV |

## 1 ▼( ) ボタンを押す

## 2 オートブラケットアイコン([3･1/3] など)を選び、[詳細設定]をタッチする

## 3 補正幅をタッチする

## 4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。

### ■ オートブラケットを解除するには

ドライブモードから[ ](単写)、または[ ]を選ぶ(P137)

続く

## ■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

**1** 撮影メニューから[オートブラケット]を選ぶ(P38)

**2** [単写/連写設定]、[補正幅]または[ブラケット順序]をタッチする

**3** 設定内容をタッチする

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 単写/連写設定 | □(単写) |
| | ⧉(連写) |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 補正幅 | 3･1/3（3枚撮影） |
| | 3･2/3（3枚撮影） |
| | 5･1/3（5枚撮影） |
| | 5･2/3（5枚撮影） |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| ブラケット順序 | 0/−/+ |
| | −/0/+ |

- [□]設定時は、1枚ずつ撮影できます。
- [⧉]設定時は、設定枚数まで連続撮影できます。
- 設定後はメニューを終了してください。

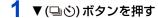
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

### こんなときは使えません

- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- 以下の場合、オートブラケットは無効になります。
  – シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]
  – クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  – 自分撮りモード
  – ホワイトバランスブラケット設定時
  – 動画撮影時
  – フラッシュ撮影時
  – [HDR]を[ON]に設定時
  – [コマ撮りアニメ]時([自動撮影]設定時のみ)

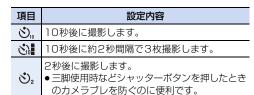
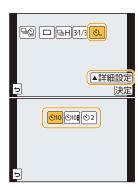
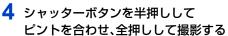
# セルフタイマーを使って撮る

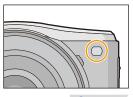
使えるモード：

## 1 ▼(連写/セルフタイマー)ボタンを押す

## 2 セルフタイマーアイコン([10]など)を選び、[詳細設定]をタッチする

## 3 セルフタイマーの時間をタッチする

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 10 | 10秒後に撮影します。 |
| 10 | 10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。 |
| 2 | 2秒後に撮影します。<br>● 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。 |

## 4 シャッターボタンを半押しして ピントを合わせ、全押しして撮影する

- ピントが合うまで、撮影されません。フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、カスタムメニューの[フォーカス/レリーズ優先]を[レリーズ]に設定してください。(P132)
- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- [10]選択時は、1枚目および2枚目撮影後にセルフタイマーランプが再度点滅し、2秒後に撮影動作を開始します。

続く

## ■ セルフタイマーを解除するには

**ドライブモードから[□]（単写）、または[ ]を選ぶ(P137)**

●電源スイッチを[OFF]にしても解除されます。

> **電源スイッチ[OFF]でセルフタイマーを解除する／しない**
>
> **MENU ボタン→[カスタム]→[セルフタイマー自動解除]→[ON]/[OFF]**
>
> ●お買い上げ時は、[ON]に設定されているため、電源スイッチを[OFF]にするとセルフタイマーは解除されます。

> ●セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

●セルフタイマーの時間は、撮影メニューの[セルフタイマー]でも設定できます。
●[ ]設定時、撮影状況によっては撮影間隔が 2 秒以上になることがあります。
●[ ]設定時、フラッシュ発光量は一定にならないことがあります。

**こんなときは使えません**

●ホワイトバランスブラケット設定時は、[ ]に設定できません。
●以下の場合、セルフタイマーは無効になります。
– 自分撮りモード
– 動画撮影時
– [コマ撮りアニメ]時（[自動撮影]設定時のみ）

# 撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法は P38

- [フォトスタイル]、[ISO感度]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

## フォトスタイル

**使えるモード：** 

撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

| 設定 | 設定内容 |
|---|---|
| STD.[スタンダード] | 標準的な設定 |
| VIVD[ヴィヴィッド]※ | 彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果 |
| NAT[ナチュラル]※ | コントラスト低めの柔らかな効果 |
| MONO[モノクローム] | 色味を抜いた単色の効果 |
| SCNY[風景]※ | 青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果 |
| PORT[人物]※ | 健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果 |
| CUST[カスタム]※ | あらかじめ登録している設定を使用 |

※ インテリジェントオート（iA または iA+）モード時は設定できません。

- インテリジェントオート（iA または iA+）モード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源の[ON]/[OFF]切り換えをした場合は、[スタンダード]にリセットされます。
- シーンガイドモード時は、それぞれのシーンに合ったフォトスタイルに固定されます。

撮影メニューの設定方法は P38

## ■ 画質調整する

●インテリジェントオート（iA または iA+）モード時は画質調整することはできません。

**1** **[<]/[>]をタッチして、フォトスタイルの種類を選ぶ**

●シーンガイドモード時はフォトスタイルの種類を選べません。

**2** **項目をタッチする**

**3** **スライドバーをドラッグして調整する**

| 項目 | | 効果 |
|---|---|---|
| コントラスト | ＋ | 画像の明暗差を大きくします。 |
| | − | 画像の明暗差を小さくします。 |
| S シャープネス | ＋ | 画像の輪郭を強調します。 |
| | − | 画像の輪郭を柔らかくします。 |
| 彩度 | ＋ | 派手で鮮やかな色になります。 |
| | − | 落ち着いた色になります。 |
| NR ノイズリダクション | ＋ | ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。 |
| | − | ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。 |

●登録した内容は電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
●画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[＋]が表示されます。
●[モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。

**4** **[カスタム登録]をタッチする**

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
●設定を[カスタム]に登録できます。

撮影メニューの設定方法は P38

## 画像横縦比

**使えるモード：** iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

| 設定 | 設定内容 |
|---|---|
| [4:3] | 4:3テレビの横縦比 |
| [3:2] | 一般のフィルムカメラの横縦比 |
| [16:9] | ハイビジョンテレビなどの横縦比 |
| [1:1] | 正方形横縦比 |

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P273)

## 記録画素数

**使えるモード：** iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

**画像横縦比：[4:3]のとき**

| 設定 | 画像サイズ |
|---|---|
| [L](16M) | 4592×3448 |
| [EXM](8M) | 3232×2424 |
| [EXS](4M) | 2272×1704 |

**画像横縦比：[3:2]のとき**

| 設定 | 画像サイズ |
|---|---|
| [L](14M) | 4592×3064 |
| [EXM](7M) | 3232×2160 |
| [EXS](3.5M) | 2272×1520 |

**画像横縦比：[16:9]のとき**

| 設定 | 画像サイズ |
|---|---|
| [L](12M) | 4592×2584 |
| [EXM](6M) | 3232×1824 |
| [EXS](2M) | 1920×1080 |

**画像横縦比：[1:1]のとき**

| 設定 | 画像サイズ |
|---|---|
| [L](11.5M) | 3424×3424 |
| [EXM](6M) | 2416×2416 |
| [EXS](3M) | 1712×1712 |

- [EXテレコン(写真)](P109)を設定時は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に[EX]が表示されます。
- [連写速度]を[SH]に設定時は、記録画素数は[S]に固定されます。

撮影メニューの設定方法は ☞ P38

## クオリティ

**使えるモード：** iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

| 設定 | ファイル形式 | 設定内容 |
|---|---|---|
| [▲▲] | JPEG | 画質を優先したJPEG画像です。 |
| [▲] | | 標準画質のJPEG画像です。<br>画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。 |
| [RAW▲▲] | RAW+JPEG | RAW 画像と JPEG 画像（[▲▲] または [▲]）を同時に記録できます。※1 |
| [RAW▲] | | |
| [RAW] | RAW | RAW 画像のみを記録できます。※2 |

※ 1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。
※ 2 各画像横縦比の最大記録画素数（[L]）に固定されます。

- RAWファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFFなど）で保存できます。
- RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM（付属）のソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。
- [RAW]は[RAW▲▲]または[RAW▲]よりも小さいデータ容量で記録できます。

### こんなときは使えません

- 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。
  – 撮影メニューの[フォトスタイル]、[iDレンジコントロール]、[デジタル赤目補正]、[超解像]、[色空間]
  – 自分撮りモードの美肌効果
  – シーンガイドモード
  – クリエイティブコントロールモード
- 以下の場合、[RAW▲▲]、[RAW▲]、[RAW]に設定できません。
  – パノラマモード時

## ISO感度

- 詳しくは、121ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法は ☞ P38

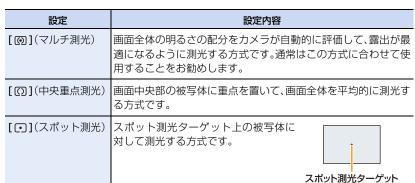
## フォーカスモード

● 詳しくは、127ページをお読みください。

## 測光モード

**使えるモード：** P A S M C1 C2

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

| 設定 | 設定内容 |
|---|---|
| [ ]（マルチ測光） | 画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。 |
| [ ]（中央重点測光） | 画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。 |
| [ ]（スポット測光） | スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。<br>スポット測光ターゲット |

## 連写速度

● 詳しくは、138ページをお読みください。

## オートブラケット

● 詳しくは、141ページをお読みください。

## セルフタイマー

● 詳しくは、142ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法は P38

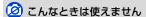
## iDレンジコントロール

**使えるモード：** P A S M ▯M C1 C2 SCN

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

**設定：[AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]**

- [AUTO]では、撮影状況に合わせて効果の強さを自動的に設定します。

**こんなときは使えません**

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iDレンジコントロール]は働きません。
  – [HDR]を[ON]に設定時
  – [ISO感度]を[H.16000]、[H.20000]、[H.25600]に設定時

## 超解像

**使えるモード：** P A S M ▯M C1 C2 SCN

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

**設定：[強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]**

- [拡張]は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時は[拡張]は[弱]に変わります。

撮影メニューの設定方法は P38

## HDR

使えるモード： 

露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。
HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

**設定：[ON]、[OFF]**

### ■ HDRとは

High Dynamic Range（ハイダイナミックレンジ）の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [HDR] 設定時は、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは[ ]（発光禁止）に固定されます。

**こんなときは使えません**

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[HDR]は使えません。
  – 自分撮りモード
  – [クオリティ]を[RAW ]、[RAW ]、[RAW]に設定時
  – [コマ撮りアニメ]時（[自動撮影]設定時のみ）

撮影メニューの設定方法は P38

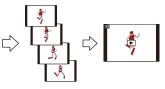
## コマ撮りアニメ

**使えるモード：** iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- **あらかじめ時計設定をしておいてください。**(P37)
- コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P63)

### コマ撮りアニメを作成する前に

コマ撮りアニメでは、人形などを少しずつ動かすごとに撮影し、つなぎ合わせることでまるで動いているかのような動画が作れます。

- 本機では、動画 1 秒あたり 1 コマ～ 30 コマの写真を撮影する必要があります。
- 滑らかな動きにするには、できるだけ動きを細かく撮り、動画化の際に 1 秒あたりのコマ数（フレームレート）を大きく設定してください。

**1　撮影方法を選び、[開始] をタッチする**

| 項目 | 設定内容 | |
|---|---|---|
| 自動撮影 | [ON] | 設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。 |
| | [OFF] | 1 コマずつ手動で写真を撮影します。 |
| 撮影間隔 | **（[自動撮影] を [ON] に設定時のみ）**<br>自動撮影の間隔を設定します。1 秒から 60 秒までを 1 秒間隔で設定できます。<br>**撮影間隔（秒）の単位を選んで [⋀]/[⋁] をタッチし、[決定] をタッチする** | |

続く

撮影メニューの設定方法は P38

**2** **[新しく撮る]をタッチする**

**3** **シャッターボタンを全押しする**

●最大 9999 コマまで撮影できます。

**4** **被写体を動かし、構図を決める**

●同様に撮影を繰り返してください。
●撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。

**素材を上手に撮影するために**
●撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
●[▶]ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は[🗑/↩]ボタンを押して消去することができます。もう一度[▶]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

**5** **[ ] をタッチして撮影を終了する**

●[自動撮影]を[ON]に設定時は、確認画面で[終了]を選んでください。([一時停止]を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)
●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと終了します。
●続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。

**6** **動画の作成方法を選ぶ**

●記録方式は [MP4] になります。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **画質設定** | 動画の画質を設定します。<br>[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p] |
| **フレームレート** | 1 秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。<br>[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] |
| **動画化順番** | **[撮影順]**：撮影した順番で画像をつなげます。<br>**[逆順]**：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。 |

**7** **[実行]をタッチする**

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
●再生メニューの[コマ撮りアニメ作成]からも動画化できます。(P179)

続く

撮影メニューの設定方法は　☞ P38

## ■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順**2**で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[決定]をタッチし、確認画面で[はい]を選んでください。

- フラッシュ撮影したときなど、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- 元の画像より記録画素数が大きな画質を選択した場合、動画の画像が粗くなります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）、DCカプラー（別売：DMW-DCC11）の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
- 1秒より短い動画は、動画記録時間(P61)に"0s"と表示されます。
- 1枚だけ撮影された場合は、グループ画像として記録されません。1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]は使えません。
  – 自分撮りモード

撮影メニューの設定方法は P38

## パノラマ設定

● 詳しくは、84ページをお読みください。

## フラッシュ設定

● 詳しくは、115～118ページをお読みください。

## デジタル赤目補正

**使えるモード：** P A S M C1 C2 SCN

赤目軽減（[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

**設定：[ON]、[OFF]**

● [ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

**こんなときは使えません**

● 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

撮影メニューの設定方法は P38

## ISO感度上限設定

**使えるモード：** P A S C1 C2 SCN

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。

**設定：[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[OFF]**

- [ISO感度]が[AUTO]または[iISO]時に働きます。

### こんなときは使えません

- 以下の場合は、働きません。
  – シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]
  – 動画撮影時

## ISO感度ステップ

**使えるモード：** P A S M C1 C2 SCN

[ISO感度]の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

| 設定 | |
|---|---|
| [1/3 EV] | [160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[4000]、[5000]、[6400]、[8000]、[10000]、[12800]、[H.16000]※、[H.20000]※、[H.25600]※ |
| [1 EV] | [160]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[H.25600]※ |

※ [拡張ISO感度]を設定時のみ

- [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、[ISO感度]は[1/3 EV]時に選んでいた設定値に最も近い値になります。（もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV]時に選んでいた設定値のままになります）

## 拡張ISO感度

**使えるモード：** P A S M C1 C2 SCN

ISO感度が最大[ISO25600]まで設定できるようになります。

**設定：[ON]、[OFF]**

撮影メニューの設定方法は ☞ P38

## 長秒ノイズ除去

**使えるモード：** P A S M C1 C2 SCN

夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

**設定：[ON]、[OFF]**

- ノイズ除去中は、信号処理のために選択したシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。
- シャッタースピードを遅くして撮影する場合は、三脚の使用をお勧めします。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]は働きません。
  – 動画撮影時
  – [連写速度]を[SH]に設定時

## シェーディング補正

**使えるモード：** P A S M C1 C2 SCN

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影することができます。

設定：**[ON]、[OFF]**

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高い ISO 感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

### こんなときは使えません

- 以下の場合は補正できません。
  – 動画撮影時
  – 動画撮影中の写真記録（[ (動画優先)] 設定時のみ）
  – [連写速度]を[SH]に設定時
- 使用するレンズによっては補正できない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

撮影メニューの設定方法は P38

## EX テレコン(写真)

●詳しくは、110ページをお読みください。

## デジタルズーム

●詳しくは、111ページをお読みください。

## 色空間

**使えるモード：** iA iA P A S M C1 C2 SCN

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

| 設定 | 設定内容 |
|---|---|
| [sRGB] | sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。 |
| [AdobeRGB] | AdobeRGB色空間に設定します。<br>AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。 |

●色空間の設定によって、撮影した画像のファイル名は以下のように変わります。

P1000001.JPG
P：sRGB
_：AdobeRGB

●AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
●動画撮影時は、[sRGB]に固定されます。

## 手ブレ補正

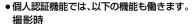
●詳しくは、107ページをお読みください。

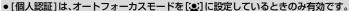
撮影メニューの設定方法は ☞ P38

## 個人認証

使えるモード：
個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

**設定：[ON]、[OFF]、[登録]**

**お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。**
**顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。**

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**
  **撮影時**
  – カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
  （名前を設定している場合）
  **再生時**
  – 名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）
  – 登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生](P173)）

※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

- **[個人認証]は、オートフォーカスモードを[ ]に設定しているときのみ有効です。**
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合(P160)でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
  例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え](P187)を行ってください。

### こんなときは使えません

- 以下の場合では、[個人認証]を設定できません。
  – シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
  – クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  – 動画撮影時

撮影メニューの設定方法は P38

## 顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど（1登録につき最大3枚）、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

### ■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

### ■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P160)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

**1 ［登録］をタッチする**

**2 ［新規登録］をタッチする**

- すでに6人登録されているときは、［新規登録］が表示されません。
  追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。

**3 ガイドに顔を合わせて撮影する**

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。
- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ［ⓘ］をタッチすると、顔登録撮影の説明が表示されます。

続く

撮影メニューの設定方法は ☞ P38

**4 項目を設定する**

●顔画像は3枚まで登録できます。

| 項目 | | 設定内容 |
|---|---|---|
| **名前** | | 名前を設定します。<br>❶［設定］をタッチする<br>❷ 名前を入力する<br>●文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。 |
| **月齢/年齢** | | 誕生日を設定します。<br>❶［設定］をタッチする<br>❷ 各項目をタッチして、[⋀]/[⋁]で年·月·日を設定し、[決定]をタッチする |
| **追加登録** | **追加登録** | 顔画像を追加登録します。<br>❶［追加登録］をタッチする<br>❷「顔画像を登録する」の手順***3***を行う |
| | **解除** | 顔画像を 1 枚消去します。<br>**解除したい顔画像をタッチする**<br>●画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。<br>●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。 |

●設定後はメニューを終了してください。

## 登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

**1 ［登録］をタッチする**
**2 編集または解除したい顔画像をタッチする**
**3 項目を設定する**

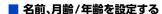
| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **情報編集** | すでに登録している人物の情報を変更します。<br>**「顔画像を登録する」の手順*4*を行う** |
| **登録順** | 登録順にピントや露出を合わせます。<br>**動かしたい登録順の位置をタッチする** |
| **解除** | すでに登録している人物の情報を消去します。<br>●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。 |

●設定後はメニューを終了してください。

撮影メニューの設定方法は P38

## プロフィール設定

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P177)で撮影画像に焼き込むことができます。
**設定：[(赤ちゃん1)]、[(赤ちゃん2)]、[(ペット)]、[OFF]、[設定]**

### ■ 名前、月齢/年齢を設定する

1 [設定]をタッチする
2 [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]または[ペット]をタッチする
3 [月齢/年齢]または[名前]をタッチする
4 [設定]をタッチする

**[月齢/年齢]を入力する**
各項目の[∧]/[∨]をタッチして誕生日の年･月･日を設定し、[決定]をタッチする

**[名前]を入力する**
文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。

5 [終了]をタッチする

### ■ 月齢/年齢や名前の表示を解除するには

手順 *1* で[OFF]を設定してください。

● CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。

**こんなときは使えません**
● 動画撮影中に記録した写真([ ](動画優先))(P166)には、月齢/年齢や名前は記録されません。

## おすすめフィルター

使えるモード：

インテリジェントオート（ または ）モード時に、カメラがおすすめする画像効果(フィルター)を表示するかしないかを設定します。
**設定：[ON]、[OFF]**

# 動画

## 動画を撮る

使えるモード：iA iA+ P A S M ■M C1 C2 SCN ◎

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。
使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音などが記録される場合があります。詳しくは、24ページをお読みください。

### フォーマット、サイズ、フレームレートを設定する

**1** 動画撮影メニューから[記録方式]を選ぶ(P38)

**2** 設定項目をタッチする

| 項目 | フォーマット |
|---|---|
| [AVCHD] | ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。 |
| [MP4] | パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。 |

**3** 動画撮影メニューから[画質設定]を選ぶ

**4** 設定項目をタッチする

● 設定後はメニューを終了してください。

**[AVCHD]を選んだ場合**

| 項目 | サイズ | フレームレート | ビットレート |
|---|---|---|---|
| [FHD/60i] | 1920×1080 | 60i※ | 17 Mbps |
| [HD/60p] | 1280×720 | 60p※ | 17 Mbps |

※ センサー出力は 30 コマ / 秒です

**[MP4]を選んだ場合**

| 項目 | サイズ | フレームレート | ビットレート |
|---|---|---|---|
| [FHD/30p] | 1920×1080 | 30p | 20 Mbps |
| [HD/30p] | 1280×720 | 30p | 10 Mbps |
| [VGA/30p] | 640×480 | 30p | 4 Mbps |

続く

## ■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

## ■ アイコンの見方

フォーマット
AVCHD
サイズ FHD 60i フレームレート

●「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間当たりのデータの量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

# 動画撮影時のピントの合わせ方（AF連続動作）

ピント合わせは、動画撮影メニューの[フォーカスモード]と[AF連続動作]の設定によって異なります。

| フォーカスモード | 設定 |
|---|---|
| AFS、AFF、AFC | 撮影中も自動でピントを合わせ続けます。※<br>●シャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。 |
| MF | 手動でピントを合わせることができます。 |

※ [AF連続動作] が [OFF] のときは、撮影開始時のピント位置に固定されます。

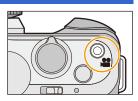
●撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、動画撮影メニューの[AF連続動作]を[OFF]に設定するなどして撮影することをお勧めします。
●動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

## 動画を撮る

### 1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

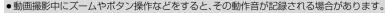
### 2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。(P166)

**動画ボタンの有効/無効を設定する**

MENU ボタン→[カスタム]→[動画ボタン]→[ON]/[OFF]
- ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

**写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換える**

MENU ボタン→[カスタム]→[記録枠表示]→[📷]（写真）/[🎥]（動画）
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[記録枠表示]を[🎥]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 記録枠表示は目安です。

続く

- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 交換レンズ(H-PS14042)使用時、動画撮影中にズームレバーやフォーカスレバー、ファンクションレバーから指を離すと、レバーを戻す音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- 交換レンズ(H-PS14042)使用時、動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- EXテレコン使用時は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面が切り換わる際に、画角が変わります。(P109)
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 動画撮影中、[ISO感度]は[AUTO](動画用)の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正]を[ ](流し撮り)に設定していても、[ ](通常)に固定されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)の使用をお勧めします。(P246)
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

| 選択されている撮影モード | 動画撮影時の撮影モード |
|---|---|
| – プログラム AE モード<br>– 絞り優先 AE モード<br>– シャッター優先 AE モード<br>– マニュアル露出モード | 通常動画 |
| – シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る] | 人物モード |
| – シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/<br>[夜景をアーティスティックに撮る]/<br>[夜景をバックに人物をきれいに撮る] | ローライトモード |

### こんなときは使えません

- 以下の場合、動画撮影できません。
  – シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]
  – クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  – [コマ撮りアニメ]時

# 動画撮影中に写真を記録する

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 SCN 🎨

動画撮影中でも写真を記録することができます。(同時記録)

## 動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能(P56)を使って撮影することもできます。

### ■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 SCN 🎨

動画撮影メニューの[写真撮影]で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| (動画優先) | ●記録画素数[S](2 M)で写真を記録します。通常の写真の[S](2 M)とは画質が異なる場合があります。<br>●クオリティを[RAW▲▲▲]、[RAW▲]または[RAW]に設定時はJPEG画像のみ記録されます。([RAW]設定時はクオリティは[▲▲▲]で記録されます)<br>●動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大30枚までです。<br>●クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。 |
| (写真優先) | ●設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。<br>●写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が途切れます。<br>●動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大4枚までです。 |

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、同時記録はできません。
  – [記録方式]の[MP4]を[VGA/30p]に設定時

# 絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

**撮影モード：**

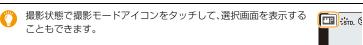
絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

## 1 モードダイヤルを[M]に合わせる

## 2 動画撮影メニューから[動画露出設定]を選ぶ(P38)

## 3 [P]、[A]、[S]、[M]のいずれかをタッチする

- モードダイヤルを **P** / **A** / **S** / **M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

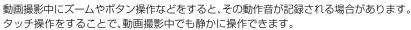
撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

## 4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

## 5 撮影を終了する

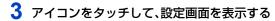
- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

- **絞り値について**
  - 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。
- **シャッタースピードについて**
  - 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
  - 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
  - 極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを1/60または1/100に調整してください。
- 動画撮影中でも、設定の変更ができます。この場合、動作音が記録されることがありますので、[タッチ静音操作]を使って撮影することをお勧めします。(P168)

## 動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。
●動画撮影メニューの[タッチ静音操作]を[ON]に設定してください。

**1** 撮影を開始する

**2** [ ]をタッチする

**3** アイコンをタッチして、設定画面を表示する

| アイコン | 内容 |
|---|---|
| T W | ズーム(パワーズーム対応交換レンズ使用時) |
| F | 絞り値 |
| SS | シャッタースピード |
| ± | 露出補正 |
| ISO | ISO 感度 |
| (マイク) | マイクレベル設定 |

**4** スライドバーをドラッグして設定する

●タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

| 操作 | 内容 |
|---|---|
| [▲]/[▼] | ゆっくり設定を変える |
| [▲▲]/[▼▼] | 速く設定を変える |

**5** 撮影を終了する

# 動画撮影メニューを使う

動画撮影メニューの設定方法は P38

- [フォトスタイル]、[ISO感度]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
  – 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。
- 以下の場合、動画撮影メニューは表示されません。
  – シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]
  – クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]

## 記録方式

- 詳しくは、162ページをお読みください。

## 画質設定

- 詳しくは、162ページをお読みください。

## 動画露出設定

- 詳しくは、167ページをお読みください。

## 写真撮影

- 詳しくは、166ページをお読みください。

## AF連続動作

- 詳しくは、163ページをお読みください。

## EX テレコン(動画)

- 詳しくは、109ページをお読みください。

MENU メニュー一覧
動画撮影メニューの設定方法は P38

## フリッカー軽減

**使えるモード：** iA iA+ P A S M ■M C1 C2 SCN

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

**設定：** [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]、[OFF]

## タッチ静音操作

- 詳しくは、168ページをお読みください。

## マイクレベル表示

**使えるモード：** iA iA+ P A S M ■M C1 C2 SCN

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。

**設定：** [ON]、[OFF]

**こんなときは使えません**

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。

## マイクレベル設定

**使えるモード：** iA iA+ P A S M ■M C1 C2 SCN

音声入力のレベルを４段階に調整します。

**こんなときは使えません**

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。

## 風音低減

**使えるモード：** iA iA+ P A S M ■M C1 C2 SCN

音声記録時に風雑音がある場合は、それを自動的に判別して記録しにくくします。

**設定：** [AUTO]、[OFF]

- 風音低減を [AUTO] に設定時、通常と音質が異なる場合があります。

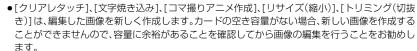
**こんなときは使えません**

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。

# 再生・編集

## 再生メニューを使う

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

● [クリアレタッチ]、[文字焼き込み]、[コマ撮りアニメ作成]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
**MENU ボタン→[再生]→[スライドショー]**

### 2D/3D切換

3D 画像の再生方法を切り換えることができます。
● 3D 再生が可能な場合にのみ表示されるメニューです。詳しくは、229 ページをお読みください。

### スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

**1 メニューを設定する**

**MENU ボタン→[再生]→[スライドショー]**

**2 再生するグループをタッチする**

● [3D]の画像を3Dで再生する方法については、229ページをお読みください。
● [カテゴリー選択]時は、再生したいカテゴリーをタッチしてください。
カテゴリーの詳細については、173ページをお読みください。

**3 [開始]をタッチする**

続く

## ■ スライドショー中の操作

| ▶/❚❚ | ▲ | 再生 / 一時停止 | ■ | ▼ | スライドショーを終了する |
|---|---|---|---|---|---|
| ⏮ | ◀ | 前の画像へ<br>（一時停止中/動画再生中/グループ画像再生中） | ⏭ | ▶ | 次の画像へ<br>（一時停止中/動画再生中/グループ画像再生中） |
| − | コントロールダイヤル（左回し） | 音量下げる | ＋ | コントロールダイヤル（右回し） | 音量上げる |

● スライドショーを終了すると、通常再生になります。

## ■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で［効果］または［設定］を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

**［効果］**

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。
［おまかせ］、［ナチュラル］、［スロー］、［スウィング］、［アーバン］、［OFF］

● ［アーバン］を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
● ［おまかせ］は、［カテゴリー選択］選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
● ［動画のみ］または［カテゴリー選択］の［ ］、［ ］のスライドショー時、［効果］は［OFF］に固定されます。
● グループ画像のスライドショー時は、［効果］を設定していても無効になります。
● 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の［効果］は動作しません。

**［設定］**

再生間隔やリピートを設定できます。

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| ［再生間隔］ | 1 秒、2 秒、3 秒、5 秒 |
| ［リピート］ | ON、OFF |
| ［音設定］ | ［AUTO］: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。<br>［音楽］:　音楽を再生します。<br>［音声］:　音声（動画のみ）を再生します。<br>［OFF］:　音を出しません。 |

● ［再生間隔］は、［効果］を［OFF］に設定しているときのみ設定できます。
● 以下をスライドショー時、［再生間隔］の設定は無効になります。
　– 動画
　– パノラマ写真
　– グループ画像

## 再生モード

[通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[3D]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

**1　メニューを設定する**

MENU ボタン→[再生]→[再生モード]

**2　再生するグループをタッチする**

● [3D]の画像を3Dで再生する方法については、229ページをお読みください。

**上記手順2で[カテゴリー再生]選択時**

**3　再生するカテゴリーをタッチする**

● 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

| | 自動シーン判別やシーンガイドモードなどの撮影情報 |
|---|---|
| | – 個人認証※ |
| | – 自動シーン判別の i人物 /i夜景&人物 /i赤ちゃん<br>– シーンガイドモードの[人物をきれいに撮る]/[人物の肌をきれいに撮る]/[逆光でふんわり撮る]/[逆光でしっかり撮る]/[ほのぼのした雰囲気で撮る]/[子どもをかわいく撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る] |
| | – 自動シーン判別の i風景 /i夕焼け<br>– シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る] |
| | – 自動シーン判別の i夜景&人物 /i夜景<br>– シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る] |
| | – シーンガイドモードの[スポーツをきれいに撮る] |
| | – 自動シーン判別の i料理<br>– シーンガイドモードの[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る] |
| | – トラベル日付 |
| | – 連写速度を[SH]で連続撮影した写真 |
| | – コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成 |

※ 再生したい人物をタッチして再生してください。
グループ画像は、グループ全体が個人認証画像として扱われます。

● 撮影モードによっては動画の分類が写真と異なるため、再生されないことがあります。

**4　[決定]をタッチする**

## 位置情報記録

スマートフォン/タブレットで取得した位置情報（緯度・経度）を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。

準備：スマートフォン/タブレットから本機に位置情報を送信する

- お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。(P192)
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

**1　メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[位置情報記録]→[位置情報データ付与] |
|---|

**2　位置情報を書き込む期間をタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 位置情報が画像に書き込まれます。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[ GPS ] が表示されます。

### ■ 位置情報の書き込みを中断する

**位置情報の書き込み中に [中止] をタッチする**

- 中断した期間には [○] が表示されます。
  [○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

### ■ 受信した位置情報を消去する

**1　メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[位置情報記録]→[位置情報データ消去] |
|---|

**2　位置情報を消去する期間をタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 本機で撮影された画像にのみ、位置情報を書き込むことができます。

**こんなときは使えません**

- 位置情報の送信(P197)後に撮影した画像には、位置情報は書き込まれません。
- [記録方式] を [AVCHD] で撮影した動画には、位置情報は書き込まれません。
- カードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- カードがロックされていると、画像に位置情報を書き込んだり、受信した位置情報を消去することはできません。

## クリアレタッチ

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。
● 消去操作はタッチでのみ行えます。[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。

**1 メニューを設定する**

MENU ボタン→[再生]→[クリアレタッチ]

**2 画面を水平にドラッグして写真を選び、[決定]をタッチする**

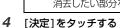
**3 消去したい部分をなぞる**

● 消去される部分に色が付きます。
● [元に戻す]をタッチすると、色が付いた部分が元に戻ります。

**細かい部分を消去するには（拡大表示）**

❶ [移動]をタッチする
● 画面が拡大表示されます。
● 画面をピンチアウト／ピンチイン(P21)すると、拡大／縮小表示できます。
● ファンクションレバーを動かしても画像を拡大／縮小することができます。
● 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。

❷ [消去]をタッチする
● 消去したい部分を選ぶ操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分を選ぶことができます。

**4 [決定]をタッチする**

● プレビュー画面が表示されます。

**5 [保存]をタッチする**

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

● 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
● グループ画像は 1 枚ずつクリアレタッチしてください。(グループ単位の編集はできません)
● グループ画像にクリアレタッチを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

**こんなときは使えません**

● 以下の画像はクリアレタッチはできません。
– 動画
– パノラマモードで撮影された写真
– クオリティを[]、[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
– 他機で撮影された画像

## タイトル入力

撮影画像に文字（コメント）を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み]（P177）で撮影画像に焼き込むことができます。

**1 メニューを設定する**

MENU ボタン→[再生]→[タイトル入力]→[1枚設定]または[複数設定]

**2 文字を入力したい画像を選ぶ**

● すでにタイトルが入力されている画像には[ ]が表示されます。

**[1枚設定]選択時**

❶ 画面を水平にドラッグして画像を選ぶ
❷ [決定]をタッチする

**[複数設定]選択時**

❶ 画像をタッチする（繰り返す）
●もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。
❷ [実行]をタッチする

**3 文字を入力する（P53）**

● 設定後はメニューを終了してください。

● タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
● CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。
● [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。

### こんなときは使えません

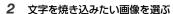
● 以下の場合、タイトル入力できません。
– 動画
– クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
– 他機で撮影された画像

## 文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

**1　メニューを設定する**

**MENU ボタン→[再生]→[文字焼き込み]→[1 枚設定]または[複数設定]**

**2　文字を焼き込みたい画像を選ぶ**

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

**[1 枚設定]選択時**

❶ 画面を水平にドラッグして画像を選ぶ
❷ [決定]をタッチする

**[複数設定]選択時**

❶ 画像をタッチする（繰り返す）
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

❷ [実行]をタッチする

**3　[設定]をタッチする**

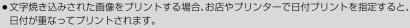
**4　焼き込む項目を選ぶ**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **[撮影日時]** | [日付]：年月日を焼き込みます。<br>[日時]：年月日時分を焼き込みます。<br>[OFF] |
| **[名前]** | [ ]（個人認証）：[個人認証]で登録された名前を焼き込みます。<br>[ / ]（赤ちゃん/ペット）：[プロフィール設定]で登録された名前を焼き込みます。<br>[OFF] |
| **[旅行先]** | [ON]：[旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。<br>[OFF] |
| **[トラベル日付]** | [ON]：[トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。<br>[OFF] |
| **[タイトル]** | [ON]：[タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。<br>[OFF] |

続く

**5** **[ ]をタッチする**

**6** **[実行]をタッチする**

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

● 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
● [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
● 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
● 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
● グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

**こんなときは使えません**

● 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
– 動画
– パノラマモードで撮影された写真
– 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
– 文字焼き込みされた画像
– クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
– 他機で撮影された画像

## 動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。**分割すると、元に戻すことができません。**

**1 メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[動画分割] |
|---|

**2 画面を水平にドラッグして動画を選び、[決定]をタッチする**

**3 分割したい位置で[▶/II]をタッチする**

- もう一度[▶/II]をタッチすると、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に[◀II]/[II▶]をタッチすると、分割位置の細かい調整をすることができます。

**4 [✂]をタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

- [MP4]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。カレンダー再生(P60)や[再生モード]の[動画のみ]で検索することをお勧めします。

**こんなときは使えません**

- 他機で撮影された動画は、[動画分割]できない場合があります。
- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

## コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

**1 メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[コマ撮りアニメ作成] |
|---|

**2 画面を水平にドラッグしてコマ撮りグループを選び、[ 決定 ] をタッチする**

**3 動画の作成方法を選び、動画化する**

- [コマ撮りアニメ]の撮影後に続けて動画化するのと同じ手順になります。
  詳しくは 152 ページの手順 ***6*** 以降をお読みください。
  作成した動画については、153 ページのお知らせもお読みください。
- [コマ撮りアニメ]で 1 枚だけ撮影された画像を選ぶことはできません。

## リサイズ（縮小）　画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量（記録画素数）を小さくします。

**1　メニューを設定する**

MENU ボタン→［再生］→［リサイズ（縮小）］→［1 枚設定］または［複数設定］

**2　画像、サイズを選ぶ**

**［1 枚設定］選択時**

❶ 画面を水平にドラッグして画像を選び、［決定］をタッチする
❷ 変更したいサイズをタッチして、［決定］をタッチする
●確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

**［複数設定］選択時**

❶ 変更したいサイズをタッチする
❷ 画像をタッチする（繰り返す）
●もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。
❸ ［実行］をタッチする
●確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

● ［複数設定］で一度に設定できるのは 100 枚までです。
● リサイズ（縮小）を行うと画質が粗くなります。

**こんなときは使えません**

● 他機で撮影された画像はリサイズ（縮小）できない場合があります。
● 以下の画像はリサイズ（縮小）できません。
– 動画
– パノラマモードで撮影された写真
– グループ画像
– 文字焼き込みされた画像
– クオリティを［RAW ］、［RAW ］または［RAW］にして撮影された画像

## トリミング(切抜き)　画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

**1　メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[トリミング(切抜き)] |
|---|

**2　画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする**

**3　切り抜く部分を選ぶ**

[ ]をタッチ：　拡大

[ ]をタッチ：　縮小

ドラッグ：　移動

- カーソルボタンの▲/▼/◄/►でも、移動できます。
- ファンクションレバーを動かしても画像を拡大/縮小することができます。

**4　[決定]をタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

**こんなときは使えません**

- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。
  – 動画
  – パノラマモードで撮影された写真
  – 文字焼き込みされた画像
  – クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像

## 画像回転 / 縦位置自動回転

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

### 画像回転（画像を手動で回転する）

● [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

**1　メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[画像回転] |
|---|

**2　画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定] をタッチする**

● グループ画像は回転できません。

**3　回転する方向を選ぶ**

[↷] をタッチ：　時計回りに90°回転します。

[↶] をタッチ：　反時計回りに90°回転します。

● 設定後はメニューを終了してください。

### 縦位置自動回転（画像を自動で回転して表示する）

**メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[縦位置自動回転]→[ON] |
|---|

● [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
● 設定後はメニューを終了してください。

**こんなときは使えません**

● パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]
● 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
● マルチ再生時は、縦位置自動回転されません。

## お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。（[お気に入り再生]）
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。（[お気に入り以外全消去]）

### 1 メニューを設定する

| MENU ボタン→[再生]→[お気に入り]→[1枚設定]または[複数設定] |
|---|

### 2 画像を選ぶ

**[1枚設定]選択時**

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定/解除]をタッチする
- もう一度[設定/解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

**[複数設定]選択時**

お気に入り設定したい画像をタッチする
- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

### ■ [お気に入り]設定を全解除する

**メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[お気に入り]→[全解除] |
|---|

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- [再生モード]を設定中は、[ 全解除 ] を選択できません。

- 999枚まで設定できます。
- グループ内の画像に[お気に入り]設定すると、先頭画像のお気に入りアイコンに設定枚数が表示されます。

**こんなときは使えません**
- 他機で撮影された画像は、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

## プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
グループ画像に[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

**1　メニューを設定する**

> **MENU** ボタン→[再生]→[プリント設定]→[1 枚設定]または[複数設定]

**2　画像を選ぶ**

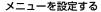
**[1 枚設定]選択時**

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

**[複数設定]選択時**

プリント設定したい画像をタッチする

**3　[Ⓐ]/[Ⓥ]をタッチしてプリント枚数を設定し、[決定]をタッチする**

- [複数設定]選択時は、手順***2***、***3***を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- [複数設定]選択時は、グループ画像に対して[プリント設定]を行ったとき、合計枚数が1000 枚以上の場合は、[999+]と表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

続く

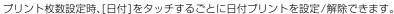
## ■ [プリント設定]を全解除する

**メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[プリント設定]→[全解除] |
|---|

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

## ■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。

● 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
● 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

● プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
● プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
● 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
● グループ内の画像に[プリント設定]すると、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。

**こんなときは使えません**

● 以下の画像はプリント設定できません。
– 動画
– クオリティを[RAW]にして撮影された画像
– DCF規格に準拠していないファイル

## プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

**1　メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[プロテクト]→[1枚設定]または[複数設定] |
|---|

**2　画像を選ぶ**

**[1枚設定]選択時**

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定/解除]をタッチする

- もう一度[設定/解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

**[複数設定]選択時**

プロテクトしたい画像をタッチする

- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

### ■ [プロテクト]設定を全解除する

**メニューを設定する**

| MENU ボタン→[再生]→[プロテクト]→[全解除] |
|---|

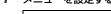
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- グループ内の画像に[プロテクト]設定すると、先頭画像のプロテクトアイコンに設定枚数が表示されます。

## 認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

**1 メニューを設定する**

MENU ボタン→[再生]→[認証情報編集]→[入換え]または[解除]

**2 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする**

**3 編集したい人物の名前をタッチする**

**4 （[入換え]選択時）入れ換えたい人物の画像をタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。（1 枚ずつ編集はできません）

## 消去確認画面

画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

**1 メニューを設定する**

MENU ボタン→[再生]→[消去確認画面]

**2 設定項目をタッチする**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [「はい」がはじめ] | 最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。 |
| [「いいえ」がはじめ] | 最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去するのを防ぎます。 |

- 設定後はメニューを終了してください。

## Wi-Fi® 機能 /NFC機能について

### ■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

### ■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

### ■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

### ■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

### ■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

### ■ ご使用の前に

- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。

### ■ 本機はNFCに対応しています

NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。

**対応機種について**

本機能は、Android（OS バージョン 2.3.3 以上）で、おサイフケータイ® FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。（一部機種を除く）

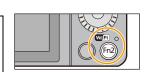
- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[ ]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- おサイフケータイ®Felicaでご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。

続く

## ■ Wi-Fi 接続ランプの表示について

**Wi-Fi接続ランプ**
青色点灯：Wi-Fi接続の待機中
青色点滅：Wi-Fi接続の送受信中

## ■ [Wi-Fi] ボタンについて

[Wi-Fi]/[Fn2]ボタンは、[Wi-Fi]と[Fn2]（ファンクション2）の2とおりの使い方ができます。
お買い上げ時は、[Wi-Fi]が設定されています。
- ファンクションボタンについて詳しくは 44 ページをお読みください。

## ■ Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと

Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。
- [スマートフォンと繋いで使う] で接続中は、Wi-Fi接続を終了する動作になります。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [接続を終わる] | Wi-Fi接続を終了します。 |
| [接続先を変える] | Wi-Fi接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。 |
| [画像の送信設定を変える] ※ | 詳しくは 225 ページをお読みください。 |
| [今の接続先をお気に入りに入れる] | 現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。 |
| [ネットワークアドレス表示] | 本機のMACアドレスと IPアドレスを表示します。 |

※ [TVで見る]または[カメラ内の画像を選んで送る]の送信先が[プリンター]の場合は、表示されません。

## ■ 操作の記載方法について

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
**Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[スマートフォンと繋いで使う]**

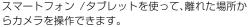
手順で「**[スマートフォン]を選ぶ**」などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
タッチ操作：［スマートフォン］をタッチする
ボタン操作：カーソルボタンで[スマートフォン]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

続く

- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたは IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。

# Wi-Fi 機能でできること

| できること | |
|---|---|
| **スマートフォンと繋いで使う**<br>スマートフォンで撮影する<br>カメラの画像を保存する<br>画像をSNSへ送信する<br><br>**かんたん接続、かんたん転送**<br>[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。画像の転送も簡単にできます。<br> | P192 |
|  **テレビに写真を映す** | P201 |
| **プリンターに画像を送る** | P202 |
|  **AV 機器に画像を送る**<br>写真や動画を家の中にある AV 機器(宅内 AV 機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器(宅外 AV 機器)にも、LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで送れます。 | P203 |
|  **パソコンに画像を送る** | P205 |
|  **Web サービスを利用する**<br>LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。 | P208 |

# スマートフォン/タブレットと繋いで使う

スマートフォン /タブレットを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。

## スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

| | Android™ 向けアプリ | iOS 向けアプリ |
|---|---|---|
| バージョン | 1.5 (2013 年 3 月現在) | |
| 対応 OS | Android 2.2 ～ Android 4.2※ | iOS 4.3 ～ iOS 6.1 |
| インストール手順 | **1** Android 端末をネットワークに接続する<br>**2** 「Google Play™ ストア」を選ぶ<br>**3** 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する<br>**4** 「Panasonic Image App」を選び、インストールする<br>● メニューにアイコンが追加されます。 | **1** iOS端末をネットワークに接続する<br>**2** 「App Store℠」を選ぶ<br>**3** 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する<br>**4** 「Panasonic Image App」を選び、インストールする<br>● メニューにアイコンが追加されます。 |

● お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。Image App の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/
● 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
※ [Wi-Fi Direct]で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™ に対応している必要があります。

## スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

| 準備： |
|---|
| ●「Image App」をインストールしておく(P192) |

**1　[Wi-Fi] ボタンを長めに押す**

- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報（SSID、パスワード）が表示されます。
- 初めての接続以外では、前に接続したときの画面が表示されます。
- 接続方法を切り替えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

> **Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[スマートフォンと繋いで使う]**

**2　スマートフォン/タブレットを操作する**

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸「Image App」を起動する(P192)
- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

### ■ 接続方法を変える

接続方法を切り替えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。

| カメラ側 |
|---|
| **[ネットワーク経由]または[直接接続] を選び、接続する(P218)** |

| スマートフォン/タブレット側 |
|---|
| [ネットワーク経由]で接続する場合 |

**1　Wi-Fi機能をONにする**
**2　接続したい無線アクセスポイントを選び、設定する**
**3　「Image App」を起動する(P192)**

| [直接接続] の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合 |
|---|
| **「Image App」を起動する(P192)** |

## NFC機能を使って、スマートフォン/タブレットと接続する

NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。

### ■ 対応機種について

本機能は、Android（OS バージョン 2.3.3 以上）で、おサイフケータイ® FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。（一部機種を除く）

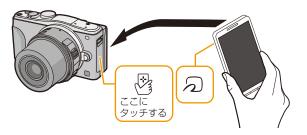
- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

| 準備： | |
|---|---|
| （カメラ側）<br>● [NFC動作]を[ON]にする（P227） | （スマートフォン/タブレット側）<br>● スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する<br>● Wi-Fi機能をONにする<br>● 「Image App」をインストールしておく（P192） |

**1 お使いのスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する**

- 起動後に接続先を選択する画面が表示されます。

**2 「Image App」の接続画面に[ ]が表示されている状態で、本機の[ ]にスマートフォン/タブレットの[ ]をタッチする**

- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の映像が表示されます。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 **1** の画面を表示してください。
- 1枚再生時に接続すると、スマートフォン/タブレットに画像が転送されます。（P196）

**初めて接続する場合、接続確認画面が表示されます**

**1 本機に接続確認画面が表示されたら [はい] を選ぶ**

**2 再度、本機の[ ]にスマートフォン/タブレットの[ ]をタッチする**

- 接続されたスマートフォン/タブレットは本機に登録されます。

続く

- 最大20件までスマートフォン/タブレットを登録できます。20件を超えた場合は、最も古くタッチされた順に登録を消去します。
- [Wi-Fi設定リセット]を行うとスマートフォン/タブレットの登録は消去されます。
- おサイフケータイ®Felicaでご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- すぐに反応しないときは、位置を少しずらしてください。
- スマートフォン/タブレットを本機に強く当てないでください。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[ ]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- 本機とスマートフォン/タブレットとの間に金属物があると、読み取れない場合があります。また、[ ]マーク付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性があります。
- 以下の場合 NFC機能は使えません。
  – パソコンまたはプリンター接続時
  – 動画撮影時
  – ボディケース・ストラップキット（別売：DMW-BCSK3）装着時

## スマートフォン/タブレットで撮影する（リモート撮影）

**1　スマートフォン/タブレットと接続する**(P193)

**2　スマートフォン/タブレットの[ ]を選ぶ**

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画も撮影できます。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- 本機がパノラマモード時、リモート撮影できません。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。

## カメラの画像を保存する

**1　スマートフォン/タブレットと接続する**(P193)

**2　スマートフォン/タブレットの[ ]を選ぶ**

**3　画像をドラッグし、保存する**

- 画像をタッチした場合は、画像が大きく再生されます。（動画の再生はできません）
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。

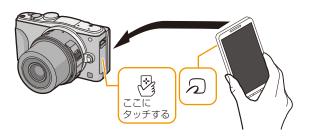
## NFCで簡単にカメラの画像を転送/保存する

NFC機能を使って、本機の画像をスマートフォン/タブレットに転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン/タブレット※にも簡単に転送できます。
※ご利用には、「Image App」をインストールする必要があります。

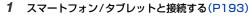
| 準備： | |
|---|---|
| （カメラ側）<br>● [NFC動作]を[ON]にする(P227)<br>● [タッチシェアリング]を[ON]にする(P227) | （スマートフォン/タブレット側）<br>● スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する<br>● Wi-Fi機能をONにする<br>● 「Image App」をインストールしておく(P192) |

**1** **スマートフォン/タブレットに転送したい画像を本機で再生する**

**2** **転送先のスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する**
- 起動後に接続先を選択する画面が表示されます。

**3** **「Image App」の接続画面に[ ]が表示されている状態で、本機の[ ]にスマートフォン/タブレットの[ ]をタッチする**
- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 ***2*** の画面を表示してください。
- 複数の画像を転送する場合は、手順 ***1***、***3*** を繰り返してください。（一括で転送することはできません）

- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。

## カメラの画像をSNSへ送信する

**1** **スマートフォン/タブレットと接続する**(P193)

**2** **スマートフォン/タブレットの[ ▷ ]を選ぶ**

**3** **画像をドラッグし、SNSなどに送信する**

- SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。

## スマートフォン/タブレットからカメラに位置情報を送信する

スマートフォン/タブレットから位置情報を取得してあとから画像に書き込むことができます。本機で記録した画像に位置情報を書き込むには、174ページをお読みください。

- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- [スマートフォンと繋いで使う]を終了するには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。
- **使用上のお願い：**
  **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**
- 「時刻同期」後に本機またはスマートフォン/タブレットの時刻を変更した場合は、再度「時刻同期」をしてください。
- スマートフォン/タブレットで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。
- （iOS向けの「Image App」をお使いの場合）
  「位置情報の記録」をオンに設定時、スマートフォン/タブレットのホームボタンまたはオン/オフボタンを押すと、位置情報の記録が中止されます。

**こんなときは使えません**

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近で、スマートフォン/タブレットの位置情報取得機能が働かない場合があります。（2013年3月現在）

## カメラを操作してスマートフォン / タブレットに画像を送る

### ■ 送信方法と送信できる画像

| | JPEG | RAW | MP4 | AVCHD | 3D |
|---|---|---|---|---|---|
| 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]） | ○ | × | × | × | × |
| 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]） | ○ | × | ○ | × | × |

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、224 ページをお読みください。

準備：

- 「Image App」をインストールしておく(P192)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]） P199

選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]） P200

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

**1** **メニューを設定する**

**Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[スマートフォン]**

**2** **[ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する**(P218)

**スマートフォン/タブレット側**

[ネットワーク経由]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 無線アクセスポイントを選び、設定する
❸「Image App」を起動する※(P192)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

❶「Image App」を起動する※(P192)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸「Image App」を起動する※(P192)

※「カメラに接続しています…」のメッセージが表示されます。Android端末の場合は「戻る」ボタンを押してください。iOS端末の場合は「閉じる」を選んでください。

**3** **接続したい機器を選ぶ**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**4** **写真を撮る**

- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

**1　メニューを設定する**

Wi-Fiボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[スマートフォン]

**2　[ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する**(P218)

**スマートフォン/タブレット側**

[ネットワーク経由]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 無線アクセスポイントを選び、設定する
❸「Image App」を起動する※(P192)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS接続]で接続する場合

❶「Image App」を起動する※(P192)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸「Image App」を起動する※(P192)

※「カメラに接続しています…」のメッセージが表示されます。Android端末の場合は「戻る」ボタンを押してください。iOS端末の場合は「閉じる」を選んでください。

**3　接続したい機器を選ぶ**

● 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**4　[1枚選択]または[複数選択]を選ぶ**

● 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)

**[1枚選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ
❷ [決定]を選ぶ

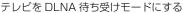
**[複数選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ（繰り返す）
　● もう一度選ぶと設定が解除されます。
❷ [実行]を選ぶ
　● [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

# テレビに写真を映す

DLNA規格のデジタルメディアレンダラー(DMR)機能に対応したテレビに写真を表示することができます。

準備:

テレビを DLNA 待ち受けモードにする
- お使いのテレビの説明書をお読みください。
- 対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

**1　メニューを設定する**

**Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[TVで見る]**

**2　[ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する**(P218)

**3　接続したい機器を選ぶ**
- 接続が完了すると画面が表示されます。

**4　本機で撮影または写真を再生する**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)

- 本機との接続中に、一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、[効果]と[音設定]を設定していても無効になります。

**こんなときは使えません**
- 動画は再生できません。
- マルチ再生、カレンダー再生中に本機に表示されている画像はテレビに表示されません。

# プリンターに画像を送る

対応したプリンターに写真を送り、ワイヤレスでプリントすることができます。

## ■ 送信方法と送信できる画像

| | JPEG | RAW | MP4 | AVCHD | 3D |
|---|---|---|---|---|---|
| **選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])** | ○ | × | × | × | × |

- お使いの機器によっては、送信できない場合があります。
- 画像の送信方法について詳しくは、224 ページをお読みください。

準備：

- 撮影した写真をワイヤレスでPictBridge(ワイヤレスLAN)※対応のプリンターから印刷することができます。

  ※ DPS over IP 規格準拠
  PictBridge(ワイヤレス LAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

**1 メニューを設定する**

> **Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[プリンター]**

**2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する** **(P218)**

**3 接続したいプリンターを選ぶ**

**4 画像を選んでプリントする**

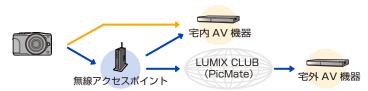
- 画像の選び方は USB ケーブルで接続時と同じになります。詳しくは241 ページをお読みください。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P189)

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

**こんなときは使えません**

- 動画はプリントできません。

# AV機器に画像を送る

写真や動画を家の中にあるDLNAに対応したレコーダーなどの AV 機器(宅内 AV 機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人のAV機器(宅外AV機器)にも、LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで送れます。

## ■ 送信方法と送信できる画像

| | JPEG | RAW | MP4 | AVCHD | 3D |
|---|---|---|---|---|---|
| **撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])** | ○ | × | × | × | ○ |
| **選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])** | ○ | × | × | × | ○ |

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、224 ページをお読みください。

準備:

[宅内AV機器] に画像を送る場合、お使いの機器を DLNA 待ち受けモードにする
- お使いの機器の説明書をお読みください。

[宅外AV 機器]に画像を送る場合、以下が必要になります。
– LUMIX CLUB (PicMate)への登録(P213)
– 送信先の宅外 AV 機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号(P217)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

**撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P204**

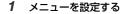
**選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) P204**

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

目次
MENU メニュー一覧

さくいん

## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

**1　メニューを設定する**

| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る] → [AV 機器] |
|---|

**2　[宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ**

**3　[ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P218)**

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

**4　接続したい機器を選ぶ**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**5　写真を撮る**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

**1　メニューを設定する**

| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る ] → [AV 機器] |
|---|

**2　[宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ**

**3　[ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P218)**

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

**4　接続したい機器を選ぶ**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**5　[1枚選択]または[複数選択]を選ぶ**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)

**[1枚選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ
❷ [決定]を選ぶ

**[複数選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ（繰り返す）
  - もう一度選ぶと設定が解除されます。

❷ [実行]を選ぶ
  - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

# パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

## ■ 送信方法と送信できる画像

| | JPEG | RAW | MP4 | AVCHD※ | 3D |
|---|---|---|---|---|---|
| 撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※[AVCHD]で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが4 GBまでです。4 GBを超える場合、送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、224 ページをお読みください。

**準備:**

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに写真を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。(P206)
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定 ] で本機の設定も変更する必要があります。(P226)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

**撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P207**

**選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) P207**

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## 画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント（アカウント名（254文字以内）とパスワード（32文字以内））は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

### ■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合

**1　PHOTOfunSTUDIO をインストールする**

- 動作環境やインストールについて、詳しくは 235 ページの「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

**2　PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する**

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

### ■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合

（Windows をお使いの場合）
対応 OS：Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8
例）Windows 7

**1　受信するフォルダーを選択し、右クリックする**

**2　「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする**

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

（Mac をお使いの場合）
対応 OS：OS X v10.4 ～ v10.8
例）OS X v10.8

**1　受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする**
**「ファイル」→「情報を見る」**

**2　フォルダーに共有の設定をする**

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

**1 メニューを設定する**

| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[PC] |
|---|

**2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する**(P218)

**3 接続したいパソコンを選ぶ**
- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名）を入力してください。

**4 送信するフォルダーを選ぶ**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**5 写真を撮る**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

**1 メニューを設定する**

| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[PC] |
|---|

**2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する**(P218)

**3 接続したいパソコンを選ぶ**
- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名）を入力してください。

**4 送信するフォルダーを選ぶ**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**5 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)

**[1枚選択]選択時**
❶ 画像を選ぶ
❷ [決定]を選ぶ

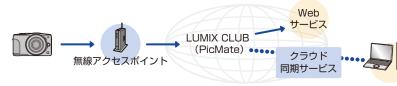
**[複数選択]選択時**
❶ 画像を選ぶ（繰り返す）
- もう一度選ぶと設定が解除されます。

❷ [実行]を選ぶ
- [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名（Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名）にスペース（空白文字）などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名）に変更することをお勧めします。

# Webサービスを利用する

LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

Webサービスに画像を送る P208

クラウド同期サービスに画像を送る P211

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## Webサービスに画像を送る

### ■ 送信方法と送信できる画像

| | JPEG | RAW | MP4 | AVCHD | 3D |
|---|---|---|---|---|---|
| 撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) | ○ | × | × | × | ○ |
| 選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) | ○ | × | ○ | × | ○ |

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先の Webサービスをご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、224 ページをお読みください。

準備：

**Webサービスに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録(P213)が必要です。**
**LUMIX CLUB (PicMate)以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWebサービスを登録しておく必要があります。(P209)**

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P209

選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) P210

- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
- 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB（PicMate）に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- **画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。**

- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

## 「LUMIX CLUB（PicMate）」以外のWebサービスを利用する

「LUMIX CLUB（PicMate）」以外のWebサービスへ画像を送信する場合は、利用するWeb サービスを「LUMIX CLUB（PicMate）」で登録しておくことが必要です。

- 対応するWebサービスは、下記サイト内にある「FAQ･お問い合わせ」をご確認ください。
  http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備：利用するWebサービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

**1 スマートフォン/タブレットまたはパソコンで、「LUMIX CLUB（PicMate）」のサイトへアクセスする**

**2 「LUMIX CLUB（PicMate）」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする** (P213)

**3 メールアドレスを登録する**

**4 利用するWebサービスを選び、登録する**
- 画面の指示に従って、登録の操作をしてください。

## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

**1 メニューを設定する**

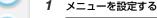
| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[Web サービス] |
|---|

**2 [ネットワーク経由]を選び、接続する** (P218)

**3 接続したいサービスを選ぶ**
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**4 写真を撮る**
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P189)
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

**1** **メニューを設定する**

| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[Web サービス] |
|---|

**2** **[ネットワーク経由]を選び、接続する**(P218)

**3** **接続したいサービスを選ぶ**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**4** **[1枚選択]または[複数選択]を選ぶ**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)

**[1枚選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ
❷ [決定]を選ぶ

**[複数選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ（繰り返す）
- もう一度選ぶと設定が解除されます。

❷ [実行]を選ぶ
- [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

## クラウド同期サービスに画像を送る

### ■ 送信方法と送信できる画像

| | JPEG | RAW | MP4 | AVCHD | 3D |
|---|---|---|---|---|---|
| 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]） | ○ | × | × | × | ○ |
| 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]） | ○ | × | ○ | × | ○ |

- ●お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- ●画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- ●画像の送信方法について詳しくは、224 ページをお読みください。

準備：

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB（PicMate）への登録(P213)とクラウド同期設定が必要です。

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）P212

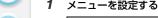
選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）P212

### ■ [クラウド同期サービス]を利用する（2013年3月現在）

クラウドフォルダに画像を送信するにはクラウド同期設定が必要です。
パソコンの場合は PHOTOfunSTUDIO で、スマートフォン/タブレットの場合は[Image App]で設定してください。

- ●画像の送信先をクラウド同期サービスに設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダに一時保存され、パソコンやスマートフォン/タブレットなど、お使いの機器と同期させることができます。
- ●クラウドフォルダに送信された画像は30日間（最大1000枚まで）保存されます。送信後30日を超えた画像は、自動的に消去されます。また、送信後30日以内でも1000枚を超えた場合は、[クラウド上限枚数動作](P225)の設定により画像が消去される場合があります。
- ●クラウドフォルダに送信された画像が指定した機器すべてにダウンロードされると、送信後30日以内の画像でもクラウドフォルダから消去される場合があります。

## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

**1　メニューを設定する**

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[クラウド同期サービス]

**2　[ネットワーク経由]を選び、接続する**(P218)

**3　送信設定を確認する**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**4　写真を撮る**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

**1　メニューを設定する**

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[クラウド同期サービス]

**2　[ネットワーク経由]を選び、接続する**(P218)

**3　送信設定を確認する**

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P225)

**4　[1枚選択]または[複数選択]を選ぶ**

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P189)

**[1枚選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ
❷ [決定]を選ぶ

**[複数選択]選択時**

❶ 画像を選ぶ（繰り返す）
- もう一度選ぶと設定が解除されます。

❷ [実行]を選ぶ
- [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

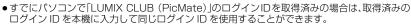
# LUMIX CLUB（PicMate）への登録

## LUMIX CLUB（PicMate）を設定する

「LUMIX CLUB（PicMate）」のサービスユーザー登録（無料）をして、ログインIDを取得します。
「LUMIX CLUB（PicMate）」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Webサービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。
「LUMIX CLUB（PicMate）」以外のWebサービスや宅外のAV機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB（PicMate）」を経由して利用します。

● すでにパソコンで「LUMIX CLUB（PicMate）」のログインIDを取得済みの場合は、取得済みのログインIDを本機に入力して同じログインIDを使用することができます。

● 本機とスマートフォン/タブレットのLUMIX CLUB（PicMate）のログインIDを合わせることができます。(P215)

### ■「LUMIX CLUB（PicMate）」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。
詳しくは、「LUMIX CLUB（PicMate）」のサイトをご覧ください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/
また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/
本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 新規でログインIDを取得する（[新規登録]）

**1 メニューを設定する**

MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[PicMate 設定]

**2 [新規登録・変更]を選ぶ**

**3 [新規登録]を選ぶ**

● ネットワークに接続します。[次へ]を選ぶと、次のページへ進みます。
● すでに本機でログインIDが取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは[はい]を、取得し直さないときは[いいえ]を選んでください。

**4 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する**

● 詳しくは、219ページをお読みください。
● 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続先を変更してください。

続く

**5 LUMIX CLUB (PicMate)の利用規約を読み、[同意する]を選ぶ**
- ▲/▼ ボタンでページを切り換えることができます。
- ファンクションレバーを右側に動かすと、拡大表示(2倍)することができます。
- 拡大したあとファンクションレバーを左側に動かすと、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大部分の位置を移動させることができます。
- [🗑/↩]ボタンを押すと、サービスユーザー登録せずに中止することができます。

**6 パスワードを入力する**
- 英数字交じり 8～16桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。

**7 ログインIDを確認し、[OK]を選ぶ**

- ログインID(数字12桁)は自動的に表示されます。
  パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- 接続が完了するとメッセージが表示されます。
  [OK]を選んでください。
- **ログインIDとパスワードは必ず控えを取っておいてください。**
- 設定後はメニューを終了してください。

## 取得済みのログインIDを使う/ログインIDやパスワードを確認したり変更する([ログインID変更])

準備：取得済みのログインIDを使う場合、IDとパスワードを確認しておく。
パスワードを変更する場合、スマートフォン/タブレットまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。
- 本機では、LUMIX CLUB (PicMate)に登録されているログインIDやパスワードの変更はできません。

**1 メニューを設定する**

| MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[PicMate 設定] |
|---|

**2 [新規登録・変更]を選ぶ**

**3 [ログイン ID 変更]を選ぶ**
- ログインID とパスワードが表示されます。
- パスワードは「＊」で表示されます。
- ログインIDの確認のみをする場合は、メニューを終了してください。

**4 変更したい項目を選ぶ**

- ログインIDを変更する場合は、確認画面が表示されます。
  [はい]を選んでください。

**5 ログインIDまたはパスワードを入力する**
- 文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- パスワードはスマートフォン/タブレットまたはパソコンで変更したものを入力してください。異なるパスワードを入力すると、画像をアップロードすることができなくなります。
- 設定後はメニューを終了してください。

## 本機とスマートフォン / タブレットのログイン ID を合わせる

●本機とスマートフォン/タブレットのログインIDを合わせておくと、本機の画像を他の機器やWebサービスに送信するときに便利です。

**本機またはスマートフォン/タブレットのどちらか一方がログインIDを取得している場合**

**1　本機とスマートフォン/タブレットを接続する**(P193)

**2　「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる**

●本機とスマートフォン / タブレットのログイン ID が同じログイン ID になります。

●本機とスマートフォン/タブレットの接続後、再生画面に切り換えたときにログインIDを合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してログインIDを合わせることもできます。

●[Wi-Fi Direct]で接続時は使用できません。

**本機とスマートフォン / タブレットがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合**

**（スマートフォン/タブレットのログイン ID に合わせる場合）**
**本機のログインIDとパスワードを、スマートフォン/タブレットで取得したログインIDとパスワードに変更する**

**（本機のログイン ID に合わせる場合）**
**スマートフォン/タブレットのログインIDとパスワードを、本機で取得したログインIDとパスワードに変更する**

## 「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

**1　メニューを設定する**

MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[PicMate 設定]

**2　[利用規約確認] を選ぶ**

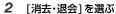
●ネットワークに接続し、利用規約が表示されます。確認後はメニューを終了してください。

## ログインIDの消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡/廃棄などする場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

**1 メニューを設定する**

| MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[PicMate 設定] |
|---|

**2 [消去・退会]を選ぶ**

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

**3 ログインID消去の確認画面で[はい]を選ぶ**

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

**4 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で[はい]を選ぶ**

- 退会をしない場合は、[いいえ]を選ぶとログインIDの消去のみが実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

**5 [次へ]を選ぶ**

- ログインIDの消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。
  [OK]を選んでください。
- 実行後はメニューを終了してください。

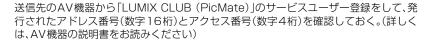
- ログインIDの変更などは、本機で取得したログインIDに対してのみ行えます。

## 宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB（PicMate）」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を送ることができます。

- LUMIX CLUB（PicMate）対応の AV 機器については、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

準備：

送信先のAV機器から「LUMIX CLUB（PicMate）」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号（数字16桁）とアクセス番号（数字4桁）を確認しておく。（詳しくは、AV機器の説明書をお読みください）

**1　メニューを設定する**

> MENU ボタン→［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 設定］→［宅外AV機器設定］

**2　［追加登録］を選ぶ**

**3　アドレス番号を入力する**

**4　アクセス番号を入力する**

**5　任意の名前を入力する**

- 入力できる文字数は最大28文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。
- 設定後はメニューを終了してください。

- 文字の入力方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。

## 登録したAV機器の情報を変更または消去する

すでに登録しているAV機器の情報を変更または消去することができます。

**1　メニューを設定する**

> MENU ボタン→［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 設定］→［宅外AV機器設定］

**2　編集または消去したいAV機器を選ぶ**

**3　［編集］または［消去］を選ぶ**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| ［編集］ | すでに登録しているAV機器の情報を変更します。<br>**「宅外 AV 機器を設定する」の手順3～5を行う** |
| ［消去］ | すでに登録しているAV機器の情報を消去します。<br>● 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。 |

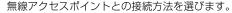
- 設定後はメニューを終了してください。

# 接続について

Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。
無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。
以前と同じ設定で接続する場合、[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]で接続すると、素早くWi-Fi機能が使えます。

| 接続方法 | 設定内容 | |
|---|---|---|
| **[ ネットワーク経由 ]** | 無線アクセスポイントを経由して接続します。 | P219 |
| **[ 直接接続 ]** | お使いの機器が本機に直接接続します。 | P221 |

## 自宅で接続する（ネットワーク経由）

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。

| 接続方法 | 設定内容 |
|---|---|
| [WPS<br>(プッシュボタン)] | WPSマークがあり、プッシュボタン方式Wi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。<br>**無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す**<br>●詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。<br>（例） |
| [WPS (PINコード)] | WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。<br>**1　接続する無線アクセスポイントを選ぶ**<br>**2　本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する**<br>**3　[MENU/SET]ボタンを押す**<br>●詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 |
| [手動接続] | WPS に対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。<br>●詳しくは 220 ページをお読みください。 |

## WPS に対応しているかわからない場合（[手動接続] で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

**1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ**

- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。

**2 （ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する**

- 文字の入力方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。

### ■ [マニュアル入力] で接続する場合

**1 「WPS に対応しているかわからない場合（[手動接続] で接続する）」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ**

**2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して [決定] を選ぶ**

- 文字の入力方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。

**3 ネットワークの認証方式を選ぶ**

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

**4 暗号化方式を選ぶ**

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

| ネットワーク認証方式 | 設定できる暗号化方式 |
|---|---|
| [WPA2-PSK]/[WPA-PSK] | [TKIP]/[AES] |
| [共通キー] | [WEP] |
| [オープン] | [暗号化なし]/[WEP] |

**5 （[暗号化なし] 以外選択時）暗号化キーを入力する**

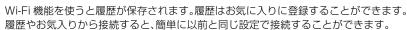
- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P251)、「Q&A 故障かな？と思ったら」(P262) をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

## 外出先で接続する（直接接続）

お使いの機器との接続方法を選択できます。
お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。

| 接続方法 | 設定内容 |
|---|---|
| [Wi-Fi Direct] | **1** 機器を Wi-Fi Direct™ モードにする<br>**2** [Wi-Fi Direct] を選ぶ<br>**3** 接続する機器を選ぶ<br>● 詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。 |
| [WPS 接続] | [WPS（プッシュボタン）]<br>**1** [WPS（プッシュボタン）] を選ぶ<br>**2** 機器を WPS モードにする<br>● 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。 |
| | [WPS（PIN コード）]<br>**1** [WPS（PIN コード）] を選ぶ<br>**2** 機器の PIN コードを本機に入力する |
| [手動接続] | 機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する<br>パスワードを入力してください<br>接続機器の設定から<br>パスワードを入力してください<br>SSID:<br>パスワード： |

## 以前と同じ設定で素早く接続する（[履歴から接続する]/[お気に入りから接続する]）

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

**1** [Wi-Fi] ボタンを押す

**2** [履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] を選ぶ

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [履歴から接続する] | 以前と同じ設定で接続します。 |
| [お気に入りから接続する] | お気に入りに登録された設定で接続します。 |

**3** 接続したい項目を選ぶ

## 履歴をお気に入り登録する

1. [Wi-Fi] ボタンを押す
2. [履歴から接続する] を選ぶ
3. 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す
4. 登録名を入力する
   - 文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。
   - 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

## お気に入り登録した項目を編集する

**1** [Wi-Fi] ボタンを押す
**2** [お気に入りから接続する] を選ぶ
**3** 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す
**4** 項目を選ぶ

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [お気に入りを消す] | ― |
| [お気に入りの順番を変える] | 移動先を選ぶ |
| [登録名を変える] | ● 文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>● 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。 |

### よく使うWi-Fi接続設定はお気に入り登録して保存しておく

履歴に保存される数には制限があります。よく使うWi-Fi接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。(P222)

### 履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと履歴とお気に入り登録にした内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、[履歴から接続する] や [お気に入りから接続する] で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなることがあります。接続できない場合は、[新規に接続する] で接続し直してください。

## 画像の送信設定について

画像を送信する場合、[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。
接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## 撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。
- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。

- [撮影中に画像を送る]で接続中は、撮影画面に[ ]が表示され、ファイルを送信中は[ ]が表示されます。
- 送信完了前に電源スイッチを[OFF]にしたり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。

**こんなときは使えません**
- 動画は送信できません。

## カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送信できます。

- 再生メニューの[お気に入り]または[プリント設定]の設定内容は送信されません。

**こんなときは使えません**
- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

## 画像の送信設定を変更する

接続が完了した後に[DISP.]ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [送信サイズ] | 送信する画像のサイズを変更します。<br>**[元画像]、[自動]※1、[変更]**<br>●[自動]の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。<br>●[変更]の画像サイズは[M]、[S]または[VGA]を選択できます。画像の横縦比は変わりません。 |
| [送信ファイル形式] | [JPG]、[RAW+JPG]、[RAW] |
| [位置情報データ消去]※2 | 送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。<br>[ON]：　位置情報を消去して送信します。<br>[OFF]：　位置情報を消去せずに送信します。<br>●位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。（本機の画像から位置情報は消去されません） |
| [クラウド上限枚数動作]※3 | クラウドフォルダの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。<br>[ON]：　画像を送信しません。<br>[OFF]：　古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。 |

※1　送信先が[Webサービス]の場合のみ設定できます。
※2　[カメラ内の画像を送る]の送信先が[クラウド同期サービス]、[Webサービス]または[AV機器]の[宅外AV機器]の場合のみ設定できます。
※3　送信先が[クラウド同期サービス]の場合のみ設定できます。

# Wi-Fi 設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。
Wi-Fi接続中は[Wi-Fi設定 ]の変更はできません。([ネットワークアドレス表示]は除く)

**メニューを設定する**

**MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→設定したい項目**

| 項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| **PicMate 設定**<br>「LUMIX CLUB(PicMate)」のログインIDの取得や変更を行います。 | ●詳しくは、213ページをお読みください。 |
| **PC接続設定**<br>ワークグループを設定することができます。 | パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。<br>(お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)<br>**[変更する]**: 接続するパソコンのワークグループを入力してください。設定後はメニューを終了してください。<br>**[標準に戻す]**: お買い上げ時の状態に戻します。確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。<br>●文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>●パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。 |
| **機器名称**<br>本機の名前を変更することができます。 | ***1*** **[DISP.] ボタンを押す**<br>***2*** **任意の機器名称を入力する**<br>●文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>●入力できる文字数は最大32文字です。 |
| **宅外AV 機器設定**<br>「LUMIX CLUB(PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を送ることができます。 | ●詳しくは、217ページをお読みください。 |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **NFC動作**<br>NFC機能の設定をします。 | [ON]: NFC 機能が働きます。<br>[OFF] |
| **タッチシェアリング**<br>NFC機能を使った、画像の転送を設定します。 | [ON]: 1枚再生時にNFC機能で接続すると、画像の転送ができます。<br>[OFF] |
| **Wi-Fi パスワード**<br>誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。 | パスワードを設定しておくと、Wi-Fi機能使用時、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。<br>**[設定]**: 数字4桁で任意のパスワードを入力してください。設定後はメニューを終了してください。<br>**[解除]**: 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。<br>● 文字入力の方法については、53 ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>● パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまった場合、セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。([PicMate 設定]は除く) |
| **ネットワークアドレス表示**<br>本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。 | ●「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。<br>●「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87) |
| **認証情報**<br>電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。 | ― |

# 3D写真を楽しむ

## 3D写真を撮る

本機に3D交換レンズ(別売:H-FT012)を取り付けると、迫力ある3D写真を撮影することができます。3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。

**1 本機に3D交換レンズを取り付ける**

**2 被写体に画面を合わせ、シャッターボタンを全押しして撮影する**

- 3D撮影時は、ピントを合わせる操作は不要です。
- 3D交換レンズを装着して撮影した写真はMPO形式(3D)で保存されます。

**3Dの写真を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。**

– できるだけ本機を水平にして撮影してください。
– 被写体に近づきすぎないでください。[3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時は、被写体から0.6 m 以上離れて撮影してください]
– 乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。

- 安定した写真を撮影するために、三脚やフラッシュの使用をお勧めします。

- 3D写真の記録可能枚数は、2 GBのカードを使用の場合、約490枚です。(画像横縦比[4:3]、クオリティ[3D]に設定時)
- 3D交換レンズの取扱説明書もお読みください。

**こんなときは使えません**

- **3D写真の縦撮影には対応していません。**
- 被写体までの距離が 0.6 m 〜約 1 m では、左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。

続く

## ■ 3D撮影時の制限事項

3D交換レンズ（別売：H-FT012）を使っての撮影時には、以下の機能が使えません。

**（撮影機能）**

- オートフォーカス／マニュアルフォーカス操作
- 絞り値設定
- ズーム操作
- 動画撮影※1
- パノラマモード
- シーンガイドモードの［水面をキラキラ撮る］/［イルミネーションをキラキラ撮る］
- クリエイティブコントロールモードの［インプレッシブアート］/［ハイダイナミック］/［トイフォト］/［トイポップ］/［クロスフィルター］/［ワンポイントカラー］/［サンシャイン］
- ボケ味コントロール機能

※1 動画ボタン、クリエイティブ動画モード、動画撮影メニューは無効または使用できなくなります。

**（撮影メニュー）**

- ［記録画素数］※2/［クオリティ］※3/［フォーカスモード］/［HDR］/［iDレンジコントロール］/［パノラマ設定］/［デジタル赤目補正］/［超解像］/［シェーディング補正］/［EXテレコン（写真）］/［デジタルズーム］/［連写速度］の［SH］/［手ブレ補正］

※2 以下のように固定されます。

| 画像横縦比 | 記録画素数 |
|---|---|
| [4:3] | 1824×1368画素 |
| [3:2] | 1824×1216画素 |
| [16:9] | 1824×1024画素 |
| [1:1] | 1712×1712 画素 |

※3 3D交換レンズ装着時は、以下のアイコンが表示されます。
［3D ］（3D+ファイン）：　MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
［3D ］（3D+スタンダード）：MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

**（カスタムメニュー）**

- ［AF/AEロック切換］/［クイックAF］/［フォーカス/レリーズ優先］/［ピンポイントAF時間］/［AF補助光］/［AF+MF］/［MFアシスト］/［MFガイド］/［パワーズームレンズ］/［動画ボタン］/［記録枠表示］/［残枚数/残時間切換］/［タッチ設定］の［タッチ AF］

## 3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。
3D 対応の SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した 3D 写真を再生することもできます。

続く

準備：[HDMI出力解像度](P50)を[AUTO]または[1080i]に設定する。
[3Dテレビ出力](P51)を[3D]に設定する。

## HDMIミニケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P231)

- [ビエラリンク](P50)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、232ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

### ■ 3D記録した写真のみを選んで 3D 再生する

再生メニューの[再生モード]で [3D] を選んでください。(P173)

### ■ 3D記録した写真のみをスライドショーで 3D 再生する

再生メニューの[スライドショー]で [3D] を選んでください。(P171)

### ■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

**1** **3D 記録した写真を選ぶ**

**2** **再生メニューから [2D/3D 切換] を選ぶ**(P38)

- 2D（従来の画像）で再生されている場合は 3D に、3Dで再生されている場合は 2D に再生方法が切り換わります。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

### ■ 3D写真では働かない/使用できない機能

- カスタムメニューの [ハイライト表示]※
- 再生ズーム※
- 再生メニューの編集機能（[位置情報記録]※/[クリアレタッチ]/[タイトル入力]/[文字焼き込み]/[動画分割]/[コマ撮りアニメ作成]/[リサイズ（縮小）]/[トリミング（切抜き）]/[画像回転]/[お気に入り]※/[プリント設定]※/[プロテクト]※/[認証情報編集]※）

※ 2Dとして表示する場合は使用できます。

- 3D で撮影した写真を本機で再生した場合、2D（従来の画像）で再生されます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）
- 3D写真は、パソコンや当社製機器に保存することができます。(P234、239)

# テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

準備：本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

- お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

## 1 本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）

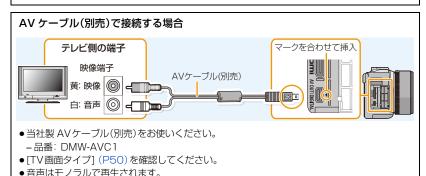
### HDMIミニケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  – 品番：RP-CHEM15A（1.5 m）、RP-CHEM20A（2.0 m）、RP-CHEM30A（3.0 m）
- [HDMI出力解像度] (P50) を確認してください。
- 音声はステレオで再生されます。
- 本機の画面に画像は表示されません。

### AV ケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製 AVケーブル（別売）をお使いください。
  – 品番：DMW-AVC1
- [TV画面タイプ] (P50) を確認してください。
- 音声はモノラルで再生されます。

続く

**2** テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

**3** 本機の電源を入れ、[▶]ボタンを押す

- [ビエラリンク](P50)を[ON]に設定して、HDMIミニケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P232)

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブル(別売)とHDMIミニケーブル(別売)を同時に接続しているときは、HDMIミニケーブル(別売)からの出力が優先されます。
- USB接続ケーブル(付属)とHDMIミニケーブル(別売)を同時に接続しているときは、USB接続ケーブル(付属)での接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- 本機のスピーカーからは音声は出ません。
- テレビの説明書もお読みください。

**SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます**
- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

## ビエラリンク(HDMI)を使う

**ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは**
- 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

続く

準備：[ビエラリンク](P50)を[ON]に設定する。

**1** **HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P231)**

**2** **本機の電源を入れ、[▶]ボタンを押す**

**3** **テレビのリモコンで操作する**

- 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

- 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。

## ■ その他の連動操作について

**電源OFF**

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

**自動入力切換**

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、272ページをご確認ください。

- お使いのテレビがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、テレビの取扱説明書をお読みください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
  – 品番：RP-CHEM15A(1.5 m)、RP-CHEM20A(2.0 m)、RP-CHEM30A(3.0 m)
- ビエラリンク動作時、本機の[HDMI出力解像度]は自動的に判別されます。

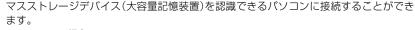
# 写真や動画をパソコンに残す

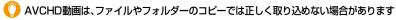
本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。

- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。**
  **http://panasonic.jp/support/sd_w/**

## ■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows XP/Vista/7/8
- Mac の場合: OS X v10.1～v10.8

**AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります**

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずCD-ROM(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie' 11」を使って取り込むことができます。
  (iMovie' 11の詳細は、Apple にお問い合わせください)

## 付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

| PHOTOfunSTUDIO 9.2 AE（Windows XP/Vista/7/8） |
| --- |
| 写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。 |

| SILKYPIX Developer Studio<br>（Windows XP/Vista/7/8、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7/v10.8） |
| --- |
| RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFF など）で保存できます。 |
| **SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト<br>http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/<br>をご覧ください。** |

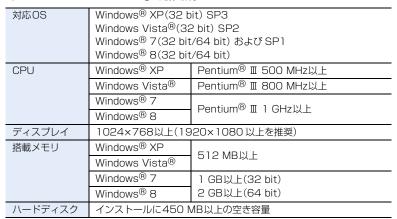
| LoiLoScope -30日間フル体験版（Windows XP/Vista/7/8） |
| --- |
| LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。<br>● インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。 |
| **LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。<br>使い方 Web サイト：http://loilo.tv/product/20** |

## ■ ソフトウェアをインストールする

●CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

**1　お使いのパソコンの環境を確認する**

●「PHOTOfunSTUDIO 9.2 AE」の動作環境

| 項目 | | |
|---|---|---|
| 対応OS | Windows® XP（32 bit） SP3<br>Windows Vista®（32 bit） SP2<br>Windows® 7（32 bit/64 bit） および SP1<br>Windows® 8（32 bit/64 bit） | |
| CPU | Windows® XP | Pentium® Ⅲ 500 MHz以上 |
| | Windows Vista® | Pentium® Ⅲ 800 MHz以上 |
| | Windows® 7 | Pentium® Ⅲ 1 GHz以上 |
| | Windows® 8 | |
| ディスプレイ | 1024×768以上（1920×1080 以上を推奨） | |
| 搭載メモリ | Windows® XP | 512 MB以上 |
| | Windows Vista® | |
| | Windows® 7 | 1 GB以上（32 bit）<br>2 GB以上（64 bit） |
| | Windows® 8 | |
| ハードディスク | インストールに450 MB以上の空き容量 | |

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF）をお読みください。

●「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、235 ページのサポートサイトをお読みください。

**2　CD-ROMを入れる**

●インストールメニューが起動します。

**3　［アプリケーション］をクリックする**

**4　［おまかせインストール］をクリックする**

●画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

●お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
●Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。
❶ CD-ROM を入れる
❷ CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
❸ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
❹ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

**こんなときは使えません**

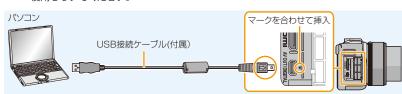
●「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

続く

## ■ パソコンに画像を取り込む

準備：お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

### 1 USB接続ケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。

### 2 本機の画面で、[PC] をタッチする

- セットアップメニューで[USBモード](P49)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージを閉じ、安全にUSB接続ケーブルを取り外し(P238)、[USBモード] を[PC]に設定し直してください。

### 3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

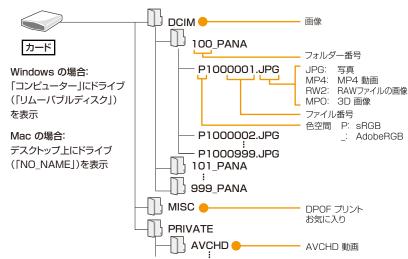
- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）(P246)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。
  「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P238)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊されるおそれがあります。
- AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

続く

## ■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

**●本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。**

- AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込むことをお勧めします。詳しくは、234 ページをお読みください。
- 以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
  – セットアップメニューの[番号リセット](P51)実行後
  – 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
  – フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

## ■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

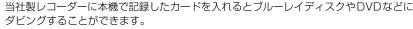
**パソコンの画面でタスクトレイの「　」アイコンを選び、「DMC-GF6の取り出し」をクリックする**

- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。
- アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラのモニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

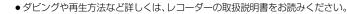
## ■ PTPモードで接続する

[USBモード]を[PictBridge（PTP）]にしてください。

- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで、動画は再生できません。

# 写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。
本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、MPO、AVCHD、MP4)によって他の機器への取り込み方法が異なります。

各ファイル形式に対応した当社製機器(ブルーレイディスクレコーダーなど)については、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

● ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

## ■ 対応機器以外にダビングする

本機をAVケーブル(別売)で対応機器以外のレコーダーやビデオなどの録画機につなぎ、本機で再生した映像をダビングします。対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

**1 本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する**

**2 本機で再生を始める**

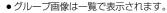
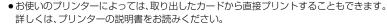
**3 録画機で録画を始める**

● 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

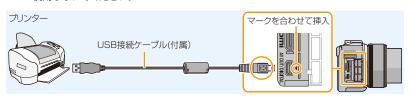
● 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P50)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
● ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

# プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- グループ画像は一覧で表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。
  詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備：本機とプリンターの電源を入れる。
　　　あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

## 1 USB接続ケーブル（付属）で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。

## 2 [PictBridge(PTP)]をタッチする

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）(P246)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- [ ]（ケーブル切断禁止アイコン）表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
  （プリンターによって表示されない場合があります）
- AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。

### こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

## 画像を選んで 1 枚ずつプリントする

**1 画面を水平にドラッグして画像を選び、[プリント]をタッチする**

**2 [プリント開始]をタッチする**

- プリント開始前に設定できる項目については242ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

## 複数の画像を選んでプリントする

**1 [複数プリント]をタッチする**

**2 設定したい項目をタッチする**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **複数選択** | 複数の画像を選んでプリントします。<br>● プリントしたい画像を選んでください。<br>（もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます）<br>● 選択が終了したら[実行]をタッチしてください。 |
| **全画像** | 保存されているすべての画像をプリントします。 |
| **プリント設定(DPOF)** | [プリント設定]で設定(P184)された画像のみをプリントします。 |
| **お気に入り** | [お気に入り]設定(P183)された画像のみをプリントします。 |

**3 [プリント開始]をタッチする**

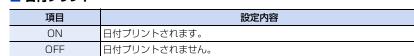
- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
- プリント開始前に設定できる項目については242ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

## プリントの各種設定

**「画像を選んで１枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。**

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[ ]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

### ■ 日付プリント

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| ON | 日付プリントされます。 |
| OFF | 日付プリントされません。 |

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを［OFF］にしてください。
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を[1:1]に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。

### ■ プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

- コントロールダイヤルでも設定できます。

### ■ 用紙サイズ

| 項目 | 設定内容 | 項目 | 設定内容 |
|---|---|---|---|
|  | プリンターの設定が優先されます。 | A3 | 297 mm×420 mm |
| L/3.5″×5″ | 89 mm×127 mm | 10×15cm | 100 mm×150 mm |
| 2L/5″×7″ | 127 mm×178 mm | 4″×6″ | 101.6 mm×152.4 mm |
| はがき | 100 mm×148 mm | 8″×10″ | 203.2 mm×254 mm |
| 16:9 | 101.6 mm×180.6 mm | レター | 216 mm×279.4 mm |
| A4 | 210 mm×297 mm | カード | 54 mm×85.6 mm |

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

### ■ レイアウト（本機で設定可能なレイアウト）

| 項目 | 設定内容 | 項目 | 設定内容 |
|---|---|---|---|
|  | プリンターの設定が優先されます。 |  | 2面印刷 |
|  | 1面縁なし印刷 |  | 4面印刷 |
|  | 1面縁あり印刷 |  |  |

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

続く

## ■ レイアウト印刷について

**1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[▦]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

**1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合**

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[▦]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

## 画像に日付を入れるには

**画像に日付を焼き込む**

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

**日付プリントを設定する**

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。(P184)

**お店に依頼する場合**

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

**自宅でプリントする場合**

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

## 別売品のご紹介

| 品名 | 品番 |
|---|---|
| バッテリーパック | DMW-BLG10 |
| バッテリーチャージャー※1 | DMW-BTC9 |
| ACアダプター※2 | DMW-AC8 |
| DCカプラー※2 | DMW-DCC11 |
| フラッシュライト※3 | DMW-FL360L |
| MCプロテクター | DMW-LMCH37※4、DMW-LMC46※5、DMW-LMC52※6 |
| NDフィルター | DMW-LND37※4、DMW-LND46※5、DMW-LND52※6 |
| PLフィルター(サーキュラータイプ) | DMW-LPL37※4、DMW-LPL46※5、DMW-LPL52※6 |
| ズームアシストレバー | DMW-ZL1※6 |
| レンズキャップ | DMW-LFC37※4、DMW-LFC46※5、DMW-LFC52※6 |
| レンズリアキャップ | DMW-LRC1 |
| ボディキャップ | DMW-BDC1 |
| 三脚アダプター※7 | DMW-TA1 |
| 本革バッグ | DMW-BAL1 |
| ソフトバッグ | DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-BALA1 |
| ソフトケース | DMW-CG3※4、DMW-CG4※4、DMW-CG5※4、5 |
| ボディケース・ストラップキット | DMW-BCSK3 |
| ショルダーストラップ | DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、DMW-SSTG3、DMW-SSTG5 |
| ロングショルダーストラップ※8 | DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8、DMW-STLA1 |
| ハンドストラップ | DMW-HSTG1 |
| USB接続ケーブル | DMW-USBC1 |
| AVケーブル | DMW-AVC1 |
| HDMIミニケーブル | RP-CHEM15A、RP-CHEM20A、RP-CHEM30A |

※1　海外用変換プラグ(Cタイプ)付き(P247)
※2　DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
※3　本機に取り付けて使うことはできません。ワイヤレスフラッシュとして使えます。(P117)
※4　交換レンズ(H-PS14042)装着時
※5　交換レンズ(H-FS1442A)装着時
※6　交換レンズ(H-FS45150)装着時
※7　取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。
※8　斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

続く

| 品名 | 品番 |
| --- | --- |
| ワイドコンバージョンレンズ(0.79 ×) | DMW-GWC1 ※ |
| マクロコンバージョンレンズ | DMW-GMC1 ※ |
| フィッシュアイコンバージョンレンズ | DMW-GFC1 ※ |
| コンバージョンレンズキット | DMW-GCK1 ※ |
| テレコンバージョンレンズ(2.0 ×) | DMW-GTC1 ※ |
| 交換レンズ | ・H-PS45175 ・H-PS14042 ・H-VS014140<br>・H-HS35100 ・H-HS12035 ・H-FS45150<br>・H-FS100300 ・H-FS045200 ・H-FS1442A<br>・H-FS014045 ・H-F007014 ・H-F008<br>・H-ES045 ・H-X025 ・H-H020<br>・H-H014 |
| 3D交換レンズ | H-FT012 |
| マウントアダプター | DMW-MA1(フォーサーズマウント用) |
| ライカレンズ用マウントアダプター | DMW-MA2M(ライカMマウント用)<br>DMW-MA3R(ライカRマウント用) |

※ 交換レンズ(H-PS14042)装着時

- 別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

記載の品番は2013年3月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

## ACアダプター（別売）/DCカプラー（別売）

ACアダプター（別売：DMW-AC8）を接続し、電源コンセントにつなぐと、本機をパソコンやプリンターに接続するときに、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。ACアダプターを使用するには、DC カプラー（別売：DMW-DCC11）が必要です。

- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

## コンバージョンレンズ（別売）

対応したレンズに装着することで、手軽に表現の幅を広げることができます。

ワイドコンバージョンレンズ：　広角効果により、より広く撮れます。
テレコンバージョンレンズ：　望遠効果により、より大きく撮れます。
マクロコンバージョンレンズ：　小さなものをより大きく撮れます。
フィッシュアイコンバージョンレンズ：　遠近感が強調された表現ができます。

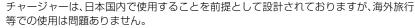
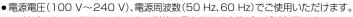
- 本機に対応したコンバージョンレンズの使用をお勧めします。対応していないコンバージョンレンズやアダプター類を使用すると、レンズを壊したりするおそれがあります。
- 詳しくは、各種コンバージョンレンズの説明書をお読みください。

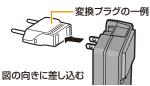
## フィルター（別売）

MCプロテクターは、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。
NDフィルターは、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8（3絞り分）に減少させることができます。
PL フィルターは、金属や球面以外（平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など）からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

- 交換レンズ（H-PS14042）使用時、フィルターの取り付け/取り外しは、本体の電源スイッチを[OFF]にしてレンズ鏡筒が収納されている状態で行ってください。
- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。

# 海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
  変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、チャージャーと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

## ■ 変換プラグの付け方

## ■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北米 | | | | | | | | | | | |
| アメリカ合衆国 | A | カナダ | A | ハワイ | A | | | | | | |
| ヨーロッパ | | | | | | | | | | | |
| イギリス | BF,B3 | イタリア | C(C2) | オーストリア | C(C2),SE | オランダ | C(C2),SE | ギリシャ | A,B,B3,C(C2),SE | スイス | A,B,C(C2),SE |
| スウェーデン | B,C(C2),SE | スペイン | A,C(C2),SE | デンマーク | C(C2) | ドイツ | A,C(C2),SE | ノルウェー | C(C2) | ハンガリー | C(C2) |
| フィンランド | B,C(C2) | フランス | A,C(C2),SE | ベルギー | B,C(C2),SE | ロシア | A,C(C2),SE | | | | |
| アジア | | | | | | | | | | | |
| インド | B,BF,B3,C(C2) | インドネシア | B,B3,C(C2),SE | シンガポール | B,BF,B3 | タイ | A,BF,C(C2) | 大韓民国 | A,C(C2),SE | 台湾 | A,C(C2),O |
| 中華人民共和国 | すべて | フィリピン | A,O | ベトナム | A,BF,C(C2),SE | 香港特別行政区 | B,BF,B3,C(C2) | マカオ特別行政区 | B,BF,B3,C(C2) | マレーシア | B,BF,B3,C(C2) |
| オセアニア | | | | | | | | | | | |
| オーストラリア | O | グァム島 | A | サイパン島 | A | トンガ | O | ニュージーランド | O | フィジー | A,B,C(C2),O |
| 中南米 | | | | | | | | | | | |
| アルゼンチン | BF,C(C2),SE | プエルトリコ | A,BF,C(C2) | ブラジル | A,C(C2),SE | メキシコ | A,C(C2),SE | | | | |
| 中東・アフリカ | | | | | | | | | | | |
| アラブ首長国連邦 | B,BF,B3 | エジプト | BF,B3,C(C2),SE | クウェート | B,B3,C(C2) | トルコ | A,B,C(C2),SE | 南アフリカ共和国 | B,BF,B3,C(C2) | モロッコ | A,C(C2),SE |

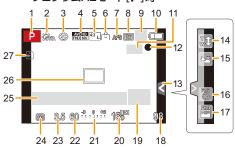
| タイプ | A | B | BF | B3 | C(C2) | SE | O |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アメリカンタイプ | U.K. タイプ | | | ヨーロピアンタイプ | | オーストラリアンタイプ |
| コンセント形状 | | | | | | | |
| プラグ形状 | 不要です | | | | | | |

**時計を海外旅行先の時刻に合わせる**

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

# モニターの表示

モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

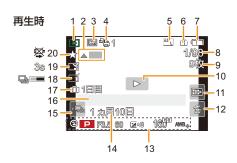
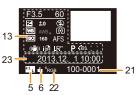
**プログラムAEモード[P]時**

## ■ 撮影時

1　撮影モード ........ P66
2　フォトスタイル ........ P144
3　フラッシュモード ........ P115
4　記録方式/画質設定 ........ P162
5　記録画素数/画像横縦比 ........ P146
　　EXテレコン(写真時): ........ P110
6　クオリティ ........ P147
7　フォーカスモード ........ P148
8　オートフォーカスモード ........ P126
9　連写: ........ P138
　　オートブラケット: ........ P140
　　セルフタイマー: ........ P142
10　バッテリー残量 ........ P30
11　手ブレ補正※1: ........ P107
　　手ブレ警告: ........ P107
12　記録動作(赤点滅)/ フォーカス(緑点灯) ... P55
13　タッチタブ ........ P22
14　タッチズーム ........ P112
15　タッチシャッター ........ P56
16　Fn3(ファンクションボタン) ........ P45
17　Fn4(ファンクションボタン) ........ P45
18　記録可能枚数※2 ........ P35
19　ダイヤル操作ガイド ........ P23
20　ISO感度 ........ P121
21　露出補正値 ........ P119
　　明るさ ........ P74
　　マニュアル露出アシスト ........ P81
22　シャッタースピード ........ P55
23　絞り値 ........ P55
24　測光モード ........ P148
25　露出メーター ........ P76
　　焦点距離表示 ........ P111
　　ステップズーム ........ P111
26　AFエリア ........ P55、130
27　カード(記録時のみ表示) ........ P34
　　記録経過時間: XXhXXmXXs ※3 ........ P164

### 撮影時（各種設定後）

28 カスタムセット......P105
29 クリエイティブコントロール調整表示......P95
30 フラッシュ設定......P117
31 EXテレコン（動画時）......P109
32 写真撮影（写真優先）......P166
33 AFロック......P136
34 個人認証......P158
35 ヒストグラム表示......P58
36 色合い......P75
37 ボケ味コントロール......P73
38 明るさ......P74
39 タッチタブ（ ）......P22、74
40 ぼかし方（ジオラマ）：......P101
ワンポイントカラー：......P103
光源の位置：......P104
41 クリエイティブコントロール調整......P95
42 タッチタブ（ ）......P22、95
43 撮影方向......P84
44 タッチタブ（ ）......P22、84
45 タッチタブ（ ）......P22、168
46 マイクレベル設定......P170
47 ホワイトバランスブラケット......P125
48 記録可能時間※2：残XXmXXs ※3......P35
49 ホワイトバランス微調整......P124
50 ホワイトバランス......P122
色合い：......P75
51 スポット測光ターゲット......P148
52 セルフタイマー※4......P142
53 現在日時／旅行先設定※5：......P46
54 プログラムシフト......P77
55 AEロック......P136
56 マイクレベル表示......P170
月齢／年齢※6......P161
旅行先※5......P47
57 名前※6......P161
トラベル経過日数※5......P47
58 デジタルズーム......P111
59 同時記録表示......P166
60 HDR......P150

※1 手ブレ補正機能対応レンズ装着時のみ表示されます。
※2 カスタムメニューの［残枚数／残時間切換］の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。
※3 hは「hour（時間）」、mは「minute（分）」、sは「second（秒）」を省略した表示です。
※4 カウントダウン中に表示されます。
※5 電源を入れたとき／時計設定後／再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※6 ［プロフィール設定］を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

再生時

詳細情報表示

ヒストグラム表示

## ■ 再生時

1 再生モード ............ P173
2 動画再生 ............ P61
パノラマ再生 ............ P86
連写グループ連続再生 ............ P63
コマ撮りグループ連続再生 ............ P63
3 プロテクト ............ P186
4 プリント枚数 ............ P184
5 記録画素数/画像横縦比 ............ P146
記録方式/画質設定：AVCHD FHD 60i ............ P162
6 クオリティ ............ P147
7 バッテリー残量 ............ P30
8 画像番号/トータル枚数
9 連写枚数
動画記録時間：XXhXXmXXs※1 ............ P61
10 再生（動画） ............ P61
11 マルチ再生 ............ P60
12 消去 ............ P65
13 撮影情報※2
iDレンジコントロール：iOFF ............ P149
HDR：HDR ON ............ P150
超解像：I.R OFF ............ P149
シェーディング補正：【 】 ............ P156
14 月齢/年齢 ............ P161

15 連写グループ表示 ............ P63
コマ撮りグループ表示： ............ P63
16 名前※3 ............ P160、161
旅行先※3 ............ P47
タイトル※3 ............ P176
17 トラベル経過日数 ............ P47
18 クリアレタッチ済み表示 ............ P175
情報取得中アイコン ............ P252
19 文字焼き込み済み表示 ............ P177
再生経過時間：XXhXXmXXs※1 ............ P61
20 お気に入り表示 ............ P183
ケーブル切断禁止アイコン ............ P240
21 フォルダー・ファイル番号※2 ............ P238
22 色空間※4 ............ P157
23 撮影日時/ワールドタイム ............ P46
24 ヒストグラム ............ P64

※1 h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。
※2 [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。
※3 [タイトル]、[旅行先]、[名前]（赤ちゃん/ペット）、[名前]（個人認証）の優先順位で表示されます。
※4 撮影した動画には表示されません。

# メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

| メッセージ | 原因・対策 |
|---|---|
| **この画像はプロテクトされています** | 画像のプロテクトを解除してから(P186)消去をしてください。 |
| **消去できない画像があります/この画像は消去できません** | DCF規格に準拠していない画像は消去できません。<br>パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。 |
| **この画像には設定できません** | DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]などができません。 |
| **メモリーカードエラー/フォーマットしますか?** | 本機では使用できないフォーマットです。<br>●別のカードを入れてお試しください。<br>●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)し直してください。<br>データは消去されます。 |
| **レンズが確認できません。またはカスタムメニューのレンズ無しレリーズがオフになっています。** | ●ライカレンズ用マウントアダプター(別売:DMW-MA2M、DMW-MA3R)使用時は、カスタムメニューの[レンズ無しレリーズ](P26)を[ON]に設定してください。 |
| **レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。** | ●レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P25)<br>再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| **レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。** | ●レンズを本体から取り外し、レンズ側と本体側の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。再度レンズを取り付け、電源を入れ直し、それでも表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| **レンズが正しく動作しませんでした。電源を入れ直してください。** | ●レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| **メモリーカードエラー/カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません** | 本機に対応したカードをお使いください。(P34)<br>● SDメモリーカード(8 MB～2 GB)<br>● SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)<br>● SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB) |
| **カードを入れ直してください/別のカードでお試しください** | ●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。<br>●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |

| メッセージ | 原因・対策 |
|---|---|
| **リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください** | ●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを［OFF］にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを［ON］にして記録または読み込みしてください。<br>●カードが破壊されている可能性があります。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |
| **放送方式（NTSC/PAL）の異なるデータが存在するため、記録できません。** | ●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |
| **カードの書込み速度不足のため記録を終了しました** | ●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。<br>●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P52)することをお勧めします。<br>カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 |
| **フォルダーを作成できません** | 使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。<br>パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P51) |
| **16:9TV用で出力します／4:3TV用で出力します** | ●［TV画面タイプ］を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P50)<br>●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。<br>USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P237、240) |
| **情報取得中のため、編集操作はできません** | 画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン［ ］、［ ］が長時間表示されることがあります。その間消去や再生メニューの使用はできません。<br>●情報取得中に電源スイッチを［OFF］にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみがグループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。 |

| メッセージ | 原因・対策 |
|---|---|
| **このバッテリーは使えません** | ●パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。<br>●バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。 |
| **アクセスポイントの接続に失敗しました／<br>接続できませんでした／<br>送信先が見つかりませんでした** | ●無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。<br>–本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P220)<br>–無線アクセスポイントの電源が入っていません。<br>–本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。<br>●接続先のネットワーク設定をご確認ください。<br>●他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。 |
| **送信できる画像がありません** | 送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。(P198、202、203、205、208、211) |
| **通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。／<br>ネットワークが切断されました。送信を中止しました。** | ●無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。<br>●サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。しばらくしてから再度実行してください。<br>●無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続し直してください。 |
| **クラウドフォルダに画像をアップロードするには、他に PC やスマートフォン等のダウンロードできる機器をクラウド同期設定する必要があります。** | ●クラウドフォルダから画像をダウンロードする機器が登録されていません。<br>●クラウド同期設定は、パソコンの場合は PHOTOfunSTUDIO で、スマートフォン/タブレットの場合は「Image App」で設定してください。クラウド同期サービスについては211ページをご参照ください。 |

| メッセージ | 原因・対策 |
|---|---|
| **通信できませんでした** | ●接続先のスマートフォン/タブレットについて、以下をご確認ください。<br>–スマートフォン/タブレットが動作していません。<br>–スマートフォン/タブレット側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。<br>–スマートフォン/タブレットの保存容量に空きがありません。 |
| **ログインできませんでした。IDとパスワードを確認ください。** | 「LUMIX CLUB（PicMate）」のログインID、パスワードが間違っています。入力し直してください。<br>ログインID、パスワードを忘れてしまった場合は、「LUMIX CLUB（PicMate）」のホームページのログイン画面に案内があります。 |
| **送信先の制限のため、送信されないファイルがあります/送信完了しました。送信先の制限により、未送信のファイルがあります。** | ●送信する画像のファイル形式を確認してください。（P198、202、203、205、208、211）<br>●動画を送信する場合、ファイルサイズが大きいと送信できない場合があります。[動画分割]で動画を分割してください。（P179） |
| **選択できません。PicMateのウェブページでログイン設定してください。** | ●スマートフォン/タブレットやパソコンでLUMIX CLUB（PicMate）にログインし、送信先 Webサービスのログイン処理を行ってください。 |
| **写真専用と動画専用のウェブサービスは、同時に選択できません** | ●写真専用の Web サービスと、動画専用の Web サービスを同時に選択することはできません。どちらかの選択を解除してください。 |
| **IP アドレスが取得できません。アクセスポイントのIPアドレス設定をDHCPにしてください。** | ●接続する無線アクセスポイントの IP アドレスの DHCP 設定を有効にしてください。 |
| **サーバと接続できませんでした** | ●ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。 |

# メニュー一覧

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。



## 撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

● [フォトスタイル]、[ISO感度]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

| | | |
|---|---|---|
| フォトスタイル | 撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。 | P144 |
| 画像横縦比 | 画像の横縦比を設定します。 | P146 |
| 記録画素数 | 記録画素数を設定します。 | P146 |
| クオリティ | 画像を保存するときの圧縮率を設定します。 | P147 |
| ISO感度 | 光に対する感度(ISO 感度)を設定できます。 | P121 |
| フォーカスモード | ピントの合わせ方を設定します。 | P127 |
| 測光モード | 明るさを測る測光方式を設定します。 | P148 |
| 連写速度 | 連写時の連写速度を設定します。 | P138 |
| オートブラケット | オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。 | P140 |
| セルフタイマー | セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。 | P142 |
| iD レンジコントロール | コントラストや露出を補正します。 | P149 |
| 超解像 | より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。 | P149 |
| HDR | 露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。 | P150 |
| コマ撮りアニメ | 写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。 | P151 |
| パノラマ設定 | パノラマ撮影の撮影方向と画像効果を設定します。 | P84 |
| フラッシュ設定 | 撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。 | P154 |
| デジタル赤目補正 | フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。 | P154 |

| | | |
|---|---|---|
| **ISO感度上限設定** | ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。 | P155 |
| **ISO感度ステップ** | ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。 | P155 |
| **拡張ISO感度** | ISO感度が最大[ISO25600]まで設定できるようになります。 | P155 |
| **長秒ノイズ除去** | シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。 | P156 |
| **シェーディング補正** | レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。 | P156 |
| **EXテレコン(写真)** | 記録画素数を[L]以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。 | P110 |
| **デジタルズーム** | 望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。 | P111 |
| **色空間** | 撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。 | P157 |
| **手ブレ補正** | 撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。 | P107 |
| **個人認証** | 登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。 | P158 |
| **プロフィール設定** | あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。 | P161 |
| **おすすめフィルター** | インテリジェントオート(iAまたはiA+)モード時に、カメラがおすすめする画像効果(フィルター)を表示するかしないかを設定します。 | P161 |

## 動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[ISO感度]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
  – 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

| | | |
|---|---|---|
| **記録方式** | 記録する動画のファイル形式（AVCHD、MP4）を設定します。 | P162 |
| **画質設定** | 記録する動画の画質（サイズ、フレームレートなど）を設定します。 | P162 |
| **動画露出設定** | クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。 | P167 |
| **写真撮影** | 動画撮影中の写真の記録方法を設定します。 | P166 |
| **AF 連続動作** | ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。 | P163 |
| **EX テレコン（動画）** | 望遠効果を高めます。 | P109 |
| **フリッカー軽減** | 動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。 | P170 |
| **タッチ静音操作** | タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。 | P168 |
| **マイクレベル表示** | マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。 | P170 |
| **マイクレベル設定** | 音声入力のレベルを 4 段階に調整します。 | P170 |
| **風音低減** | 音声記録時に風雑音がある場合は、それを自動的に判別して記録しにくくします。 | P170 |

## カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

| 項目 | 内容 | 参照 |
| --- | --- | --- |
| **カスタムセット登録** | 現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。 | P105 |
| **AF/AEロック切換** | AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。 | P136 |
| **クイックAF** | シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。 | P131 |
| **ピンポイントAF時間** | オートフォーカスモードを[⊞]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。 | P131 |
| **AF補助光** | 暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 | P132 |
| **フォーカス/レリーズ優先** | ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。 | P132 |
| **AF+MF** | 自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。 | P132 |
| **MFアシスト** | MFアシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。 | P133 |
| **MFガイド** | 手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。 | P133 |
| **ヒストグラム表示** | ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。 | P58 |
| **ガイドライン表示** | 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。 | P58 |
| **ハイライト表示** | オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 | P64 |
| **露出メーター** | 露出メーターを表示するかしないかを設定します。 | P76 |
| **ダイヤル操作ガイド** | ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。 | P23 |
| **記録枠表示** | 動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。 | P164 |
| **残枚数/残時間切換** | 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。 | P36 |
| **オートレビュー** | 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 | P56 |
| **Fn（ファンクション）ボタン設定** | ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。 | P44 |
| **ファンクションレバー** | ファンクションレバーに割り当てる機能を設定します。 | P23 |
| **Q.MENU** | クイックメニューの設定方法を切り換えます。 | P42 |

| | | |
|---|---|---|
| **iA ボタン切換** | インテリジェントオート（iA または iA+）モードに切り換えるときの[iA]ボタンの操作方法を設定します。 | P70 |
| **動画ボタン** | 動画ボタン動作の有効、無効を設定します。 | P164 |
| **パワーズームレンズ** | パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。 | P111 |
| **自分撮り** | モニターを回転させて自分撮りモードにする、しないを設定します。 | P69 |
| **セルフタイマー自動解除** | 電源スイッチを[OFF]にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。 | P143 |
| **タッチ設定** | タッチ操作の有効、無効を設定します。 | P22 |
| **タッチ再生送り速度** | タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。 | P59 |
| **メニューガイド** | モードダイヤルを SCN / に切り換えたときに表示される画面を設定します。 | P67 |
| **レンズ無しレリーズ** | 本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。 | P26 |

## セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。

| 項目 | 内容 | ページ |
|---|---|---|
| 時計設定 | 日付や時刻を変更するときに設定します。 | P37 |
| ワールドタイム | お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 | P46 |
| トラベル日付 | 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 | P47 |
| Wi-Fi | Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。 | P226 |
| 電子音 | 電子音や電子シャッター音の音量を設定します。 | P47 |
| スピーカー音量 | スピーカーの音量を7段階に調整します。 | P48 |
| モニター調整 | モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。 | P48 |
| モニター輝度 | 周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。 | P48 |
| エコモード | 本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。 | P49 |
| USBモード | USB接続ケーブル（付属）接続時の通信方式を設定します。 | P49 |
| 映像出力 | テレビなどとの接続のしかたを設定します。 | P50 |
| ビエラリンク | ビエラリンク対応機器と自動的に連動させます。 | P50 |
| 3D テレビ出力 | 3D画像の出力方法を設定します。 | P51 |
| メニュー位置メモリー | 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。 | P51 |
| メニュー背景色 | メニュー画面の背景色を設定します。 | P41 |
| メニューインフォメーション | メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。 | P51 |
| バージョン表示 | 本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。 | P51 |
| 番号リセット | 画像のファイル番号を0001に戻します。 | P51 |
| 設定リセット | 設定をお買い上げ時の状態に戻します。 | P52 |
| Wi-Fi 設定リセット | Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く) | P52 |
| ピクセルリフレッシュ | 撮像素子と画像処理の最適化を行います。 | P52 |
| センサークリーニング | 撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。 | P52 |
| フォーマット | カードをフォーマット（初期化）します。 | P52 |

## 再生

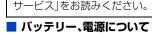
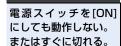
画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

| 項目 | 内容 | ページ |
|---|---|---|
| **2D/3D 切換** | 3D 画像の再生方法を切り換えます。 | P171 |
| **スライドショー** | 画像の種類などを選んで、順番に再生します。 | P171 |
| **再生モード** | 再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。 | P173 |
| **位置情報記録** | スマートフォン/タブレットで取得した位置情報（緯度･経度）を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。 | P174 |
| **クリアレタッチ** | 撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。 | P175 |
| **タイトル入力** | 撮影した画像に文字（コメント）を入力します。 | P176 |
| **文字焼き込み** | 撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。 | P177 |
| **動画分割** | 撮影した動画を 2 つに分割します。 | P179 |
| **コマ撮りアニメ作成** | コマ撮りグループから動画を作成します。 | P179 |
| **リサイズ（縮小）** | 画像のサイズ（記録画素数）を小さくします。 | P180 |
| **トリミング（切抜き）** | 撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。 | P181 |
| **画像回転** | 画像を手動で 90°ずつ回転させます。 | P182 |
| **縦位置自動回転** | 本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。 | P182 |
| **お気に入り** | 画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。 | P183 |
| **プリント設定** | プリントする画像や枚数などを設定します。 | P184 |
| **プロテクト** | 画像を誤って消去することがないように保護します。 | P186 |
| **認証情報編集** | 個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。 | P187 |
| **消去確認画面** | 画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。 | P187 |

# Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P262～274)をお試しください。

**それでも解決できない場合は、セットアップメニューの[設定リセット](P52)を行うと症状が改善する場合があります。**
これらの処置をしても直らないときは、取扱説明書 基本操作編の「保証とアフターサービス」をお読みください。

## ■ バッテリー、電源について

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| **電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。** | ●バッテリーが消耗しています。充電してください。<br>●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。<br>→[エコモード](P49)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。 |
| **電源が勝手に切れる。** | ●ビエラリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。<br>→ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を [OFF]に設定してください。(P50) |
| **カード/バッテリー扉が閉じない。** | ●バッテリーを確実に奥まで挿入してください。(P33) |
| **バッテリーの消耗が早い。** | ●長時間Wi-Fi接続を行っていませんか？Wi-Fi接続中はバッテリーの消耗が早くなります。<br>→[エコモード](P49)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。 |

## ■ 撮影について

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| **撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。** | ●ピントは合っていますか？<br>→お買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影されません。ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、[フォーカス/レリーズ優先]を[レリーズ]に設定してください。(P132) |
| **撮影した画像が白っぽい。** | ●レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。<br>→汚れたときは、電源スイッチを[OFF]にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。撮像素子が汚れたときは、276ページをお読みください。 |
| **撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。** | →露出が正しく補正されているか確認してください。(P119)<br>●不適切な状態でAEロック(P136)がかかっていませんか？ |

## ■ 撮影について（続き）

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。** | →ホワイトバランスブラケット（P125）の設定を解除してください。<br>●連写（P138）またはオートブラケット（P140）に設定していませんか？<br>→ドライブモードを単写に設定してください。（P55）<br>●セルフタイマー（P142）を [ ] に設定していませんか？ |
| **ピントが合わない。** | ●ピントが合う範囲から外れています。（P55）<br>●手ブレや被写体ブレしています。（P107）<br>●［フォーカス/レリーズ優先］が［レリーズ］になっていませんか？（P132）この場合、［フォーカスモード］を［AFS］、［AFF］または［AFC］に設定していても、ピントが合っていないことがあります。<br>●不適切な状態でAFロック（P136）がかかっていませんか？ |
| **撮影した画像がブレている。<br>手ブレ補正が効かない。** | ●特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。<br>→本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P54）<br>→遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー（P142）を使って撮影してください。<br>●手ブレ補正機能に対応したレンズをお使いですか？（P24） |
| **ホワイトバランスブラケット撮影ができない。** | ●カードのメモリー残量はありますか？ |
| **撮影した画像が粗い。<br>ノイズが出る。** | ●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くありませんか？<br>（お買い上げ時は、［ISO感度］が［AUTO］に設定されているため、室内などの撮影ではノイズが出ます）<br>→ISO感度を低くしてください。（P121）<br>→［フォトスタイル］の［ノイズリダクション］をプラス方向にするか、［ノイズリダクション］以外の各項目をマイナス方向に調整してください。（P145）<br>→明るい場所で撮影してください。<br>→［長秒ノイズ除去］を［ON］に設定してください。（P156）<br>●［記録画素数］（P146）または［クオリティ］（P147）を低く設定していませんか？<br>●［デジタルズーム］を設定していませんか？（P111） |

目次
MENU
メニュー一覧
さくいん
## ■ 撮影について(続き)

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| **蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。** | ●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。<br>●動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカー軽減](P170)を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。クリエイティブ動画モード(P167)でも手動でシャッタースピードを設定できます。 |
| **撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。** | ●蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。<br>●極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。 |
| **被写体にない明るい点が記録される。** | ●撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ](P52)を行ってください。 |
| **ファンクションレバーが働かない。** | →[ファンクションレバー]を [AUTO] に設定してください。(P23) |
| **被写体をロックできない。(動体追尾できない)** | ●周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分をタッチするなど、被写体の特徴的な色の部分をタッチして設定してください。(P128) |
| **操作音が小さい。** | ●スピーカーを指で塞いでいませんか？(P18) |
| **パノラマモードでの撮影が途中で止まる。** | ●カメラを動かす速度が遅いと、カメラの動きを止めたと判断して撮影が終了します。<br>●カメラを動かすときに撮影方向に対しての揺れが大きいと、撮影が終了します。 |

## ■ 動画について

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| **動画が撮影できない。** | ●容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。 |
| **動画撮影が途中で止まる。** | ●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。<br>●使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。<br>→「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合や、何度も記録・消去を繰り返したカードまたはパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(P52)することをお勧めします。 |
| **動画撮影中に画面が暗くなる。** | ●動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。 |
| **一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。** | ●動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。 |
| **被写体がゆがんで見える。** | ●本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 |
| **動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。**<br>**録音される音声が非常に小さい。** | ●静かな環境下での撮影や、使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。<br>動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P163)で[OFF]に設定することができます。<br>●動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その操作音が記録される場合があります。操作音が気になるときは、[タッチ静音操作]を使って撮影することをお勧めします。(P168)<br>●動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。 |

## ■ レンズについて

| Q(質問) | A(回答) |
| --- | --- |
| 撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。 | ●使用するレンズによっては、ズームの倍率によりレンズの特性上僅かにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。 |
| レンズを他のデジタルカメラに取り付けたときに、手ブレ補正をオフにできない、または手ブレ補正が働かない。 | ●交換レンズ(H-PS14042、H-FS1442A、H-FS45150)は、対応したカメラでのみ手ブレ補正機能が正しく働きます。<br>→従来の当社製デジタルカメラ(DMC-GF1、DMC-GH1、DMC-G1)をご使用の場合は、撮影メニューの[手ブレ補正](P107)を[OFF]に設定できません。下記サイトにてデジタルカメラのファームウェアアップデートを行うことをお勧めします。<br>http://panasonic.jp/support/dsc/download/<br>→他社製デジタルカメラに本レンズを装着時は、手ブレ補正機能は働きません。(2013年3月現在)<br>詳しくは、各製造元へお問い合わせください。 |

## ■ フラッシュについて

| Q(質問) | A(回答) |
| --- | --- |
| フラッシュが発光しない。 | ●フラッシュを閉じていませんか？<br>→フラッシュオープンボタンを押して、フラッシュを開いてください。(P113) |
| フラッシュが2回発光する。 | ●フラッシュは 2 回発光します。特に赤目軽減(P115)に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。 |

## ■ モニターについて

| Q(質問) | A(回答) |
| --- | --- |
| モニターが明るすぎたり、暗すぎたりする。 | ●[モニター輝度]の設定を確認してください。(P48)<br>●[モニター調整]を行ってください。(P48) |
| 一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。 | ●シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。 |
| モニター上に黒、赤、青、緑の点が現れる。 | ●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。 |
| モニターにノイズが出る。 | ●暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。 |

## ■ 再生について

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| 再生した画像が回転しない。<br>意図しない方向に回転して表示される。 | ●[縦位置自動回転]（P182）を[OFF]にすると画像は回転せずに表示されます。<br>●[画像回転]（P182）で画像を回転することができます。 |
| 再生できない。<br>撮影した画像がない。 | ●[▶]ボタンを押しましたか？<br>●カードは入っていますか？<br>●カードに再生できる画像はありますか？<br>●パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。<br>→パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。<br>●[再生モード]を設定していませんか？<br>→[通常再生]に設定してください。（P173） |
| フォルダー・ファイル番号が[−]で表示されたり、画面が黒くなる。 | ●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？<br>●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？<br>→このような画像を消去するには、フォーマット（P52）してください。（他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください） |
| 再生音や操作音が小さい。 | ●スピーカーを塞いでいませんか？（P18） |
| カレンダー再生で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。 | ●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？（P37）<br>●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。 |
| 撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。 | ●室内や暗い場所でフラッシュを使って撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがありますが、異常ではありません。<br>撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 |
| 画面に「サムネイル表示」と表示される。 | ●他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。 |

## 再生について（続き）

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| 撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。 | ●デジタル赤目補正（[ ]、[ ]）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正されることがあります。<br>→フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを[ ]にする、または[デジタル赤目補正] を [OFF]にして撮影することをお勧めします。(P154) |
| 本機で撮影した動画が他機で再生できない。 | ●[AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。 |

## Wi-Fi 機能について

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| 無線LANに接続できない。電波が途切れる。 | ●無線LANネットワークの通信圏内でご使用ください。<br>●無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。<br>→無線アクセスポイントの説明書をご確認ください。<br>●電波が途切れる場合は、無線アクセスポイントの置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。<br>●無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知設定の場合、自動接続できない場合があります。<br>→無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。<br>●2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？<br>→同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。<br>●5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？<br>→5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。<br>●バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。（[通信エラー]などのメッセージが表示されます） |

## ■ Wi-Fi 機能について(続き)

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| **無線アクセスポイントが表示されない。または接続できない。** | ●接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。<br>●無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。<br>→無線アクセスポイントの近くで接続してください。<br>●無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。<br>→無線アクセスポイントの設定内容をご確認ください。<br>本機が対応している無線チャンネルは1～11チャンネルです。<br>無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11チャンネルの中から選び、設定してください。<br>●電波状況により無線アクセスポイントが見つからない場合があります。<br>→[手動接続]を行ってください。(P220)<br>●無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知に設定されていませんか？<br>→非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して設定してください。(P220)<br>●以下をお試しください。<br>–本機と無線アクセスポイントを近づける<br>–本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除く<br>–本機の向きを変える |
| **スマートフォン/タブレットとの接続に毎回時間がかかる。** | ●スマートフォン/タブレットのWi-Fi接続設定によっては時間がかかることがありますが、故障ではありません。 |
| **スマートフォン/タブレットのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。接続設定に時間がかかる。** | →スマートフォン/タブレットのWi-Fi設定で、Wi-Fi機能のON/OFFを切り換えてみてください。 |
| **LUMIX CLUB (PicMate)のログインID、パスワードを忘れた。** | ●「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン画面にある案内を確認してください。<br>http://lumixclub.panasonic.net/jpn/ |
| **LUMIX CLUB (PicMate)の公開設定が変更できない。** | ●本機から公開設定を変更することはできません。<br>→スマートフォン/タブレットまたはパソコンから「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインして設定を変更してください。 |

## ■ Wi-Fi 機能について（続き）

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| LUMIX CLUB（PicMate）の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。 | ● パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。<br>● 表示順は「LUMIX CLUB（PicMate）」の画像管理のルールにも影響されることがあります。 |
| 自宅に無線アクセスポイントがないが、LUMIX CLUB（PicMate）のサービスユーザー登録をしたい。 | ● 無線アクセスポイントがない環境では「LUMIX CLUB（PicMate）」のサービスユーザー登録はできません。 |
| パソコンに画像を送信できない。 | ● OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。 |
| Webサービスに画像を送信できない。 | → ログイン情報（ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード）が間違っていないか確認してください。<br>● Webサービスのサーバー、もしくは回線が混雑している可能性があります。<br>→ しばらくしてから再度実行してください。<br>→ LUMIX CLUB（PicMate）(http://lumixclub.panasonic.net/jpn/)や送信先のWebサービスのサイトもご確認ください。 |
| Webサービスに画像を送信するのに時間がかかる。 | ● 画像のサイズが大きすぎませんか？<br>→［送信サイズ］(P225)で画像サイズを小さくして送信してください。<br>→［動画分割］(P179)で動画を分割して送信してください。<br>● 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。<br>→ 無線アクセスポイントの近くで送信してください。 |
| Webサービスにアップロードしたはずの画像が見えない。 | ● 画像送信中に切断された場合、アップロードを完了できないことがあります。<br>● サーバーの状況によっては、画像をアップロードしてから Webサービスに反映されるまで少し時間がかかることがあります。<br>→ しばらく待ってからもう一度お試しください。<br>●「LUMIX CLUB（PicMate）」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信状況を確認することができます。 |
| Webサービスの画像をカメラに戻したい。 | ● Webサービス上の画像は本機に保存（ダウンロード）することはできません。アップロードした画像は消去せず、必ずバックアップを残してください。 |
| Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することができない。 | ● Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することはできません。<br>→ スマートフォン/タブレットやパソコンで操作してください。 |

## Wi-Fi 機能について（続き）

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| 修理に出したらLUMIX CLUB（PicMate）のログインID、パスワードなどが消えてしまった。 | ●修理の内容によっては、本機に登録された設定内容は消えてしまうことがあります。<br>→大切な設定は必ず控えを取っておいてください。 |
| 送信できなかった画像がある。 | ●画像のサイズが大きすぎませんか？<br>→［動画分割］で動画を分割してください。(P179)<br>→［送信サイズ］で写真のサイズを小さくしてください。(P225)<br>●Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。<br>→「LUMIX CLUB（PicMate）」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。 |
| Wi-Fiのパスワードを忘れた。 | →セットアップメニューの［Wi-Fi設定リセット］を実行してください。(P52)<br>→ただし、「LUMIX CLUB（PicMate）」のログイン設定など、お客様がWi-Fi設定メニューで設定したすべての情報もリセットされます。（［PicMate 設定］は除く） |
| 画像送信が途中で失敗する。 | ●画像のサイズが大きすぎませんか？<br>→［動画分割］で動画を分割して送信してください。(P179)<br>→［送信サイズ］で写真のサイズを小さくして送ってください。(P225)<br>→バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。 |
| 動画が送信できない。 | ●送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(P198、202、203、205、208、211)<br>●画像のサイズが大きすぎませんか？<br>→［動画分割］で動画を分割して送信してください。(P179) |
| AV機器に画像が送信できない。 | ●AV機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。 |
| NFCで接続できない。 | ●お使いのスマートフォンが NFC に対応してるか確認してください。<br>→本機能は、Android（OSバージョン2.3.3以上）でおサイフケータイ®FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。<br>●スマートフォンのNFC機能がONになっているか確認してください。<br>→初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能を利用される場合は、事前に初期設定が必要です。<br>●おサイフケータイ®Felicaでご利用時、インターネットで接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。<br>●［NFC動作］が［OFF］になっていませんか？(P227)<br>●お使いのスマートフォンによっては、タッチしても認識しにくい機種があります。タッチしても認識されない場合は、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。<br>●タッチする時間が短いと認識できない場合があります。スマートフォンをしばらくタッチし続けてください。 |

## ■ テレビ、パソコン、プリンターについて

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。** | ●正しく接続されていますか？<br>→テレビの入力切換を外部入力にしてください。 |
| **テレビ画面と本機のモニターの表示される領域が違う。** | ●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。 |
| **テレビで動画の再生ができない。** | ●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？<br>→AVケーブル（別売）またはHDMIミニケーブル（別売）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P231) |
| **テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。** | →本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P50) |
| **ビエラリンク（HDMI）が働かない。** | ●HDMIミニケーブル（別売）で正しく接続されていますか？(P231)<br>→HDMIミニケーブル（別売）が奥まで確実に入っていることを確認してください。<br>→本機の[▶]ボタンを押してください。<br>●本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P50)<br>→テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）<br>→接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。<br>→本機の電源を入れ直してください。<br>→テレビ（ビエラ）の「ビエラリンク制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。（詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください） |
| **パソコンとの通信ができない。** | ●正しく接続されていますか？<br>●パソコンが本機を正常に認識していますか？<br>→本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P49、237)<br>→本機の電源を入れ直してください。 |

## ■ テレビ、パソコン、プリンターについて（続き）

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **パソコンにカードが認識されない。** | →USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。<br>→1台のパソコンに2つ以上のUSB端子がある場合、別のUSB端子に接続してみてください。 |
| **パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）** | →お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。<br>**http://panasonic.jp/support/sd_w/**<br>→接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。<br>→モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。 |
| **プリンターに接続して、プリントができない。** | ●PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。<br>→本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P49、240) |
| **プリントすると、画像の端が切れる。** | →トリミング（切抜き）や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング（切抜き）または「縁なし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください）<br>→お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。 |
| **パノラマ写真がうまくプリントできない。** | ●パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。<br>→パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）<br>→CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、プリントする用紙に合わせて写真のサイズを調整することをお勧めします。 |

## ■ その他

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **電源［ON］時に、本体から音がする。** | ● ダストリダクション機能(P276)が動作する音で、故障ではありません。 |
| **レンズ部から音がする。** | ● 電源［ON］または［OFF］時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。<br>● ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。 |
| **画像の一部が白と黒に点滅する。** | ● 白飛びが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P64) |
| **シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。** | ● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P132)が赤く点灯します。 |
| **AF補助光が点灯しない。** | ●［AF補助光］を［ON］に設定していますか？(P132)<br>● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。 |
| **本機が熱くなる。** | ● ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。 |
| **時計が合っていない。** | ● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。<br>→「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P37) |
| **ファイル番号が連続して記録されない。** | ● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。 |
| **ファイル番号がさかのぼって記録される。** | ● 電源スイッチを［OFF］にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源スイッチを［ON］にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。 |

## 本機について

**磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う**

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売:DMW-AC8)、DCカプラー(別売:DMW-DCC11)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

**電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない**

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

**付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。**
**また、コード、ケーブルは延長しないでください。**

**周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない**

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

## お手入れについて

**お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。**

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

続く

## ■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。
本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

**ダストリダクション機能について**
本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング](P52)を行ってください。

**撮像素子のごみの除去**
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

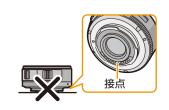
- ブロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

## モニターについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

**モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニターの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。**

## レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取り付け部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。

## バッテリーについて

**本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。**
**このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。**

### 使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

### 出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P247)

### バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

**不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。**

### 使用済み充電式電池の届け先

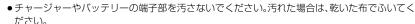
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用

### 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

## チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

## カードについて

**カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない**

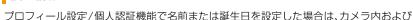
**また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない**

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

**メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い**

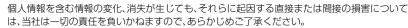
**本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。**

**廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。**

## 個人情報について

プロフィール設定／個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。
個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードを設定することをお勧めします。(P227)

**免責事項**

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**修理依頼または譲渡／廃棄されるとき**

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を[Wi-Fi 設定リセット]/[消去·退会]を行って必ず消去してください。(P52、216)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P52)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

**メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、278 ページの「メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。**

**画像を Webサービスにアップロードするとき**

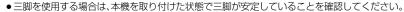
- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。
  Webサービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

## 長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度 :15 ℃～25 ℃、推奨湿度 :40%RH～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- **長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。**

## 画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
  記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚/一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター(別売:DMW-TA1)を取り付けてから三脚/一脚に装着することをお勧めします。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

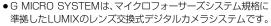
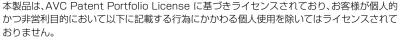
## ショルダーストラップについて

- 本体に重いレンズ(約1 kg以上)を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。

**ーこのマークがある場合はー**

**ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報**

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズTM 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズTM 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI ControlTM は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## あ行



## か行



## さ行

## た行

## な行



## は行

## ま行



## や行



## ら行



## わ行



## 英数字

目次
MENU
メニュー一覧
さくいん